SHARP

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形名

LC-15L1（エル シー エル）

AQUOS

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

準備

調整と設定

外部機器の接続

その他のお知らせ

English

安全上のご注意

ご使用の前に　「安全上のご注意」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

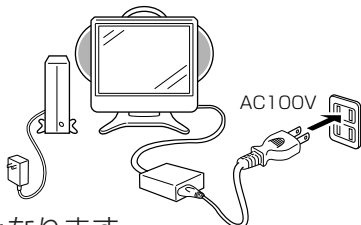
図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

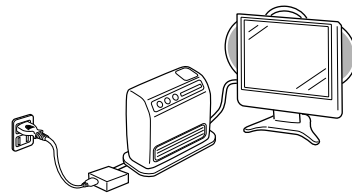
記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしない

禁止

火災・感電の原因となります。

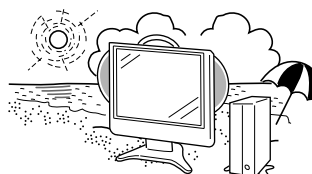
落としたりキャビネットを破損したときは、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様による修理は絶対におやめください。

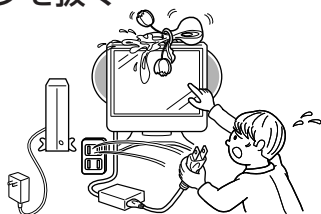
テレビや送信機に水が入ったり、ぬらさない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

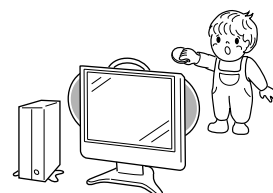
安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告

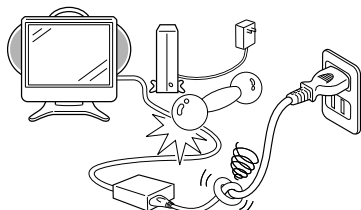
内部に水や異物が入ったときは、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

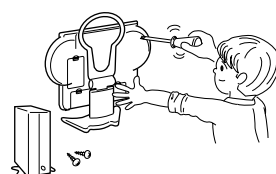
異物を入れない

禁止

通風孔(裏ぶたのすき間)などから物を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

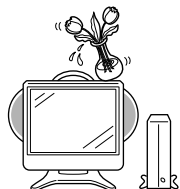
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、ひっぱったり、無理に曲げたり、加熱しない

禁止

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

テレビや送信機の裏ぶたを外したり、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

テレビや送信機の上やわきに花瓶等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

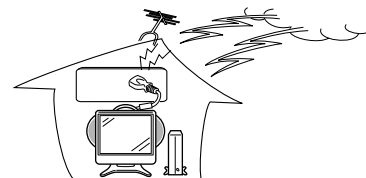
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない・カーテンのそばに置かない

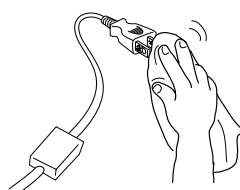
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

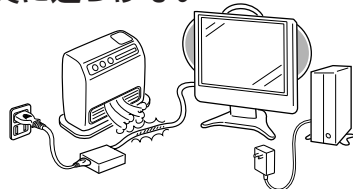
接触禁止

感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

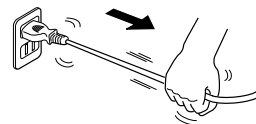
ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

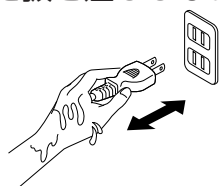
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

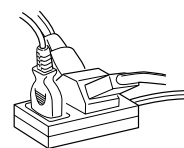
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

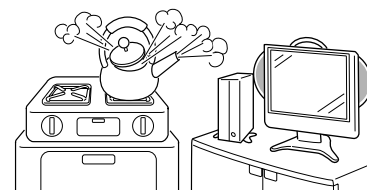
禁止

火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

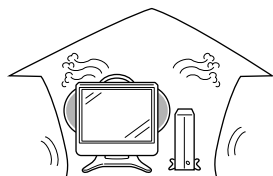
離して設置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取付けてください。

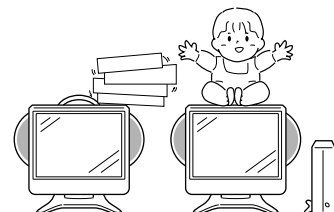
湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たる所に置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

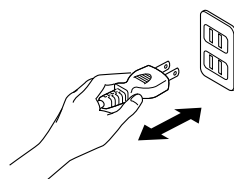
風通しの悪い所に入れない･じゅうたんや布団の上に置かない･布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

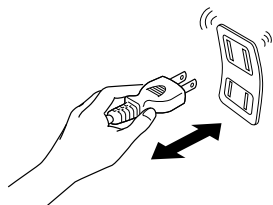
電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

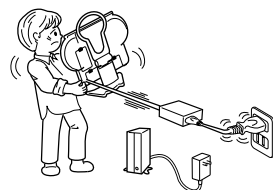
安全上のご注意(つづき)

⚠注意

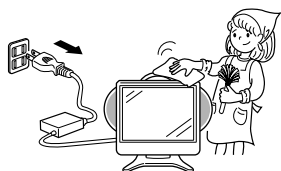
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

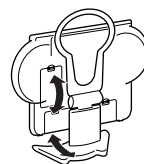
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

接続線を外さずに移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

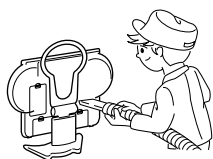
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

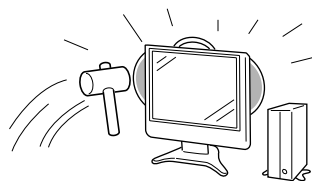
スタンドの角度を調整するときは注意する

注意

手や指をはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

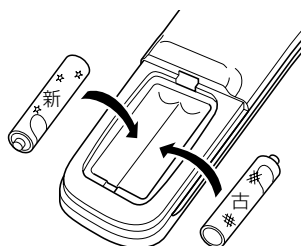
3年に1度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する

注意

内部にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃をあたえない

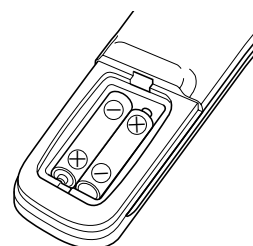
禁止

液晶画面を強くおさえないでください。また、落したり強い衝撃をあたえないようにしてください。

指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

破裂や液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を入れるときは極性表示(プラスとマイナス)の向きに注意する

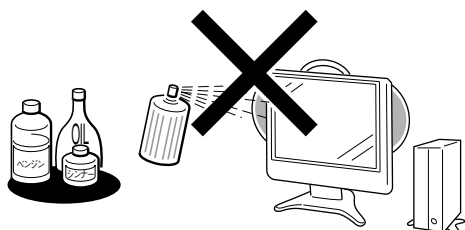
表示通りに入れる

破裂や液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

•この取扱説明書でテレビと表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

電源・電圧について

- 指定以外の電源は使わないでください。
  指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。使用電源は、必ず専用品をお使いください。

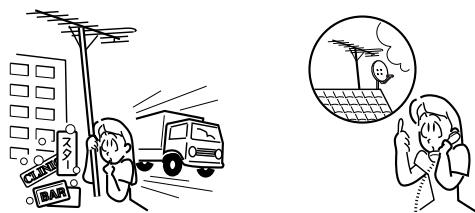
取扱い上でのご注意

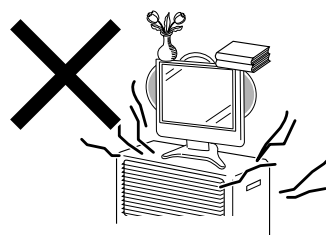
- 液晶パネルを強く押さえないように、また、落としたり強い衝撃をあたえないようにしてください。特に液晶パネルが割れることがあり危険です。振動の激しい所や不安定な所に置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。

- カーテンなどのそばに本機を置かないでください。風でカーテンがゆれて本機が倒れたり、落下することがあります。

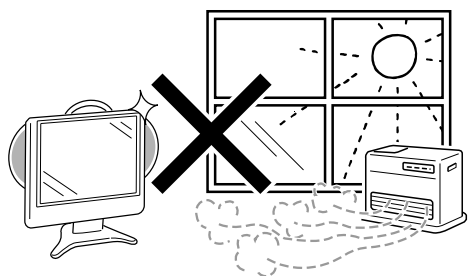
電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

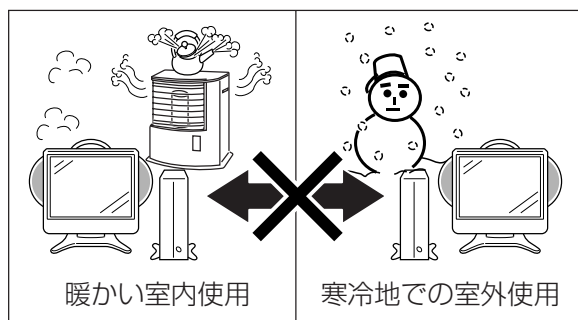
使用上のご注意(つづき)

守っていただきたいこと

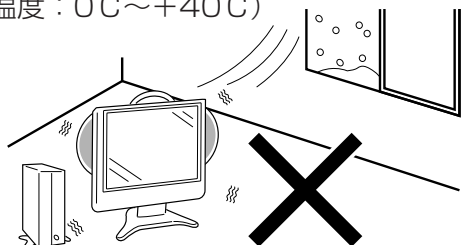
直射日光・熱気は避けてください

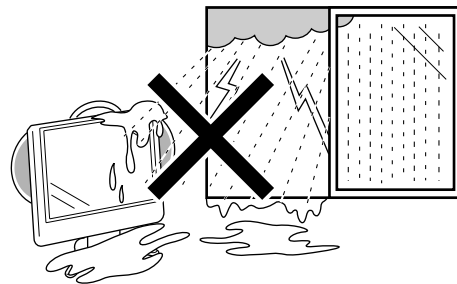
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

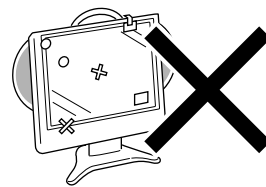
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

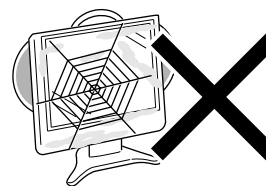
暖かい室内使用　寒冷地での室外使用

- また、寒いところから暖かい室内に持ちこむと、露つきが発生します。露つきがなくなるまで待ってから電源を入れてください。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

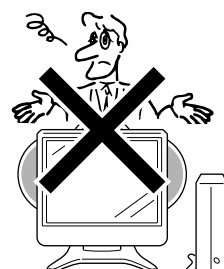
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(保存温度：−20℃〜+60℃
使用温度：0℃〜+40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しない

• 電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
　ご注意いただきたい電子機器の例
　補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など

航空機器や病院等、使用を禁止された場所では使用しない

• 電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
医療機関の指示にしたがってください。

本機は、盗聴防止スクランブル機能を搭載していますが、傍受にご注意ください

• 本機は電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
機密を有する重要な通信や、人命に関わる通信には使用しないでください。
＊傍受(ぼうじゅ)とは、無線通信の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に使用することです。

損害について

• お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

バッテリーパックについて

バッテリーパックはまず、充電をしてください

• このバッテリーパックは、リチウムイオン電池です。充電して保存しても残量が減少します。

• 充電は必ず本機の電源／充電ランプが消灯（満充電）するまで行ってください。充電途中の状態でご使用の場合、使用時間が短くなります。（充電のしかたなど、くわしくは**26**～**28**ページをご覧ください。）

充電時のご注意

• 周囲の温度が10℃～30℃（人間が快適と感じる温度）の範囲で充電してください。温度が低くなるほど充電しにくくなり、バッテリーパックを劣化させます。また、高温では十分な充電ができません。

• 充電中や使用中、バッテリーパックが温かくなることがありますが、異常ではありません。
• 温かくなっているバッテリーパックは、通常より充電時間が長くかかる場合があります。

バッテリーパックの使用時間および低温下での使用について

• バッテリーパックには寿命があります。バッテリーパックは使用しなくても時間の経過で消耗します。１年程度経過したバッテリーパックは保存状態により異なりますが、使用時間が短くなります。正常に充電したバッテリーパックで使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命が来ていますので新しいバッテリーパックと交換してください。

• 冬季の低温下（10℃以下）で冷えているときなどは、使用時間の合計が非常に短くなることがあります。電池は、内部で電気エネルギーを発生させるための化学反応を起こしますが、周囲の温度が低いほど化学反応が起こりにくく、使用時間が短くなります。
  ※交換用のバッテリーパックを補修用部品としてご用意しています。
  （型番：UBATIA009WJZZ、
  流通コード：010 932 0025）
  くわしくは、シャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（**103**ページ）

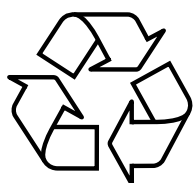
上手な使いかた

• バッテリーパックを長持ちさせるために、**使用しないときはこまめに電源を切ってください。**

保存時のご注意

• バッテリーパックは使用しなくても時間の経過で消耗します。消耗をできるだけ防ぐには
  ①バッテリーパックをしばらく使用しない場合は、本機で残量を使い切って、メニュー画面で「バッテリー充電設定」を「しない」に設定してください。（**28**ページ参照）
  ②半年に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。

不要になったバッテリーパックの処理のしかた

バッテリーパックのリサイクルへのご協力のお願い
バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  ・必ず使い切った状態で端子部にテープを貼る。
  ・外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさない。
  ・分解しない。

バッテリーパックの仕様

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	11.1V
容　　量	5700mAh
使用温度	10℃～30℃
最大外形寸法	約 長さ212×横41×高さ39mm
質　　量	約0.5kg

バッテリーパックについて(つづき)

安全確保のための取り扱い上の禁止事項

⚠ 警告

- バッテリーパックを分解したり、改造しないでください。バッテリーパックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、バッテリーパックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- ⊕と⊖を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。バッテリーパックがショート状態となり、過大な電流が流れ、発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピン等の金属が発熱する原因となります。
- バッテリーパックを火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーパックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(60℃以上)で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、バッテリーパックが内部ショートし、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- バッテリーパックを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。バッテリーパックに組み込まれている保護装置が壊れるとバッテリーパックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、バッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーパックの充電には、当社指定の充電条件を守ってください。その他の充電条件(指定以上の高い温度、指定以上の高い電圧・大きな電流、改造した充電器など)で充電しますと、バッテリーパックが過度に充電されたり、異常な電流で充電され、バッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。バッテリーパックが破壊、変形され内部でショート状態になり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。バッテリーパックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、バッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 外傷、変形の著しいバッテリーパックは使用しないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーパックに直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーパックを持ち運ぶ際は、必ず保護カバーをしてください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
- バッテリーパック内部の液が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、ただちにきれいな水で洗い流してください。

本機を正しくお使いいただくために

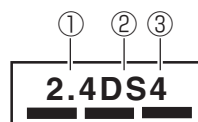
電波に関するご注意

本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は、日本国内のみ使用できます。

■次の場所では、本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信/受信ができなくなる場合があります。

- 本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth 、無線LAN 、また電子レンジ等の機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります)
- ラジオからはなしてお使いください。(ノイズが乗る場合があります)

■本機は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
  - ①「2.4」:GHz 帯を使用する無線設備を表します。
  - ②「DS」:変調方式を表します。
  - ③「4」:想定される与干渉距離を表します。(約40m)

■本機の使用周波数帯域では、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth 、無線LAN 、また電子レンジ等の機器の他、工場、製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する)及び特定小電力無線局が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、速やかにその場での本機の使用を中断してください。

使用範囲について

■ご家庭内でのご使用に限ります。

(通信の環境により伝送距離が短くなることがあります)

■次のような場合は、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで映像・ 音声が途切れたり(映像・音声が停止する)、ブロック状のノイズが出ます。

- マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅など。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物、障害物の近くなど。
- 本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth 、無線LAN 、また電子レンジ等の機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。

■電波の反射について

- テレビ受信機に届く電波には、送信機から直接届く電波(直接波)と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波(反射波)があります。この反射波の影響で電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、映像がうまく受信できなくなることがあります。このようなときは、テレビ受信機の場所を少し動かしてみてください。送信機とテレビ受信機間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で映像・音声が乱れたり、途切れたりすることがあります。

特長

■ スマートリンク内蔵

- 2.4GHz帯SS無線による高速デジタル無線伝送を実現

■ 大容量リチウムイオンバッテリー内蔵

- 2時間の連続視聴。標準で2時間。最長約3時間(調光「暗い」)の連続視聴。
- テレビ本体内充電

■ 他機器とのシステム性

①アンテナ分配機能
②ビデオ出力機能
③リモコンリンク機能

■ 高画質・高コントラスト・高視野角・豊富な入出力端子

- ASV方式低反射ブラックTFT液晶採用

■ 2Wayスタンド採用によるバリエーション豊かな視聴スタイル

- キャリングハンドル一体型スタンド
- 着脱式テーブルスタンド

■ BSアナログチューナー内蔵

- BS5(WOWOW(ワウワウ)デコーダーにて視聴可能)、BS7、BS11chがご覧になれます。

■ 環境性能

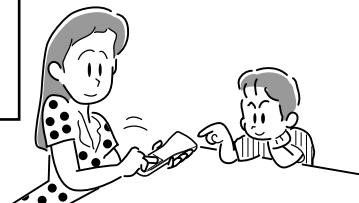
- 省エネ・長寿命設計
  液晶ならではの38W(テレビ本体のみ、専用ACアダプター使用時)低消費電力を実現。サイズの小さい14型の当社ブラウン管テレビに比べても、約20%の削減効果。
- 長寿命バックライト(約60,000時間)
- メイン基板他に無鉛はんだを使った環境設計

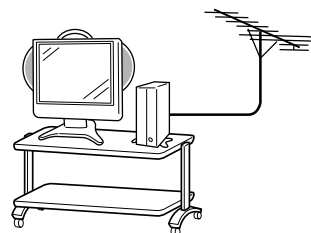
次の準備をしてください

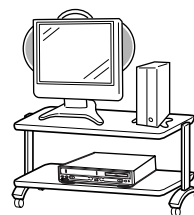
ご自分で設置される場合は、次の手順で行ってください。

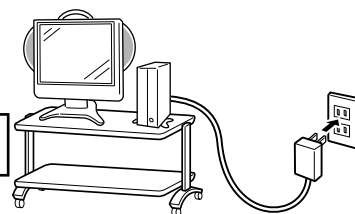
ステップ **1**

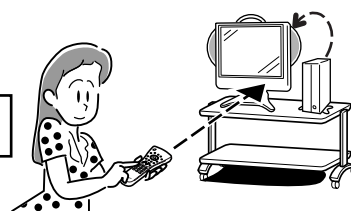
リモコンに乾電池を入れます …24ページ

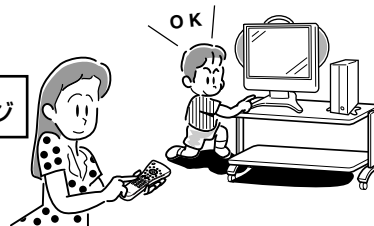
・各部のなまえ …18ページ
・ふだんの使いかた …22ページ
をお読みください。

ステップ **2**

アンテナを接続します …32ページ

ステップ **3**

外部機器と接続するとき …80ページ

ステップ **4**

①ACコードおよびACアダプターを接続します …27ページ
②電源を入れます …22ページ

ステップ **5**

バッテリーパックを充電します …26ページ

ステップ **6**

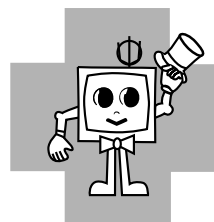
映像、音声を送受信するための設定をします …25ページ

ステップ **7**

受信チャンネルを合わせます …38ページ

ステップ **8**

時計を合わせます …58ページ

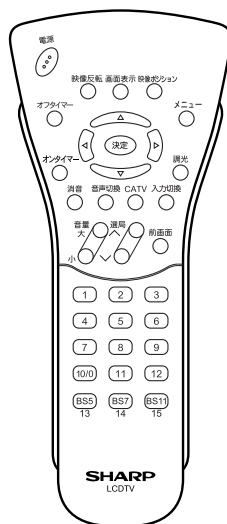
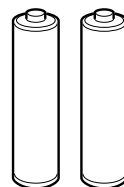
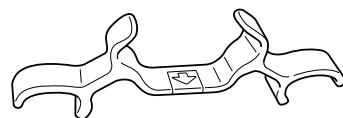
以上で、設置と準備は終わりです。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

付属品

取扱説明書（1冊）/保証書（1部）

ワイヤレスリモコン（1個）/ 単4形乾電池（2個）
リモコンホルダー（1個）

（使いかた …… 21ページ）

• リモコン

• 乾電池

• リモコンホルダー

（使いかた …… 19ページ）

ACアダプター（2個）

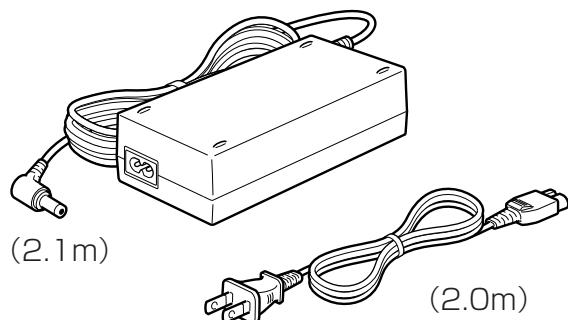
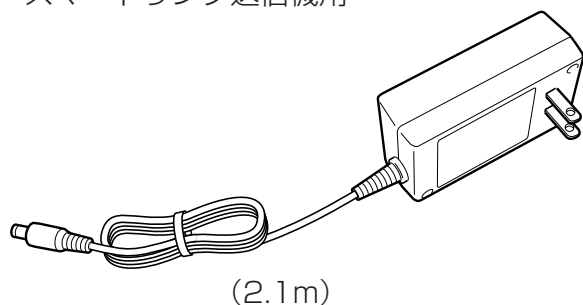
（使いかた …… 27ページ）

• テレビ用

（2.1m）

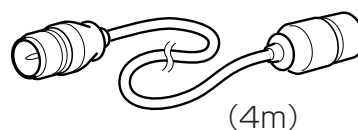
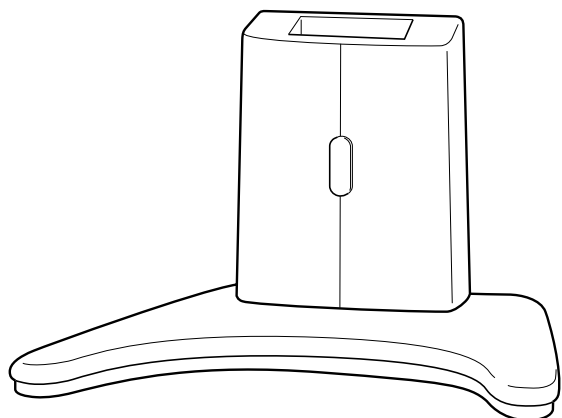
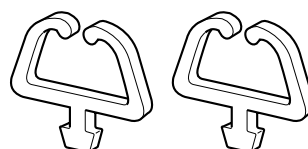
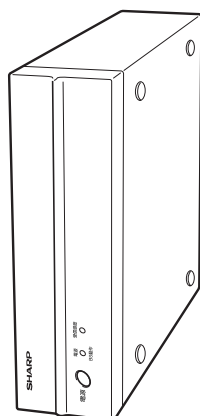
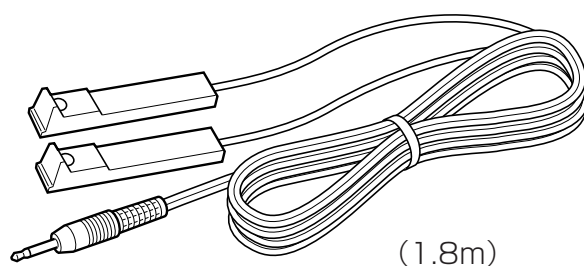
（2.0m）

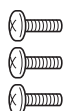
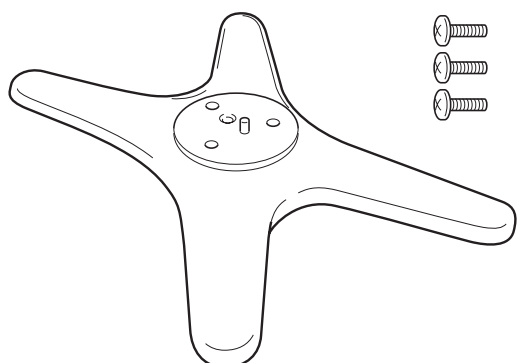
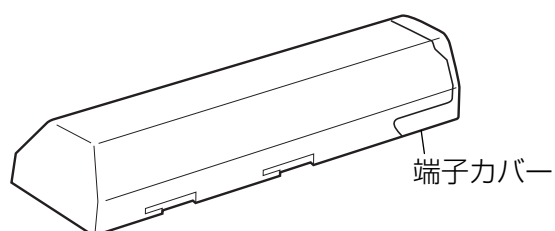
• スマートリンク送信機用

（2.1m）

アンテナケーブル（2本）

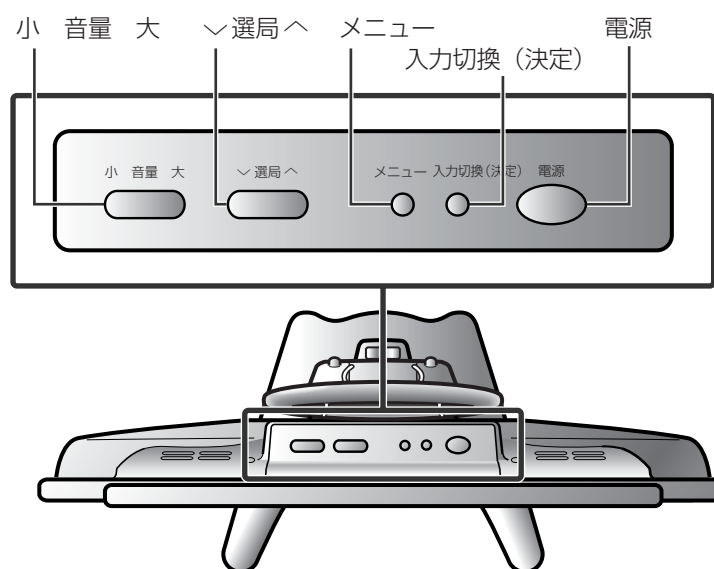
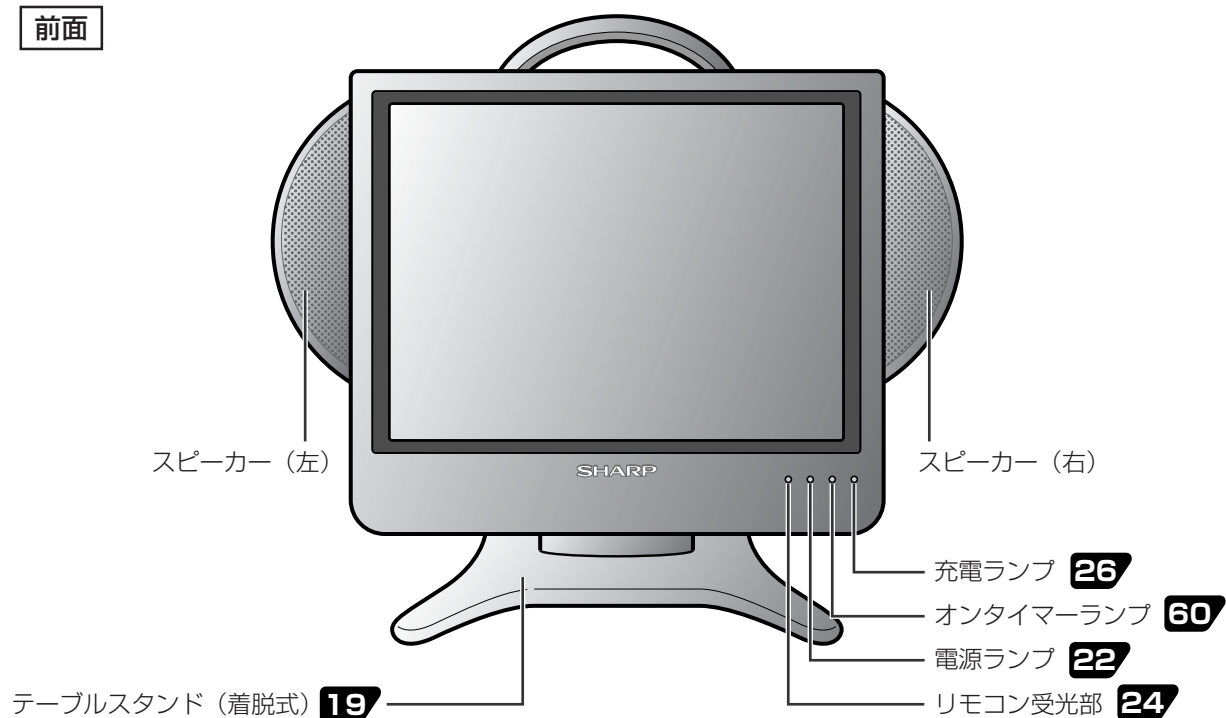
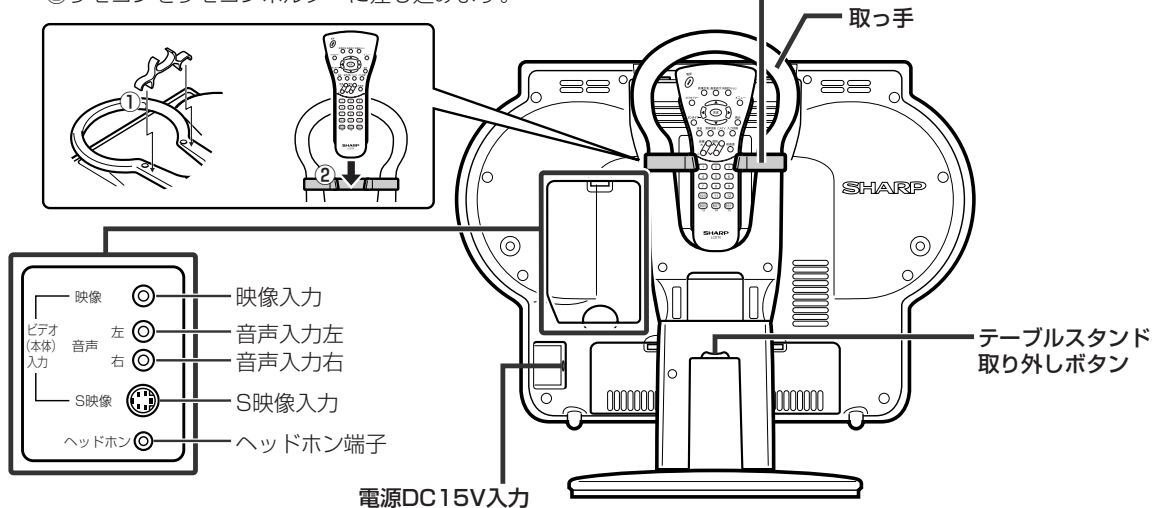
（使いかた …… 32～33ページ）

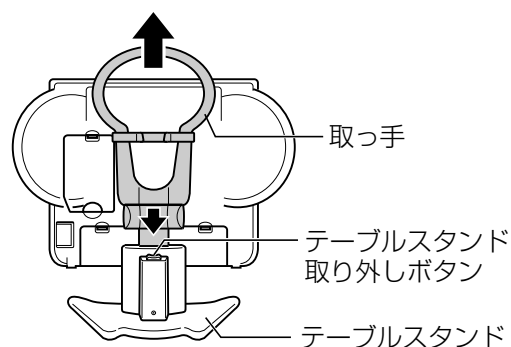
（4m）

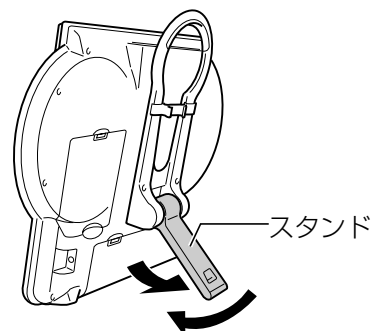
（4m）

着脱式テーブルスタンド	ケーブルクランプ(2個)
(使いかた …… 19ページ)	(使いかた …… 86ページ)

スマートリンク送信機	ビデオコントローラー
(使いかた …… 20ページ)	(使いかた …… 84ページ) (1.8m)

スマートリンク送信機スタンド	バッテリーパック
(使いかた …… 20ページ) ビス3本 M4 12mm	(使いかた …… 26ページ) 端子カバー

各部のなまえ（本体）

▰ 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

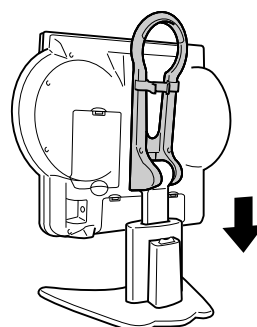
天面

前面

テーブルスタンドの取り外し、取り付けかた

1 テーブルスタンド取り外しボタンを押し下げたままで、取っ手を持ってまっすぐに引き上げる

2 スタンドを開く

カチッと音がするまで確実に開きます。
安定のため、カチッと音がするまで開いてから使用してください。

3 スタンドを閉める

スタンドを開く前の状態に戻します。

4 まっすぐに差し込む

傾いた状態では差し込めません。無理に差し込むと、キズや故障の原因となります。

各部のなまえ(本体)(つづき)

スマートリンク送信機

スマートリンク送信機

送信

電源ランプについて

- ■「本体設定(BS設定)」で「BS固定」を「する」(**93**ページ)に、または「BSアンテナ電源」を「入」(**34**ページ)に設定している場合は、リモコンで電源を切ってもオレンジ色に点灯し、BSチューナーが動作していることがわかります。
- ■ リモコンでテレビ本体の電源を切ると、スマートリンク送信機も待機状態(電源ランプは赤色点灯)になります。(約5～6秒のずれがあります。)

前面

SHARP
電源
電源/BS動作
受信感度

受信感度ランプ
- ・緑……通信しているとき
- ・赤……通信が不安定なとき
- ・消灯…通信していないとき

電源/BS動作(電源ランプ)
- ・緑……動作中(電源-入時)
- ・オレンジ…BS動作時※
- ・赤……待機中
- ・消灯……電源-切時

電源ボタン

背面

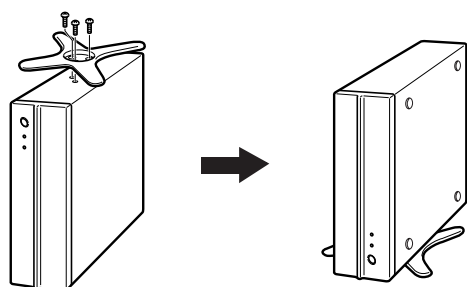
音声(右)
音声(左)
映像
デコーダー入力(ビデオ3入力)端子
ビデオ2入力(モニター/BS出力)端子
ビデオ1入力
ビデオ1出力
ビデオ1(S映像)入力
ビデオ1(S映像)出力
ビットストリーム出力
検波出力
BSアンテナ出力端子
BSアンテナ入力端子
VHF/UHFアンテナ出力端子
VHF/UHFアンテナ入力端子
ビデオコントロール端子
電源DC12V
工場調整用端子

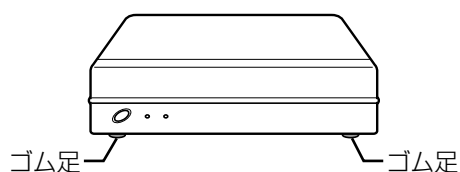
※待機時にBSチューナーが動作しているとき

スマートリンク送信機の設置

スマートリンク送信機は、縦置と横置ができます。

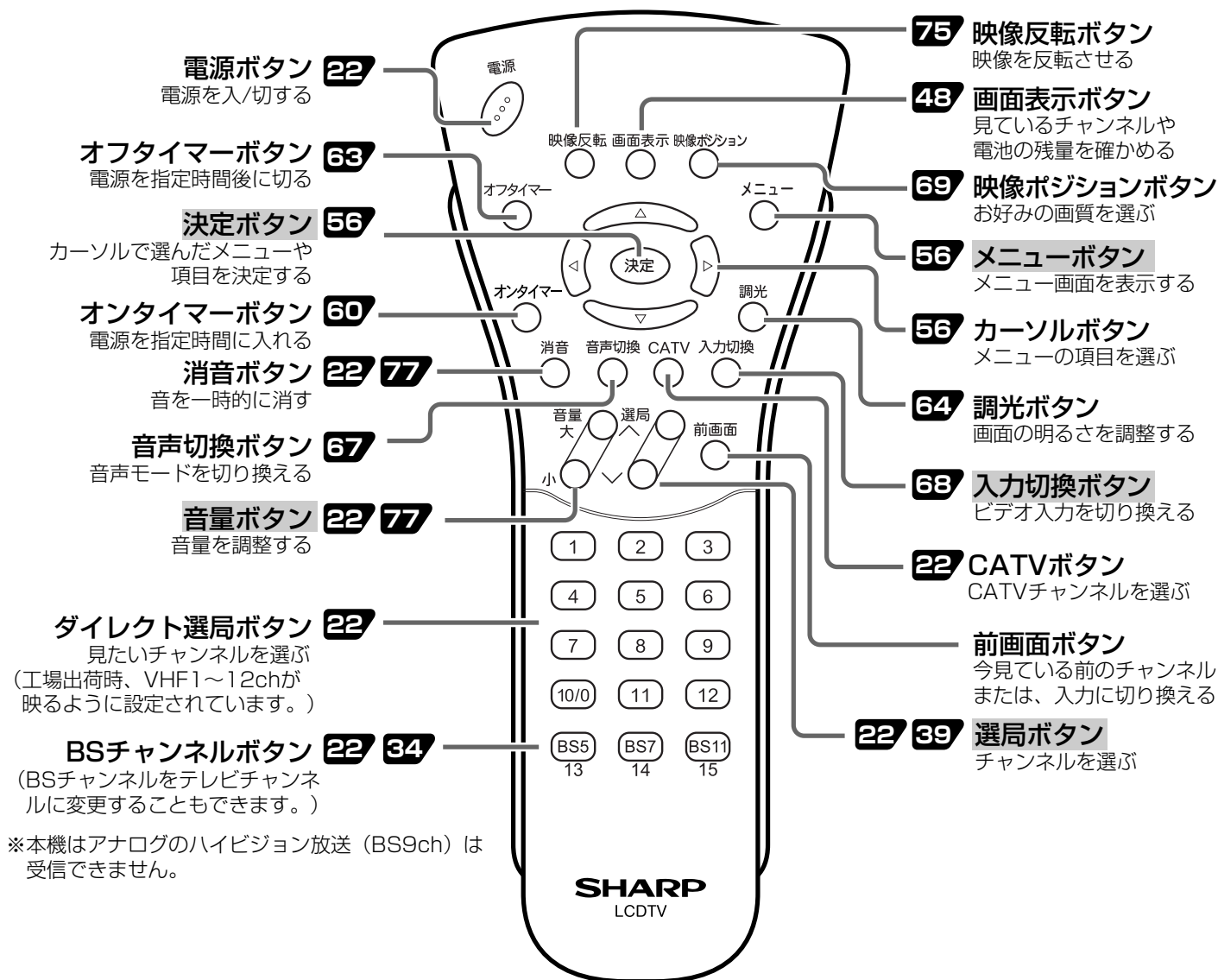
●縦置にする場合

スタンドをスマートリンク送信機の底面に、ビスで固定してください。

● 横置にする場合

ゴム足のついているほうを下にします。

※スタンドを固定しないで使用すると倒れやすくなります。

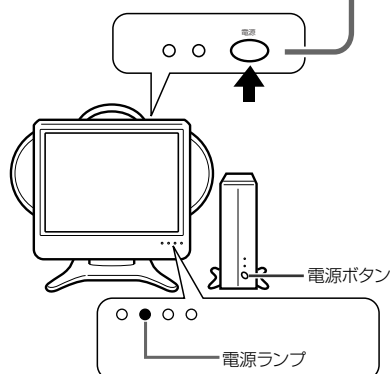
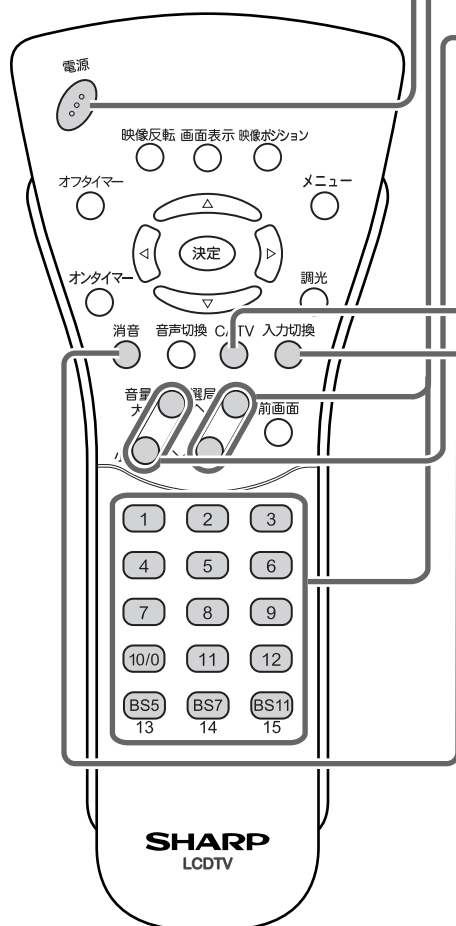
各部のなまえ(リモコン)

■ 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

リモコン

■ メニューボタン、音量ボタン、選局ボタン、入力切換ボタン、決定ボタンは本体でも操作できます。
　※この取扱説明書では、おもにリモコンを使った操作方法で説明しています。

■ メニュー画面表示後は、本体の入力切換ボタンが決定ボタンとして使用できます。また、音量ボタンは◁ ▷と同じはたらきをし、選局ボタンは△ ▽と同じはたらきをします。

■ リモコンおよび本体の電源ボタンでは、スマートリンク送信機の電源入/切はできません。

ふだんの使いかた

❶ スマートリンク送信機とテレビ本体の電源を入れる

- 電源スイッチを押して「入」にすると、電源ランプが緑色になります。
- 本体で電源を「入」にしたあとは、リモコンの電源ボタンを押すごとにテレビをつけたり（電源ランプは緑色）、消すこと（電源ランプは赤色）ができます。

❷ 地上/BSチャンネルを選ぶ

- 選局ボタンまたはダイレクト選局ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
- ダイレクト選局ボタンは、選局番号に対応しています。
- このテレビは15の選局番号があり、出荷時は1～12チャンネルおよびBS5、BS7、BS11が映るようにセットされています。

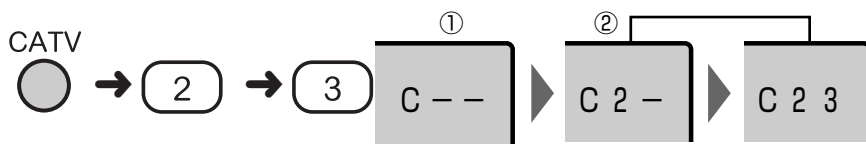
※BS5チャンネルを見るにはWOWOW（ワウワウ）デコーダーが必要です。

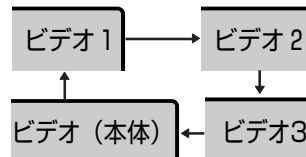
❸ 音量を調整する

- 数字（最大60）とバーが表示されます。

❹ 音を一時的に消す

CATVチャンネルを選ぶ

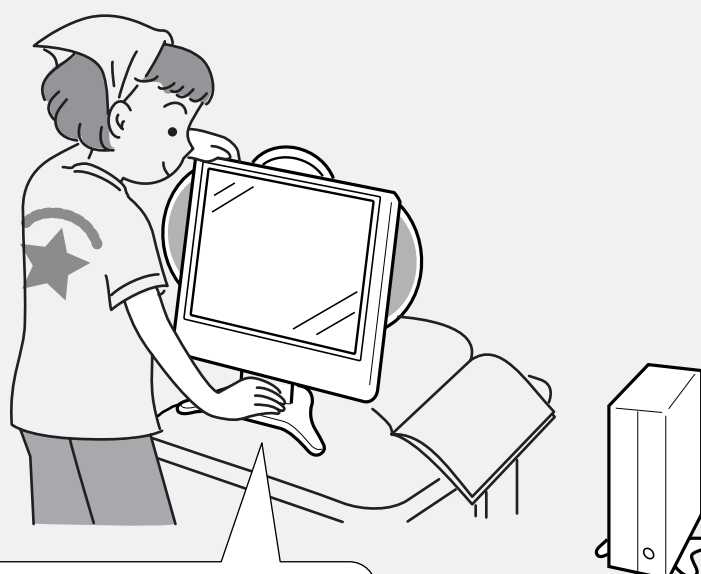
- （例） C23を選ぶとき
  ① CATVボタンを押します。
  ② ダイレクト選局ボタンでチャンネルを選びます。

ビデオやDVDを見る

- 入力切換ボタンを押す
  （設定により表示されないことがあります。くわしくは68ページをご覧ください。）

有線テレビ(CATV)について

■ CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

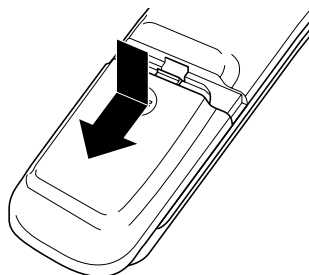
■ CATVを受信するときは使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。くわしくは、CATV会社にご相談ください。

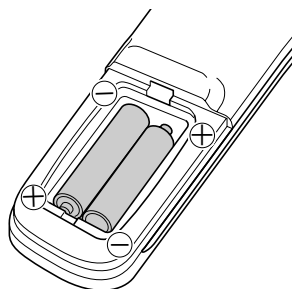
■ 本機のCATVチャンネルは、C13～C38チャンネルの範囲で選局できます。

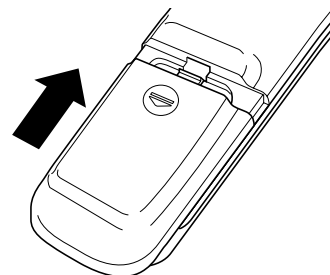
準　備

本体の角度調整について
スタンドを片方の手でしっかりおさえながら、取っ手を持ち本体を傾けます。
前方2.5度、後方10度、左右25度の範囲で調整できます。

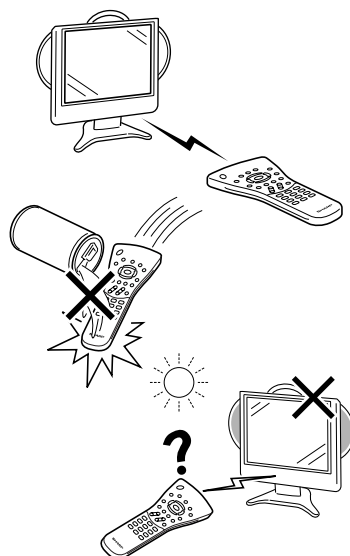
リモコンの準備と使いかた

乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

▼部を押しながら、カバーをスライドさせてください。

2 乾電池を入れる
［付属の単4形乾電池2個］

電池収納部の⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 カバーを閉める

下側のツメをリモコンに合わせて、カバーをセットします。（フタを軽く押しながら、矢印の方向にスライドさせます。）

■リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
■リモコンには衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
■リモコンは直射日光のあたる場所に取付けたり、放置しないでください。
熱により変形することがあります。
■本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン動作がしにくくなります。照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
■リモコンを操作してもテレビが動作しなくなったら交換時期です。新しい乾電池と交換してください。

⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

映像、音声の送受信手順

準備

送信機からの映像や音声がテレビ本体で正常に受信されていることを確認するため、はじめは近くにおいてください。

ページ

1. 送信機にアンテナを接続する …… 32
2. 送信機にビデオ機器などを接続する …… 80〜96
3. 送信機の電源を入れる …… 22
4. テレビ本体、ビデオ機器の電源を入れる …… 22

5. チャンネル設定を行う …… 38

6. リモコンでテレビチャンネルを選び、放送が正常に受信できることを確認する …… 22

7. リモコンでビデオ入力を切り換える …… 22

8. ビデオ機器のリモコンで再生などの操作を行い、正常に受信できることを確認する
   正常に受信できない場合は、再度、接続状態を確認する
   ビデオコントローラーが、ビデオ機器の受光部に正しく向いていることなどを確認します。
   …… 84

9. テレビ本体をお好きな場所に移動して、正常に受信することを確認する
   電波の届かない場所や設置環境により、正常に受信できない場合があります。
   この場合は受信機の設置場所を変えて、正常に受信する場所に移動します。
   • ワイヤレス設定の通信チャンネル設定は「自動」になっていますが、再設定で映り具合が改善される場合があります。

おしらせ

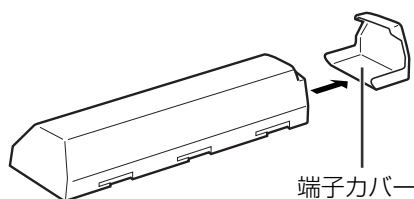
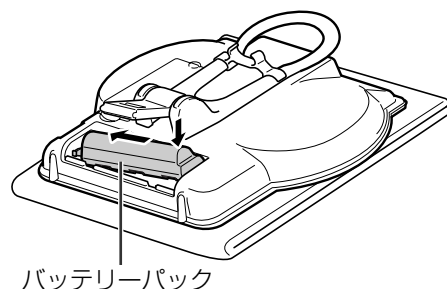
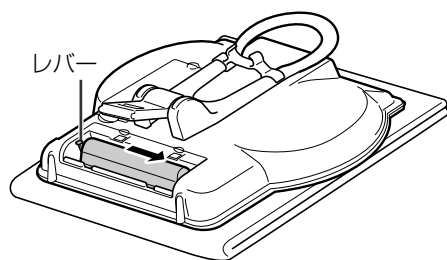
• テレビ本体内蔵のバッテリーパックで見るとき、お買い上げげの状態でご使用になると、バッテリーパックの残量は十分ではありません。あらかじめ、十分に充電をしてからご使用ください。(**26**ページ)
• 本機はスマートリンクからの映像・音声を電波で送受信しますので、リモコンで操作したときの反応(映像・音声送受信)に約1秒かかります。

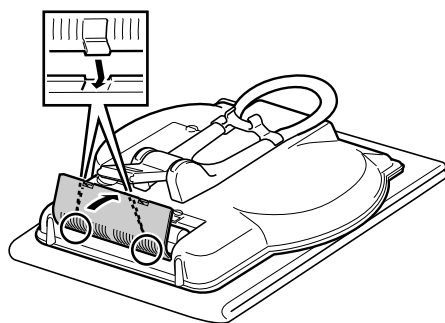
電源について

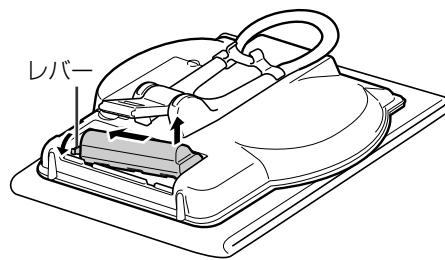
内蔵のバッテリーパックで見るとき

■バッテリーパックを取り付ける

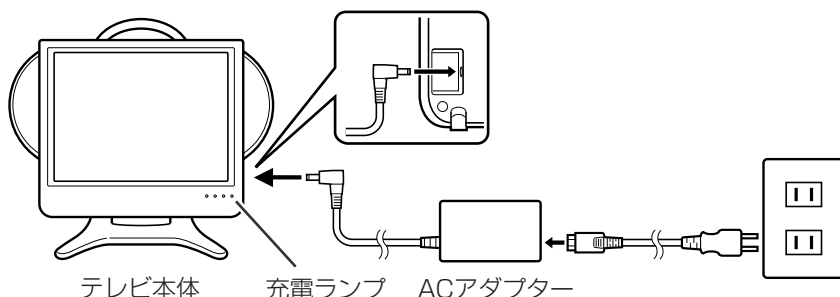
1 収納部カバーを開ける

2 バッテリーパックの端子カバーを外す

3 バッテリーパックを左側に押しつけながら内部にセットする

4 バッテリーパックを右に寄せる
レバーが元に戻ります。

レバーが完全に戻るまで右側へ寄せてください。

5 収納部カバーを閉じる
カバーのツメをテレビの溝に引っかけて、閉じます。

■取り外すときは

レバーを手前に引いた状態で、バッテリーパックを左側に押しつけながら持ち上げる

外したバッテリーパックには、必ず端子カバーをつけてください。

■バッテリーパックを充電する

お買い上げ後はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してください。
ACアダプターをテレビとコンセントに差し込みます。充電ランプが点灯し、充電が始まります。

おしらせ

- **充電完了するまでの時間の目安**
  バッテリー残量がゼロのとき約5時間
- **付属のバッテリーパックで動作する時間の目安**
  約2時間（調光：標準のとき）

※動作する時間は使用条件により異なります。

- ● 充電時間は、使い切ったバッテリーパックを充電するのに必要な時間です。
- ● 周囲の温度やバッテリーパックの状態によって、充電時間が長くなることがあります。ご使用の前に充電ランプが消えているか確認してください。
- ● 寒冷地など使用条件により、使用できる時間が短くなることがあります。

■バッテリーパックの充電について

見ながら充電

「バッテリー充電設定」を「する」に設定する(28ページ)と、テレビをご覧になりながら充電ができます。この場合、充電には、約12時間かかります。

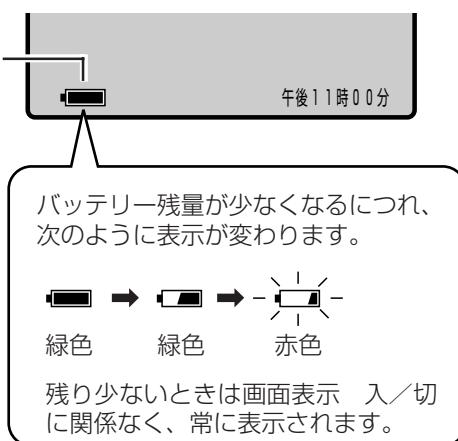
バッテリーパックで視聴できる時間の目安

「調光」(65ページ)の設定により、異なります。

調光	視聴時間
明るい	約1.5時間
標準	約2時間
暗い	約3時間

バッテリー残量を知りたいとき(残量表示)

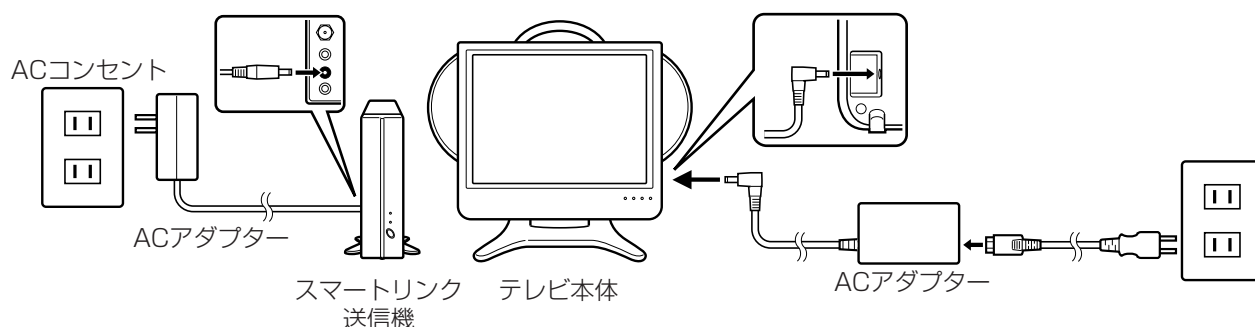
リモコンの 画面表示 ◯ を押す

- 赤色点滅のとき最初の10秒間は点滅しますが、その後は常時点灯となります。
- 残量は、バッテリーパックで動作しているときのみ表示されます。
- バッテリー残量表示は、バッテリーの状態、温度、使用条件によって変わります。表示は目安として使用してください。

正しく充電されていないとき

- 充電中にテレビの充電ランプが異常に早く点滅するときは、正常に充電されていません。
- 充電中にテレビの充電ランプが1秒おきに点滅している場合は、充電可能な温度範囲にありません。充電可能な温度範囲は周囲温度約10℃～30℃です。
- 充電中にテレビの充電ランプが異常に早く点滅(約0.3秒おき)するときは、正常に充電されていません。この様な場合は、バッテリーパックの異常と考えられますので新しいバッテリーパックと交換してください。

ご家庭のACコンセントで見るとき

スマートリンク送信機用ACアダプター、テレビ本体用ACアダプターをACコンセントに差し込みます。

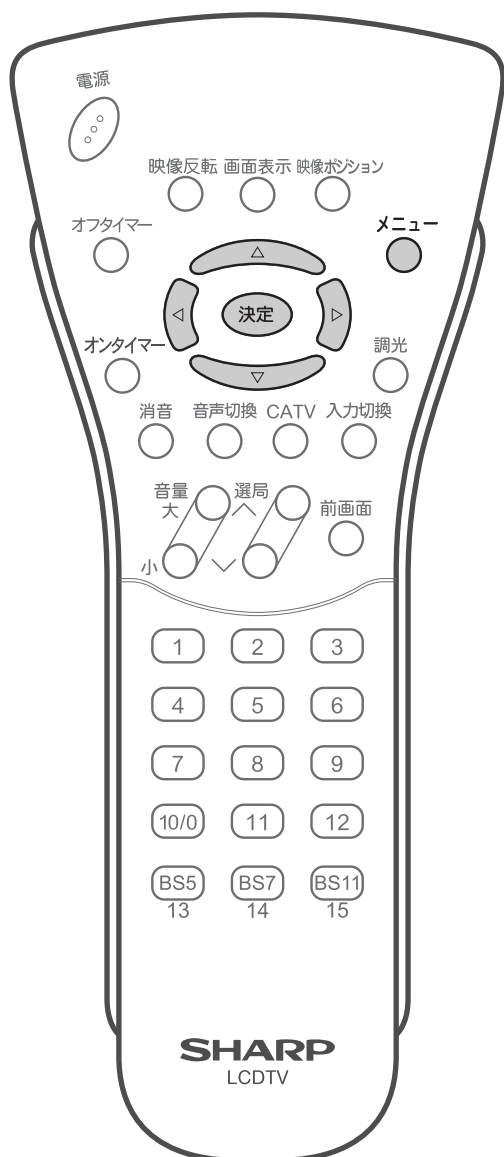
- 専用ACアダプターをそれぞれのDC端子に差し込むときは、表示の電圧が合っていることを確かめてください。

ACアダプターについて

- ACアダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ACアダプターを布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障や事故の原因となります。
- 分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の危険があります。

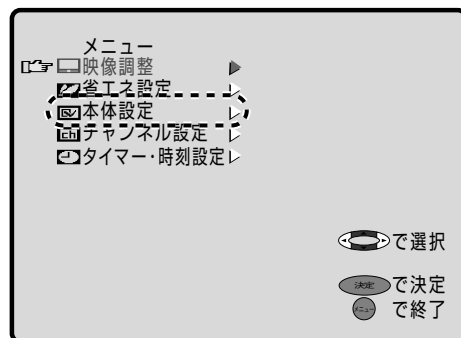
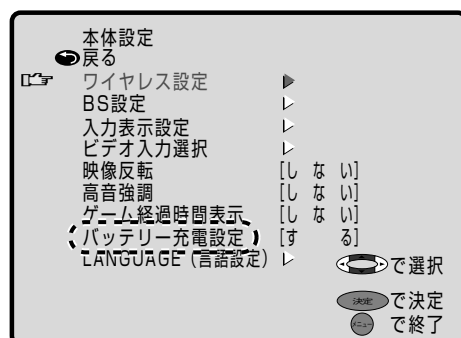
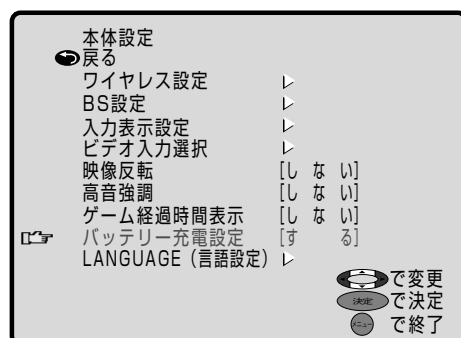
電源について(つづき)

■バッテリー充電設定

工場出荷時、「バッテリー充電設定」は「する」になっています。バッテリーパックは、満充電のあと更に充電をくり返し行うと、劣化します。バッテリーパックをひんぱんにご使用にならないときは、「バッテリー充電設定」を「しない」にしておいてください。

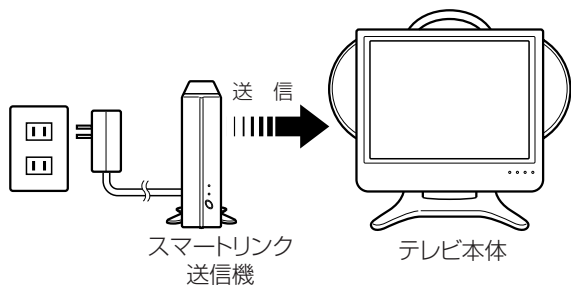
リモコン

バッテリー充電設定の切り換えかた

1 リモコンの メニュー を押し、**メニュー画面**を表示する

メニュー
映像調整
省エネ設定
本体設定
チャンネル設定
タイマー・時刻設定
で選択
で決定
で終了

2 △ ▽ で **「本体設定」** を選び、決定 を押す

3 △ ▽ で **「バッテリー充電設定」** を選び、決定 を押す

4 ◁ ▷ で **「バッテリー充電設定」** を **「する」** または **「しない」** に設定し、決定 を押す

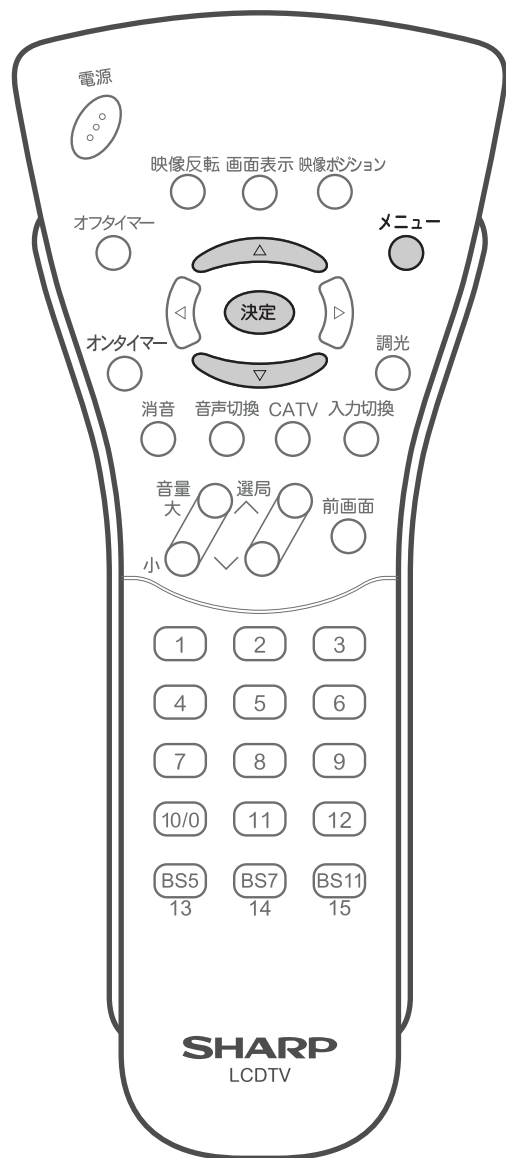
映像、音声を送受信するための設定(ワイヤレス設定)

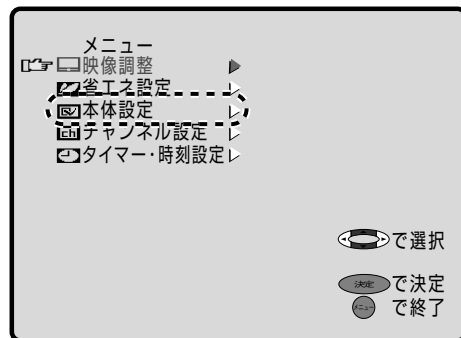
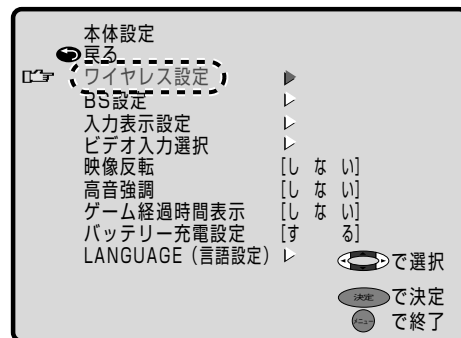
■工場出荷時は、ワイヤレス設定の「通信チャンネル設定」は「自動」に、また「通信距離設定」は「近い」に設定されていますが、近くの機器からの電波障害により受信状態が悪くなったときなど、再設定して正常に受信できるよう、「通信チャンネル設定」または「通信距離設定」を切り換えてください。

リモコン

1 スマートリンク送信機にアンテナを接続する

2 スマートリンク送信機とテレビ受信機を並べて設置する

3 スマートリンク送信機とテレビ本体の電源を入れる

接 続 中

4 リモコンの(メニュー)を押し、**メニュー画面**を表示する

5 △▽で**「本体設定」**を選び、(決定)を押す

映像、音声を送受信するための設定(ワイヤレス設定)(つづき)

■ワイヤレス設定の内容

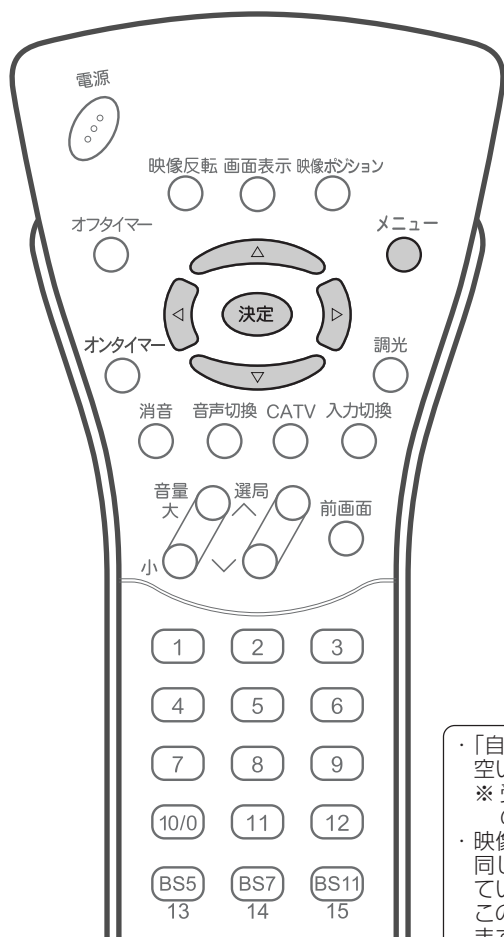
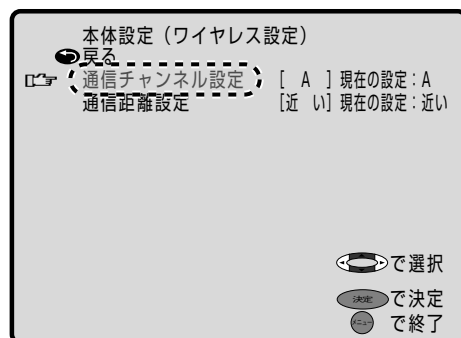
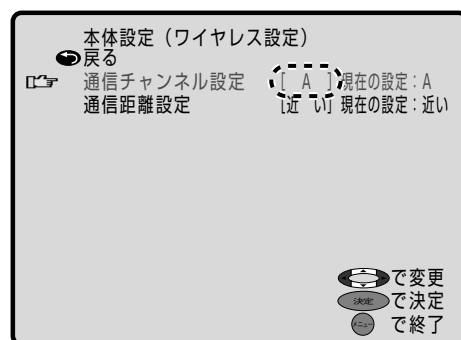
●通信チャンネル設定：
自動、A、B、C、Dの5つが選べます。「自動」は通信できる空きチャンネルを自動で設定します。通常は「自動」でお使いください。

自動⟷A⟷B⟷C⟷D

• 「自動」に設定しておくと、電源立ち上げ時や通信チャンネル設定時(「通信チャンネル設定」の「自動」を再度設定)にA、B、C、Dの中から空いているチャンネルに自動接続します。

●通信距離設定：
最も映像が良く映る位置を選んで、設定してください。

設定	遠い⟷中⟷近い
画質	低画質⟷高画質
伝送能力	高 ⟷ 低

リモコン

6 △ ▽ で「ワイヤレス設定」を選び、決定を押す

7 △ ▽ で「通信チャンネル設定」を選び、決定を押す

8 ◁ ▷ で「自動」を選び、決定を押す

◁ ▷でつぎのように変わります。

自動 ⟷A⟷B⟷C⟷D

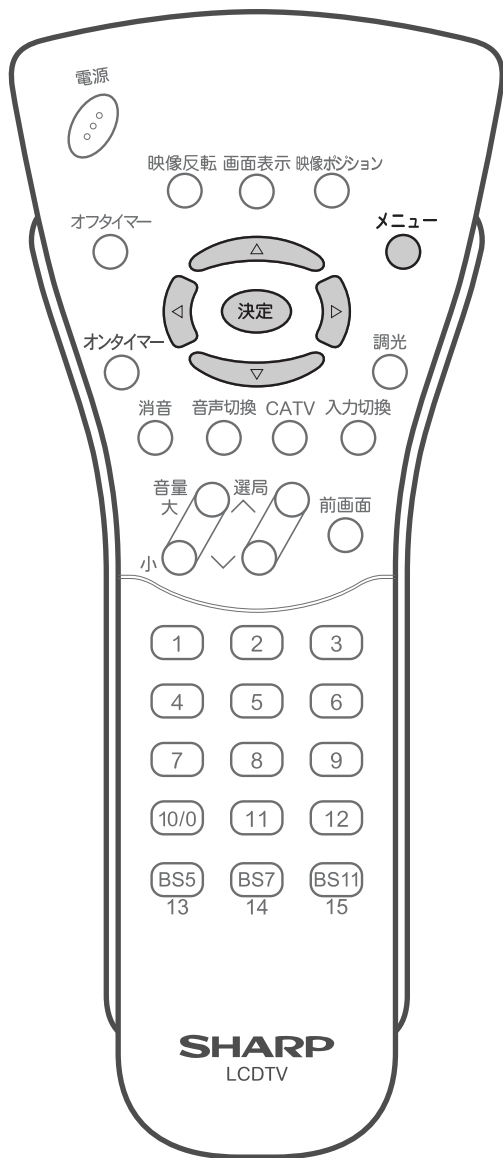
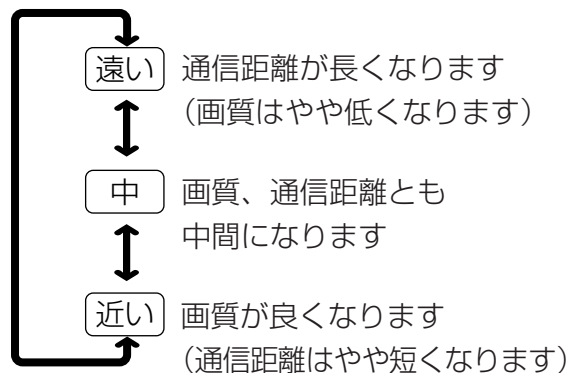
・「自動」に設定しておくと、電源立ち上げ時や通信チャンネル設定時に、A、B、C、Dの中から空いているチャンネルに自動接続します。
※ 受信状況が悪くなったとき、自動的に空いているチャンネルに切り換える機能ではありませんので、手動で受信状態の良い他のチャンネルに切り換えてください。
・映像、音声無線伝送にA、B、C、Dの4つの通信チャンネルを使用しています。
同じ周波数帯(2.4GHz)を使用する電子レンジ、Bluetoothおよび無線LANなどが近くで作動していると、混信により受像できない場合があります。
このような場合には、他の通信チャンネルに変更することにより、混信を避けられることがあります。

リモコン

通信距離設定の目安

遠い　通信距離が長くなります（画質はやや低くなります）

中　画質、通信距離とも中間になります

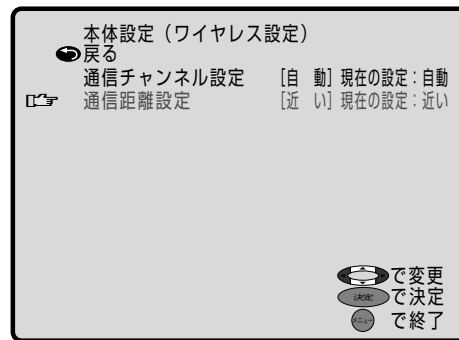
近い　画質が良くなります（通信距離はやや短くなります）

おしらせ

- 送信機とテレビ受信機の設置場所を変更して映り具合が悪くなったときは、再度、通信チャンネル設定、通信距離設定をすることで、映り具合が良くなる場合があります。

「通信チャンネルを切り換えています」と画面に表示されて、自動設定が行われます。

通信状態のエラー表示について

エラーメッセージ	色	表示時間
電波が届いていません	赤色	電波が届くまで表示され続けます。
電波が届きにくくなっています	黄色	10秒間表示後いったん消えて、以降10分間隔でくり返し表示されます。

9 で**「通信距離設定」**を選び、決定を押す

10 ◁▷で 遠い⟷中⟷近い を選び、決定を押す

「通信距離を切り換えています」と表示されます。

11 メニュー○を押して、**画面表示**を消す

準備

映像、音声を送受信するための設定（ワイヤレス設定）（つづき）

アンテナを接続する

VHF／UHFアンテナと接続する

付属のアンテナケーブル、またはアンテナ整合器（AN-300RF別売）等を使用するアンテナ線に合わせて接続し、アンテナ入力端子に接続してください。

UHFアンテナ
VHFアンテナ
有線テレビ
CATV

壁のアンテナ端子に合わせて１つを選び、接続します。

平行
フィーダー線

平行
フィーダー線
（市販品）

同軸ケーブル
（市販品）

アンテナ整合器
AN-300RF
（別売）

U/V混合器
（市販品）

U/V/BS共用のアンテナケーブルを2本付属しています。
用途に応じてご使用ください。

付属の
アンテナケーブル

デコーダー入力
（ビデオ3入力）
ビデオ2入力
（モニター/BS出力）
ビデオ1入力
ビデオ1出力
ビット
出力
検波出力
アンテナ
（BS-IF）入力
アンテナ入力
（VHF-UHF）

S映像
ビデオ1入力
S映像
ビデオ1出力
アンテナ
（BS-IF）出力
アンテナ出力
（VHF-UHF）
ビデオ
コントロール
電源
DC-12V
工場調整用
端子

付属の
アンテナ
ケーブル

スマートリンク
送信機背面

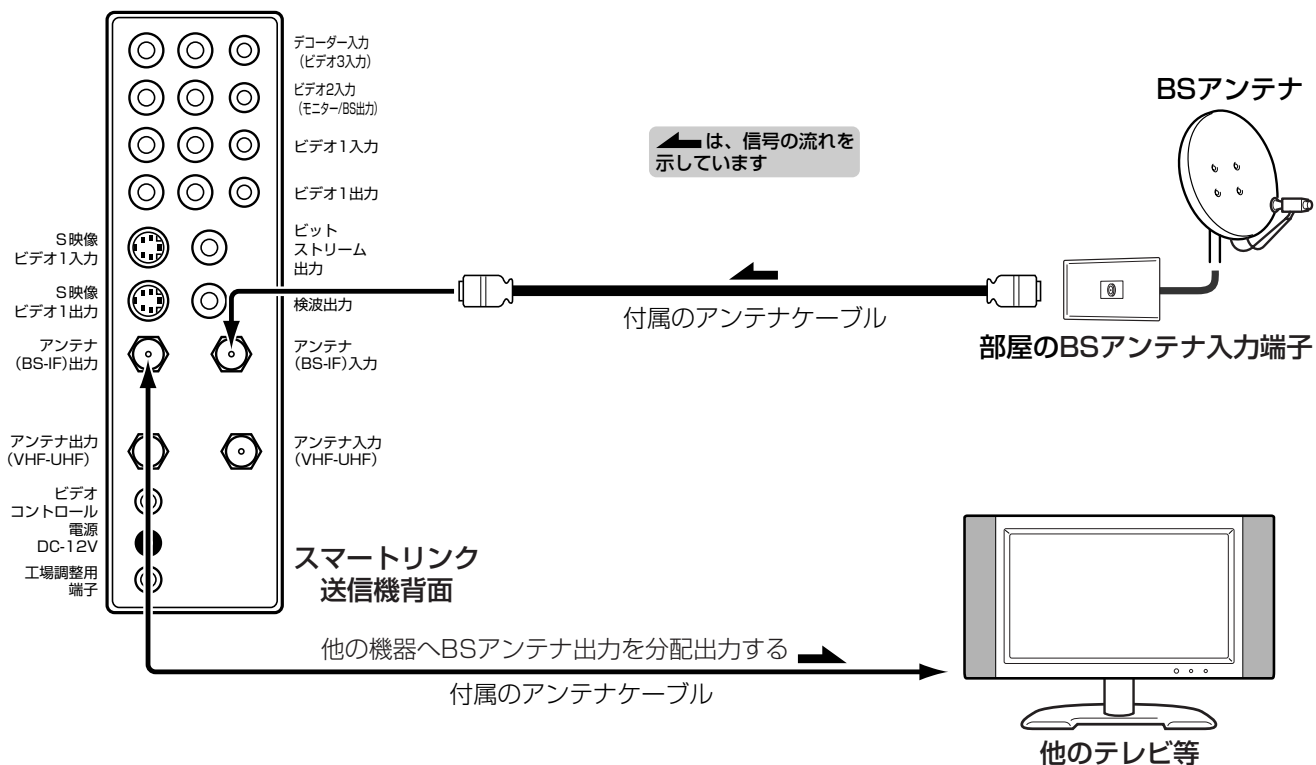
他のテレビなどに
UHF/VHFを分配出力する

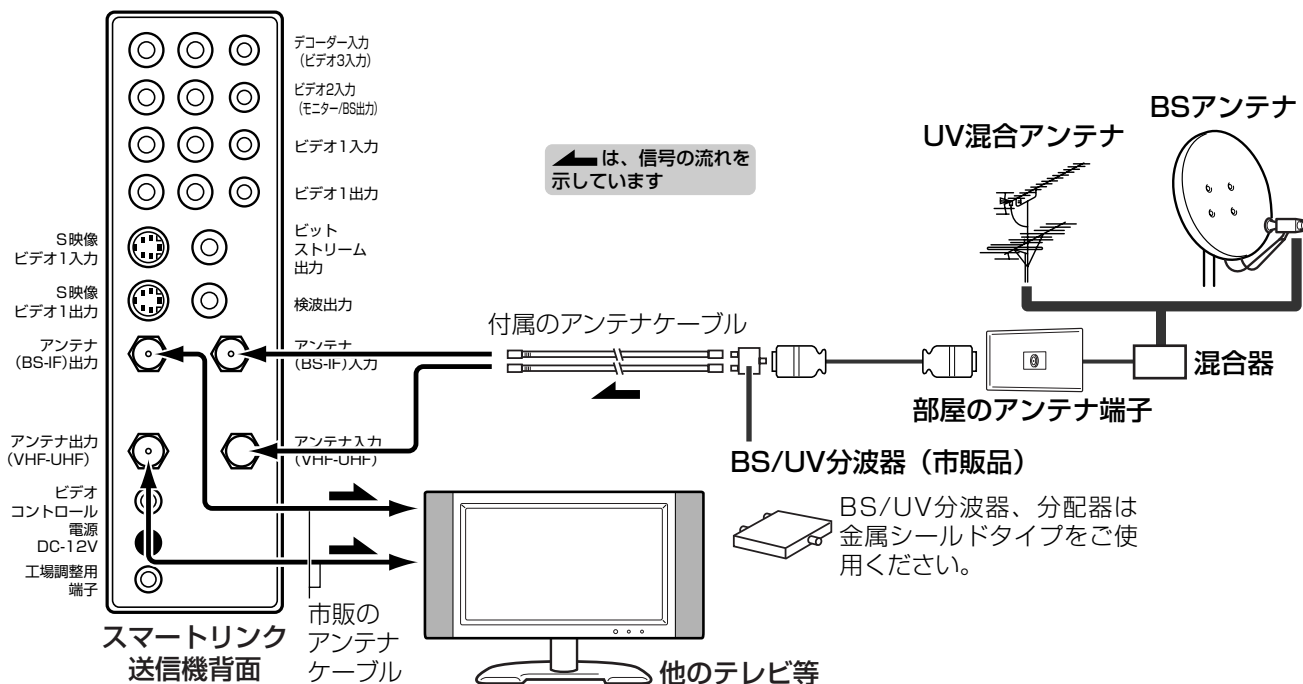
は、信号の流れを示しています

• VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分れている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

BSアンテナと接続する

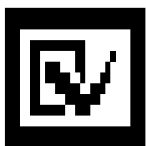
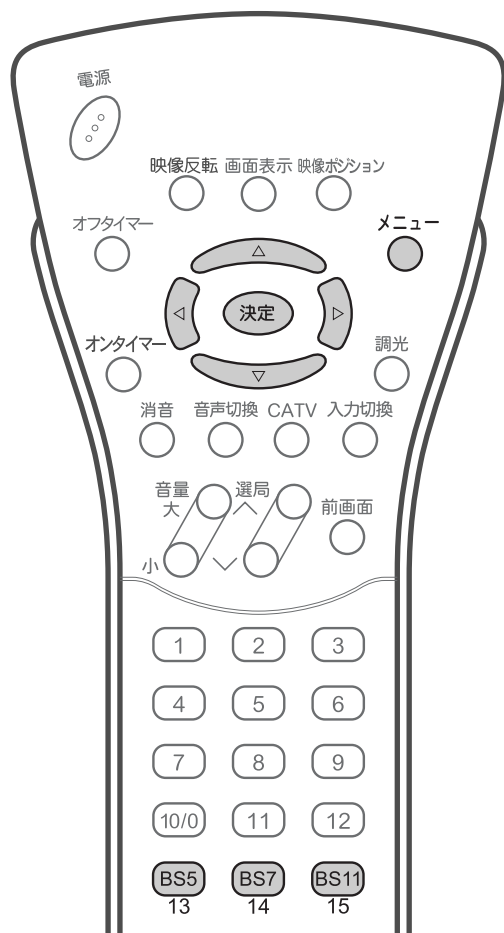
BSアンテナの接続のしかたなど、くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

■BSアンテナを単独で接続するとき

■BSとVHF/UHFが混合されているとき（共聴システムの場合）

※BSアンテナの電源は供給しないでください。

アンテナを接続する(つづき)

■BSアンテナ電源の設定について

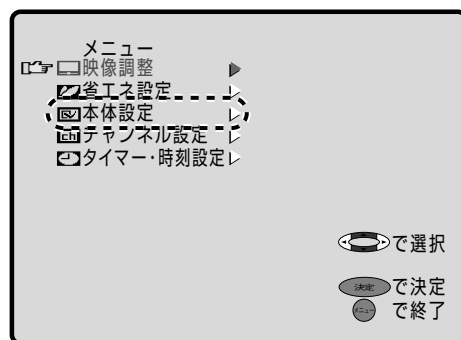
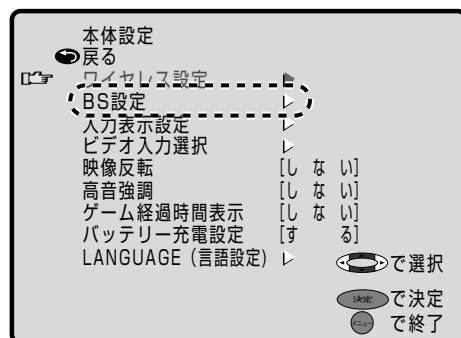
BS放送を見るために、BSアンテナに電源を供給する方法の設定をします。

切	スマートリンク送信機からBSアンテナへの電源の供給を停止します。
入	スマートリンク送信機の電源『入』のとき、BSアンテナに電源を供給します。待機状態のときも、BSアンテナに電源を供給します。(ランプはオレンジ色点灯)
連動	BS放送を見ているとき、BSアンテナに電源を供給します。(「BS固定」に設定しているときは、BS放送を見ていないときも電源を供給します。)

リモコン

BSアンテナへの電源の供給方法を「連動」に設定する

•スマートリンク送信機の電源を「入」にしておきます。

1 リモコンのBSチャンネルボタンを押す

BS5 13　BS7 14　BS11 15

2 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

3 △ ▽ で**「本体設定」**を選び、決定 を押す

4 △ ▽ で**「BS設定」**を選び、決定 を押す

リモコン

5

で**「BSアンテナ電源」**を選び、決定を押す

6

◁▷で**「連動」**に設定し、決定を押す

おしらせ

分配器を使って2台以上のBS機器を接続する場合のアンテナ電源の供給について

- 全端子通電型分配器のご使用をおすすめします。
- 片端子通電型の分配器をご使用されますと、BSアンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器でBS放送が受信できなくなります。

分配器の種類	アンテナへの電源供給
全端子通電型分配器	分配器のすべての出力端子から電源を供給
片端子通電型分配器	分配器の1つの出力端子からのみ電源を供給

- BSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずBSアンテナ電源を「切」にしてから接続してください。

アンテナを接続する(つづき)

■BSアンテナの入力信号のレベルを画面に表示しながら、角度調整ができます。

リモコン

おしらせ

アンテナ入力レベルが小さく映りが悪いときは

• アンテナからの信号を分配した場合などの信号の劣化を改善するにはブースターが必要です。また、BSアンテナの設置のしかたなど、くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

BSアンテナの入力信号レベルを表示して角度を調整する

•スマートリンク送信機の電源を「入」にしておきます。

1 リモコンのBSチャンネルボタンを押す

BS5 13　BS7 14　BS11 15

2 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

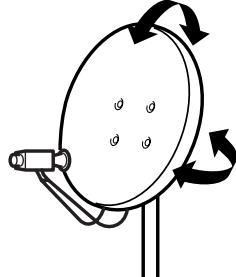
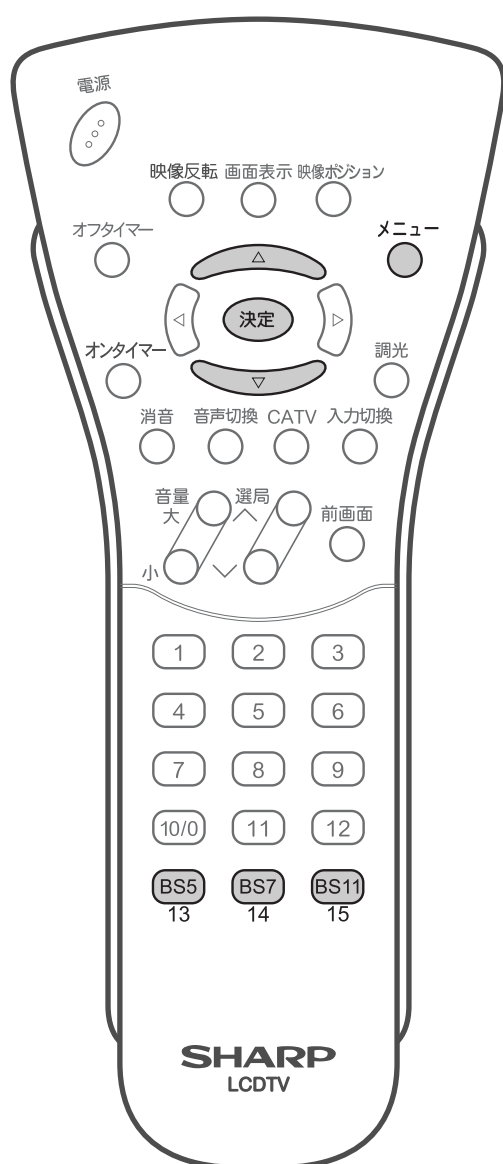
3 で**「本体設定」**を選び、(決定) を押す

本体設定
戻る
ワイヤレス設定
BS設定
入力表示設定
ビデオ入力選択
映像反転 [し な い]
高音強調 [し な い]
ゲーム経過時間表示 [し な い]
バッテリー充電設定 [す る]
LANGUAGE (言語設定)
で選択
で決定
で終了

4 で**「BS設定」**を選び、(決定) を押す

リモコン

おしらせ

• スマートリンク送信機からの映像が、テレビ本体に表示されるまでに、約1秒の時間差があります。

5 △ ▽ で**「BS入力レベル表示」**を選び、決定 を押す

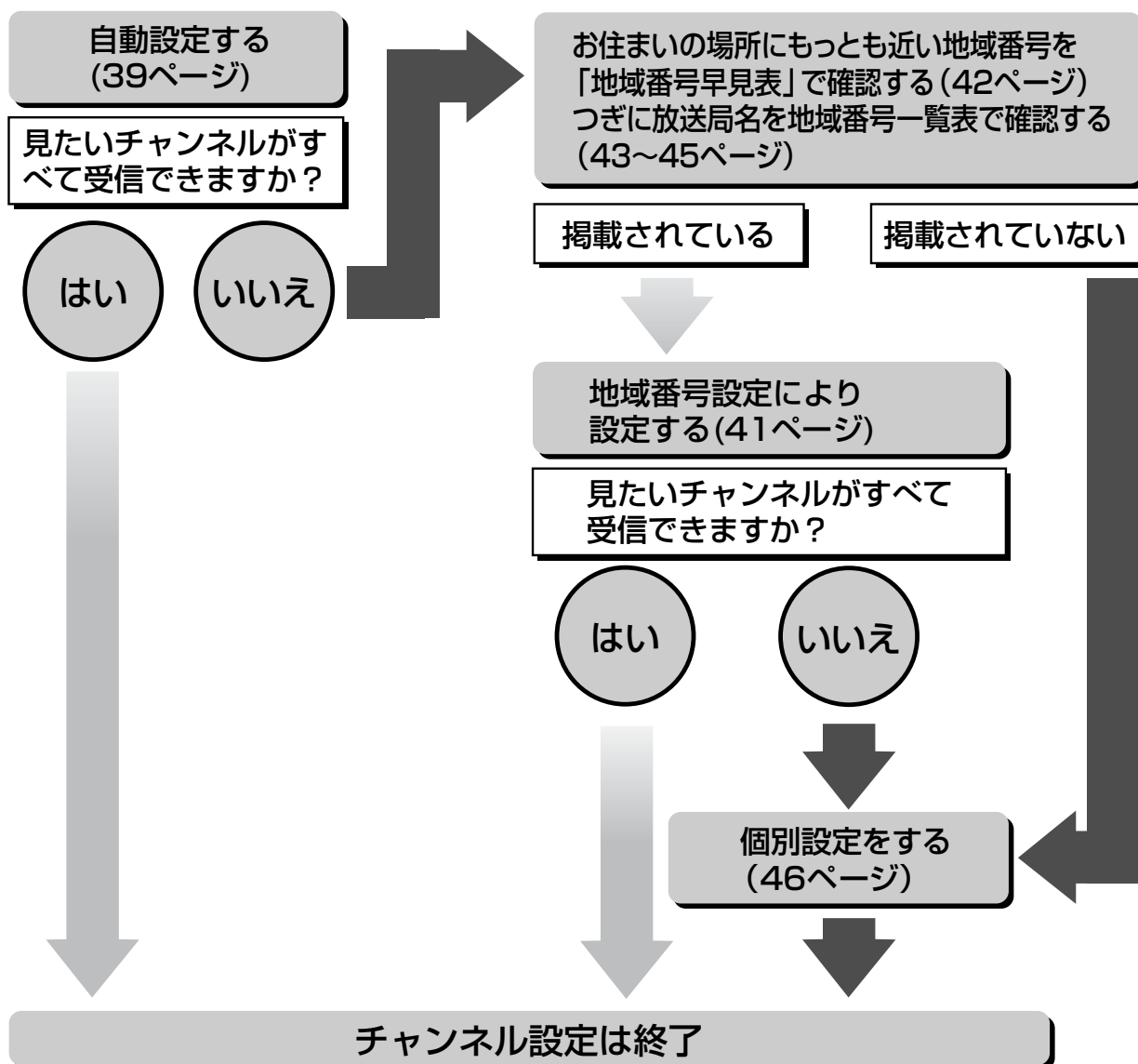
6 **画面に表示された数字が最も大きい値で、放送が最良に受信できる角度でアンテナを固定する**

（くわしくはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。）

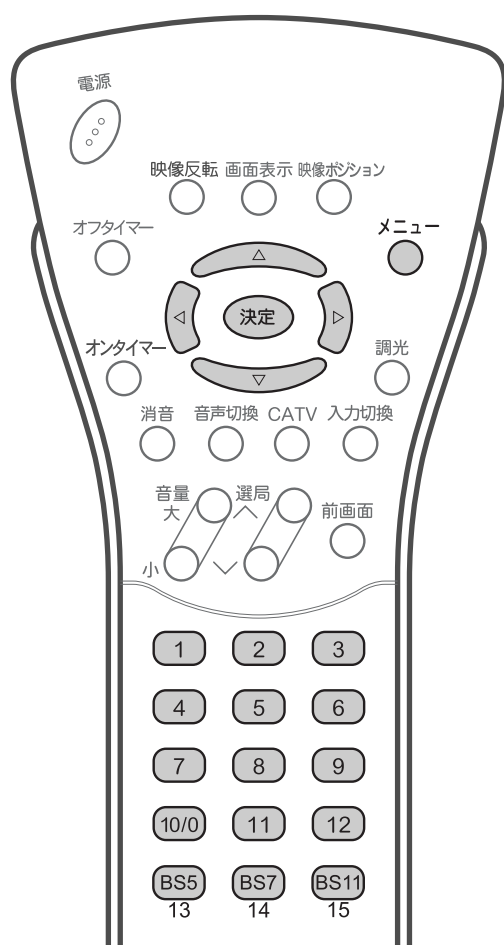
7 メニュー ○ を押し、**画面表示**を消す

チャンネルを設定する

■チャンネル設定は「自動」、「地域番号」、「個別」の3つの方法があります。

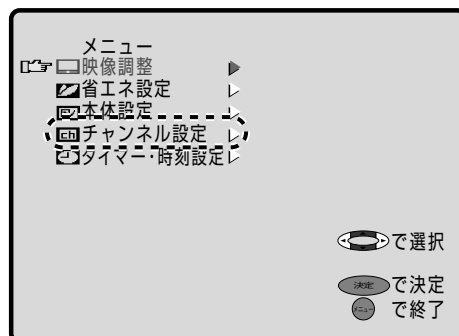
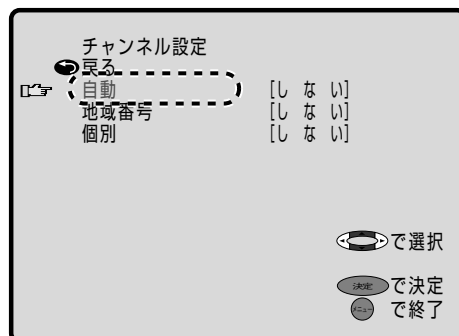
1	自動(設定)	ご使用になる場所で受信できるVHFとUHFの放送電波を自動的にキャッチし、記憶させる方法です。(CATVの放送は記憶されません)
2	地域番号(設定)	ご使用になる場所にもっとも近い都市(受信している電波を送信している都市)を42ページに記載の地域番号早見表から選び「地域番号」を入力する方法です。 • その地域に合わせ、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。 • 地域番号一覧表(43〜45ページ)には放送局名を記載しています。
3	個別(設定)	地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後他のチャンネルを追加するとき等、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。

1 自動でチャンネル設定する

■自動(設定)を実行するだけで、使用する地域で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチし、記憶させることができます。
■自動(設定)機能で記憶できるチャンネルは、最大15局です。

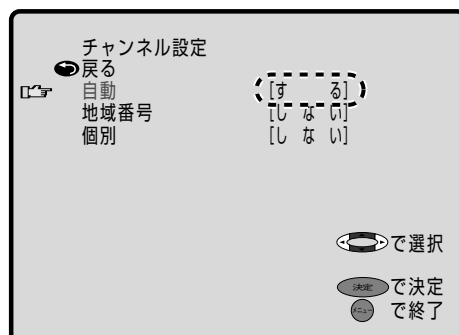
リモコン

おしらせ
• ビデオ1、2、3、ビデオ(本体)モードで「チャンネル設定」を選択するとテレビモードになります。

受信可能なチャンネルを自動的に記憶させる

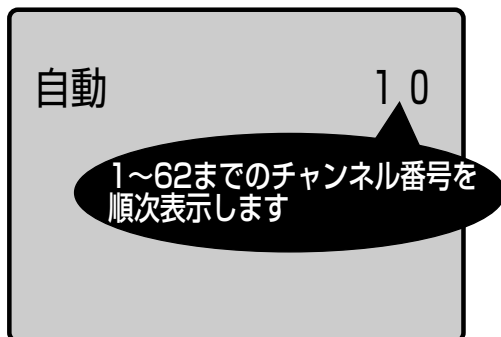
•スマートリンク送信機の電源を「入」にしておきます。

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で**「チャンネル設定」**を選び、決定 を押す

3 △ ▽ で**「自動」**を選び、決定 を押す

4 ◁ ▷ で**「する」**に設定し、決定 を押す

1 自動でチャンネル設定する(つづき)

5 自動設定が実行される

▼自動設定中

▼自動設定完了
(記憶されたチャンネル一覧)

- 設定されたチャンネルの一覧が60秒間表示されます。
  ダイレクト選局ボタンに対応した選局番号の順に左上から表示されます。
- 1〜12チャンネルは、同じ番号の選局番号1〜12に記憶されます。13〜62チャンネルは、受信されなかった空きの番号に記憶されます。
- 一覧表示はメニューボタン、選局ボタンなどを押すとすぐに消えます。

- BSチャンネルボタンの13〜15チャンネルはテレビチャンネル(53, 55, 57)に変更することができます。(53ページ)

6 自動設定完了後、選局(選局∧○, ∨○)、またはダイレクト選局ボタンを押してチャンネルを選ぶ

おしらせ

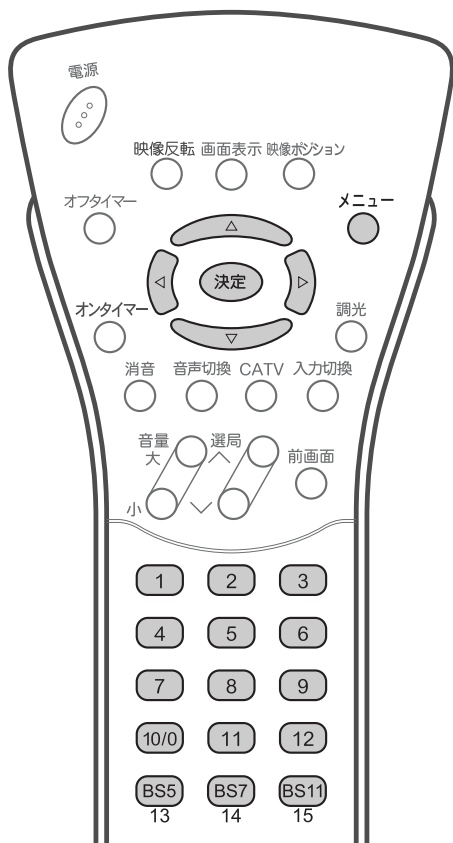
- 13〜62チャンネルについては電波の強い放送局を優先し、周波数の低い局から順番に記憶します。
  まったく受信できない場合は、前回の記憶内容が表示されます。
- ご使用後、電源を切っても記憶されたチャンネルは保持されています。
- 「自動設定」が完了すると、前に記憶されていたチャンネルがすべて消えます。
- 一度記憶した後、再び「自動設定」を実行し、記憶し直したときは、電波の弱いチャンネルが記憶されたり、されなかったりする場合があります。
  これは、電波状態などが変化したことによるもので、故障ではありません。
- 「自動設定」で、放送局以外の電波が記憶されることがあります。その場合は画面がノイズ状態で現れますが、故障ではありません。
- 放送のないチャンネルを飛び越して選局することもできます(「チャンネルスキップ機能」50ページ)。
- 「自動設定」実行中にキャンセルするときは、電源を「切」にしてください。
- **チャンネル一覧表示について**
  緑色…電波の強い放送局
  黄色…通常の強さの電波の放送局
  水色…記憶されたチャンネルが15局に達しないときは、残りはすべて自動的にチャンネルスキップ(飛び越し)に設定されます。
  (“−−”表示がチャンネルスキップです。)

■受信チャンネルと選局番号について

- 選局ボタンを押すと、選局番号の順に切り換わります。
  <左の例のとき>
  選局ボタンを押す
  1→33→3→4…
- ダイレクト選局ボタンを押すと、ボタンと同じ番号の選局番号に切り換わります。
  <左の例のとき>
  「1」を押す：1チャンネルを選局
  「7」を押す：49チャンネルを選局
- 画面のチャンネル表示は選ぶことができます。51ページをご覧ください。

2 地域番号でチャンネル設定する

■ 地域番号によるチャンネル設定ができます。42ページの地域番号早見表および43～45ページに記載してある地域番号一覧表の都市名とチャンネル番号と放送局名を確認した上で、お住まいの地域の地域番号を設定してください。
地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後にその他の放送チャンネルを追加される場合は、「個別設定」でチャンネルを合わせ直してください。

リモコン

おしらせ

- 手順**4**で地域番号を入力するときは、ダイレクト選局ボタン以外に選局ボタンを押して選ぶこともできます。
  ●選局ボタン(上)を押すと
  …00→01→02→…98→107→ - - →00
  ●選局ボタン(下)を押すと
  …00→ - - →107→98…→02→01→00
- **他のチャンネルを設定するときは46ページへお進みください。**
- このテレビは工場出荷時、VHF1～12チャンネルが映るように設定されています。
- ビデオ1、2、3、ビデオ(本体)で「チャンネル設定」を選択すると、テレビ画面になります。
- 画面のチャンネル表示は選ぶことができます。(くわしくは51ページをご覧ください。)

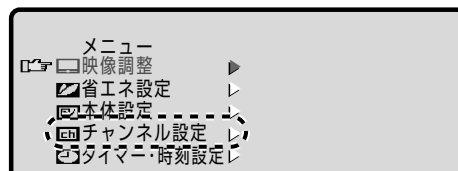
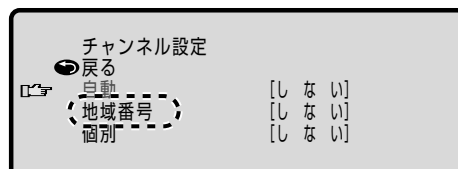
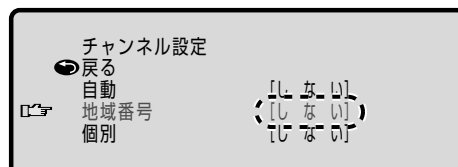
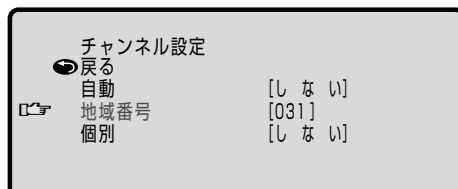
•スマートリンク送信機の電源を「入」にしておきます。

[例] 東京都八王子市にお住まいのかた(地域番号「31」を設定する)

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で**「チャンネル設定」**を選び、決定 を押す

チャンネル設定
戻る
自動 [し な い]
地域番号 [し な い]
個別 [し な い]

3 △ ▽ で**「地域番号」**を選び、決定 を押す

4 3 1 を押し、決定 を押す

• チャンネル設定が始まり、設定終了後チャンネル設定画面が表示されます。

• 約60秒たつと、チャンネル設定画面は消えます。
• 一覧表示は、メニューボタン、選局ボタン等を押すとすぐに消えます。

2 地域番号でチャンネル設定する(つづき)

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021	え	江別市	001	き	京都市1	060	そ	草加市	027	に	新潟市	037	ふ	府中市	030
	青森市	010	お	青梅市	030		京都市2	098	た	大東市	061		新座市	027		船橋市	029
	明石市	063		大分市	091		桐生市	026		高岡市	040		新居浜市	080	へ	別府市	091
	昭島市	030		大垣市	047	く	釧路市	004		高崎市	025		西宮市	061	ほ	防府市	074
	秋田市	015		大阪市	061		熊谷市	028		高槻市	061	ぬ	沼津市	052	ま	前橋市	025
	阿久根市	095		大館市	016		熊本市	090		高松市	078	ね	寝屋川市	061		町田市	033
	上尾市	027		大津市	058		倉敷市	070		宝塚市	061	の	野田市	029		松江市	068
	朝霞市	027		大牟田市	086		久留米市	085		立川市	030		延岡市	093		松阪市	057
	旭川市	002		岡崎市	054		呉市	073		多摩市	032	は	函館市	003		松戸市	029
	足利市	027		岡山市	070	こ	高知市	082	ち	茅ヶ崎市	034		秦野市	036		松原市	061
	厚木市	033		沖縄市	096		甲府市	043		千葉市	029		八王子市	031		松本市	046
	網走市	001		小樽市	007		神戸市	061		調布市	030		八戸市	011		松山市	079
	我孫子市	029		小田原市	035		郡山市	019	つ	津市	057		羽曳野市	061	み	三郷市	027
	尼崎市	061		帯広市	005		小金井市	030		つくば市	029		浜田市	069		三島市	052
	安城市	054		小山市	027		越谷市	027		土浦市	029		浜松市	050		三鷹市	030
い	飯田市	045	か	各務原市	048		小平市	030		鶴岡市	018		半田市	054		水戸市	022
	池田市	061		加古川市	063		小牧市	054	と	東京23区	030	ひ	東大阪市	061		都城市	092
	生駒市	061		鹿児島市	094		小松市	041		徳島市	097		東久留米市	030		宮崎市	092
	石巻市	014		橿原市	065	さ	さいたま市	027		徳山市	074		東村山市	030	む	武蔵野市	030
	和泉市	061		柏市	029		堺市	061		所沢市	027		彦根市	059		室蘭市	008
	伊勢崎市	025		春日井市	054		佐賀市	087		鳥取市	067		日立市	023	も	盛岡市	012
	伊丹市	061		春日部市	027		酒田市	018		苫小牧市	006		ひたちなか市	022		守口市	061
	市川市	029		門真市	061		相模原市	033		富山市	039		日野市	030	や	矢板市	031
	一宮市	054		金沢市	041		佐倉市	029		豊川市	055		姫路市	062		焼津市	049
	市原市	029		鎌倉市	033		佐世保市	089		豊田市	056		枚方市	061		八尾市	061
	茨木市	061		刈谷市	054		札幌市	001		豊中市	061		平塚市	034		八千代市	029
	今治市	081		川口市	027		座間市	033		豊橋市	055		弘前市	010		八代市	090
	入間市	027		川越市	027		狭山市	027		富田林市	061		広島市	071		山形市	017
	いわき市	020		川崎市	033	し	静岡市	049	な	長岡市	037	ふ	福井市	042		山口市	074
	岩国市	077		河内長野市	061		清水市	049		長崎市	088		福岡市	083		大和市	033
	岩槻市	027		川西市	064		下関市	075		長野市	044		福島市	019	よ	横須賀市	033
う	宇治市	060	き	木更津市	029		上越市	038		流山市	029		福山市	072		横浜市	033
	宇都宮市	024		岸和田市	061	す	吹田市	061		名古屋市	054		富士市	051		四日市市	057
	宇部市	076		北九州市	084		鈴鹿市	057		那覇市	096		藤枝市	053		米子市	068
	浦安市	029		北見市	009	せ	瀬戸市	054		奈良市	065		藤沢市	033	わ	和歌山市1	066
え	海老名市	033		岐阜市	047		仙台市	013		習志野市	029		富士宮市	051		和歌山市2	099

地上波デジタル放送の開始にともなう一部地域番号の変更について

- 2003年12月(予定)以降、お住まいの地域ごとに地上波デジタル放送が開始されます。(2003年3月現在)
- 下表の地域番号100〜107は、地上波デジタル放送の開始にともない受信チャンネルが変更された場合に設定してください。

都道府県	都市名	地域番号	都道府県	都市名	地域番号	都道府県	都市名	地域番号	都道府県	都市名	地域番号
栃木	矢板市	100	**群馬**	桐生市	102	**東京**	八王子市	104	**岐阜**	各務原市	106
	宇都宮市	101	**埼玉**	熊谷市	103		多摩市	105	**和歌山**	和歌山市1	107

- 上記以外の番号を入力したときは、次のようなエラーメッセージが出ます。

> **地域番号○○○がありません**
> **地域番号を入れなおしてください。**

地域番号一覧表

■地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は当社の調査によるものです。
（2003年3月現在）

都道府県	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	001	1 北海道放送	2	3 ＮＨＫ総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 ＮＨＫ教育
	旭川	002	1	2 ＮＨＫ教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 北海道放送	12
	函館	003	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 ＮＨＫ総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 ＮＨＫ教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	004	1	2 ＮＨＫ教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	005	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 ＮＨＫ総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	苫小牧	006	47 テレビ北海道	49 ＮＨＫ教育	51 ＮＨＫ総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	007	24 テレビ北海道	2 ＮＨＫ教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 ＮＨＫ総合	12
	室蘭	008	1	2 ＮＨＫ教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 北海道放送	12
	北見	009	1	2 ＮＨＫ教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	010	1 青森放送テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＮＨＫ教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	011	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 ＮＨＫ教育	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	012	1	2	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 ＩＢＣテレビ	7	8 ＮＨＫ教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1 東北放送	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＮＨＫ教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	014	59 東北放送	2	51 ＮＨＫ総合	4	49 ＮＨＫ教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	015	1	2 ＮＨＫ教育	3	4	5	6	7	8	9 ＮＨＫ総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	016	1	2 ＮＨＫ教育	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 ＮＨＫ教育	9 ＮＨＫ総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4 ＮＨＫ教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 ＮＨＫ総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	018	1 山形放送	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	6 ＮＨＫ教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2 ＮＨＫ教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	020	1	62 テレビユー福島	3	4 ＮＨＫ総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 ＮＨＫ教育	11	60 福島放送
	会津若松	021	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	022	44 ＮＨＫ総合	2	46 ＮＨＫ教育	42 日本テレビ	5	40 ＴＢＳテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	023	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	5	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	宇都宮	024	29 ＮＨＫ総合	2	27 ＮＨＫ教育	25 日本テレビ	5	23 ＴＢＳテレビ	7	21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
群馬	前橋	025	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	026	43 ＮＨＫ総合	2	45 ＮＨＫ教育	39 日本テレビ	40 放送大学	37 ＴＢＳテレビ	7	35 フジテレビ	9	33 テレビ朝日	41 群馬テレビ	31 テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	028	33 ＮＨＫ総合	2	35 ＮＨＫ教育	25 日本テレビ	5	23 ＴＢＳテレビ	16 放送大学	21 フジテレビ	28 テレビ埼玉	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
千葉	千葉	029	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	２３区	030	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 ＴＢＳテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	031	51 ＮＨＫ総合	2	49 ＮＨＫ教育	53 日本テレビ	47 東京メトロポリタン	55 ＴＢＳテレビ	7	57 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	多摩	032	30 ＮＨＫ総合	2	32 ＮＨＫ教育	26 日本テレビ	28 東京メトロポリタン	24 ＴＢＳテレビ	7	22 フジテレビ	9	20 テレビ朝日	11	18 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ケ崎	034	33 ＮＨＫ総合	2	29 ＮＨＫ教育	35 日本テレビ	5	37 ＴＢＳテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	5	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 ＮＨＫ総合	2	49 ＮＨＫ教育	51 日本テレビ	5	53 ＴＢＳテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ２１	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 ＮＨＫ総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	上越	038	1 ＮＨＫ教育	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	37 新潟テレビ２１	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	6	7	8	9	10 ＮＨＫ教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 ＮＨＫ総合	4	5	6	7	8	9	46 ＮＨＫ教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 ＭＲＯテレビ	25 北陸朝日放送	8 ＮＨＫ教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 ＮＨＫ教育	4	5	6 ＭＲＯテレビ	7	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 ＦＢＣテレビ	12

2 地域番号でチャンネル設定する（つづき）

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	（リモコン番号）		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
山梨	甲府	043	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK教育	4 NHK総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送
	各務原	048	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	28 岐阜放送
静岡	静岡	049	1	2 NHK教育	31 静岡第1テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第1テレビ	3	4 NHK総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK教育	27 静岡第1テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	059	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育
京都	京都１	060	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都２	098	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	062	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	063	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	064	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	065	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	066	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 NHK教育
	和歌山2	099	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	069	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	11	12 広島テレビ
	福山	072	1 NHK総合	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	073	1 NHK教育	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	074	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	075	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TXN九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	076	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	077	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
	新居浜	080	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TXN九州	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TXN九州	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TXN九州	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TXN九州	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	087	19 TXN九州	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	088	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	089	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 NHK教育	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 NHK総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	093	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
	阿久根	095	1	30 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育
工場出荷設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

地上波デジタル放送の開始にともなう一部地域番号の変更について

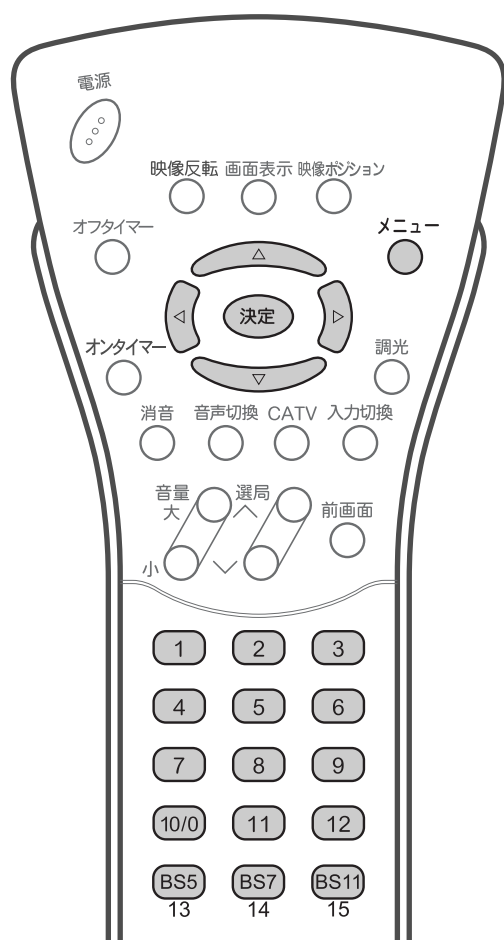
- 2003年12月（予定）以降、お住まいの地域ごとに地上波デジタル放送が開始されます。（2003年4月現在）
- 下表の地域番号100〜107は、地上波デジタル放送の開始にともない受信チャンネルが変更された場合に設定してください。

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
栃木	矢板	100	40 NHK総合	2	30 NHK教育	36 日本テレビ	33 とちぎテレビ	42 TBSテレビ	7	45 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	宇都宮	101	51 NHK総合	2	49 NHK教育	53 日本テレビ	5	55 TBSテレビ	7	57 フジテレビ	31 とちぎテレビ	41 テレビ朝日	11	44 テレビ東京
群馬	桐生	102	51 NHK総合	2	57 NHK教育	53 日本テレビ	40 放送大学	55 TBSテレビ	7	35 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	41 群馬テレビ	61 テレビ東京
埼玉	熊谷	103	51 NHK総合	2	35 NHK教育	53 日本テレビ	5	55 TBSテレビ	16 放送大学	57 フジテレビ	30 テレビ埼玉	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
東京	八王子	104	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBSテレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK総合	2	47 NHK教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
岐阜	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	41 岐阜放送
和歌山	和歌山1	107	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK教育

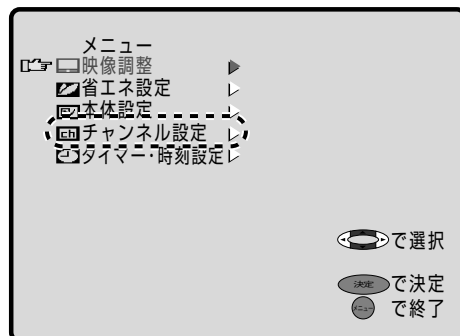
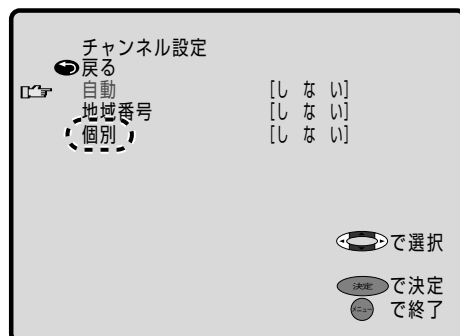
※受信チャンネル番号と放送局名は、今後、変更される場合があります。

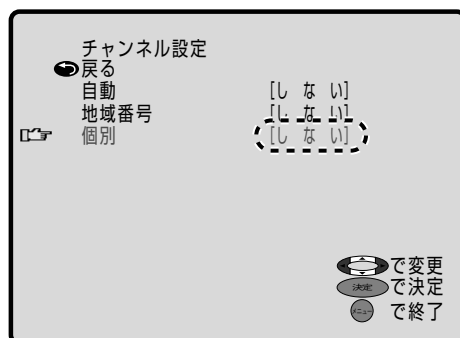
3 1局ずつチャンネルを選んで個別に設定する

■テレビの受信チャンネルを変更したいときや、チャンネルの順番を変えたいときにチャンネルを合わせ直すことができます。
■普段、よくご使用される受信エリアで、チャンネルの順番を新聞の番組表などに合わせておくと便利です。

リモコン

•スマートリンク送信機の電源を「入」にしておきます。

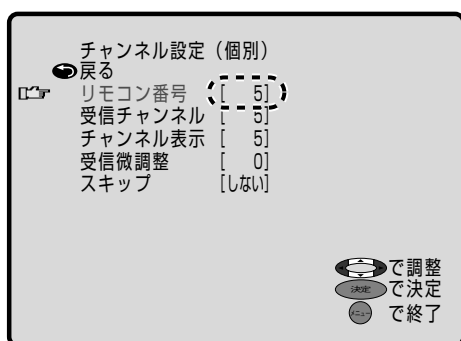
[例]選局番号「5」にUHF放送「42」チャンネルを設定する

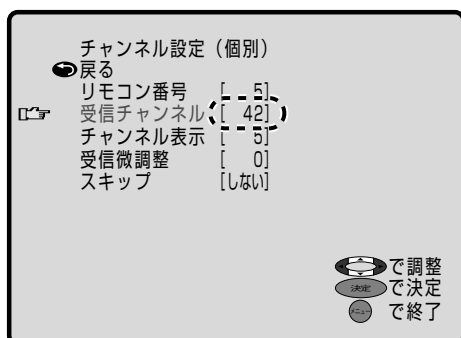
1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で **「チャンネル設定」** を選び、(決定) を押す

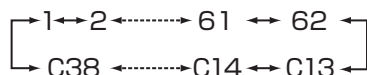
3 △ ▽ で **「個別」** を選び、(決定) を押す

4 ◁ ▷ で **「する」** に設定し、(決定) を押す

• 本体の電源スイッチを「切」にしても設定されたチャンネルは記憶されています。
• 「個別」設定機能実行中に他の操作を行うときは、メニューボタンを押し、テレビモードに戻してから操作してください。
• テレビモード以外でチャンネル設定を選択すると、テレビモードに切り換わります。

5 ▲▼で「リモコン番号」を選び、(決定)を押す

6 ◁▷で「5」を表示して、(決定)を押す

7 ▲▼で「受信チャンネル」を選び、(決定)を押す

8 ◁▷で「42」を表示して、(決定)を押す

- しばらく ◁ ▷ を押し続けると、受信できるチャンネルをさがして停止するまで自動的に飛ばします。受信できるチャンネルがないときは元に戻ったところで停止します。飛ばしている途中で再度 ◁ ▷ を押すと、その時点で停止します。
- CATVチャンネルをリモコン番号で選択したときは、受信チャンネルとチャンネル表示の項目は表示されません。
- ◁ ▷ で次のように変化します。

1↔2↔……↔61 ↔ 62 ↔ C13 ↔ C14 ↔……↔ C38 ↔ 1

9 設定終了後、(メニュー)を押す

- ひきつづき設定する場合は、手順5～8を繰り返してください。

チャンネル設定（個別）画面表示

チャンネル設定（個別）画面はチャンネルの種類により異なります。

BSチャンネル選局時

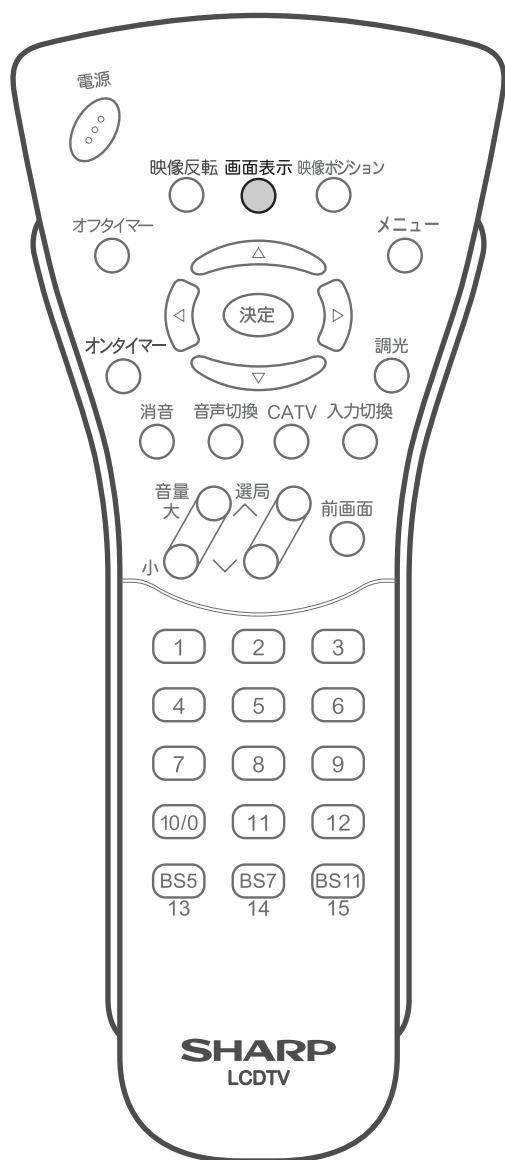
CATVチャンネル選局時

受信中のチャンネルを確かめるには

■画面表示ボタンを押すと画面の右上にチャンネル表示で設定された番号などが表示されます。

■「チャンネル表示の設定」については51ページをご覧ください。

リモコン

■画面にチャンネルが表示されていないときに画面表示ボタンを押すと、次のように切り換わります。

画面表示 ○ を押す

・あらかじめ時刻設定をしてください。（時刻設定58ページ参照）

約10秒後、自動的に小さな文字に切り換わり、時刻表示が消えます。

バッテリー表示は、バッテリー使用時のみ表示されます。

■画面にチャンネルが表示されているときに画面表示ボタンを押すと、次のように切り換わります。

チャンネル表示が消える

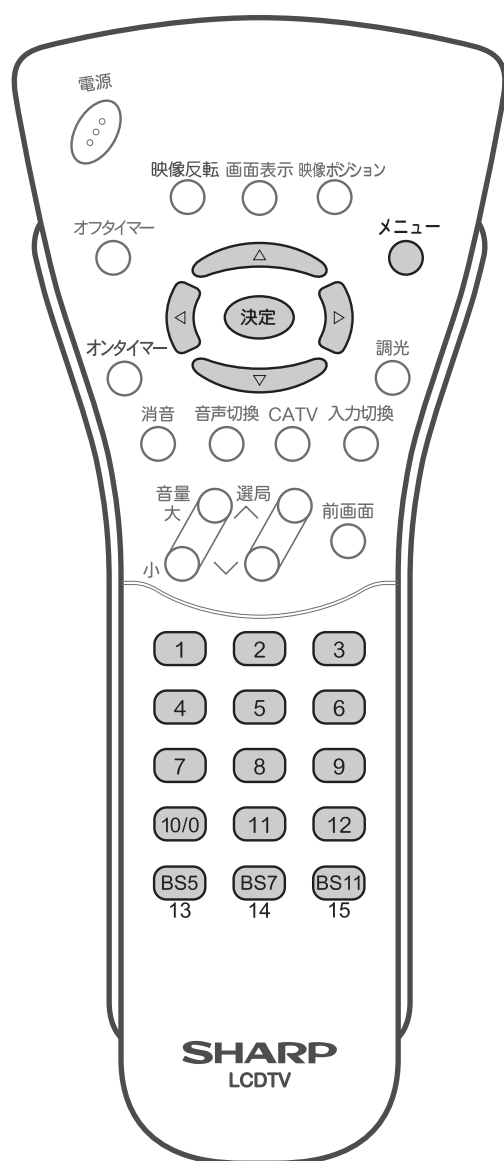
受信状態を微調整する

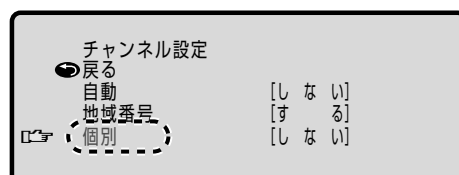
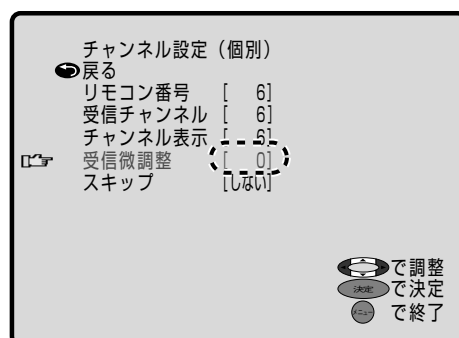
受信微調整について

■受信チャンネルによっては、受信周波数を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

リモコン

•スマートリンク送信機の電源を「入」にしておきます。

[例] テレビチャンネル6を微調整する

1 -1 ダイレクト選局ボタン ⑥ を押し、「6」チャンネルを選ぶ

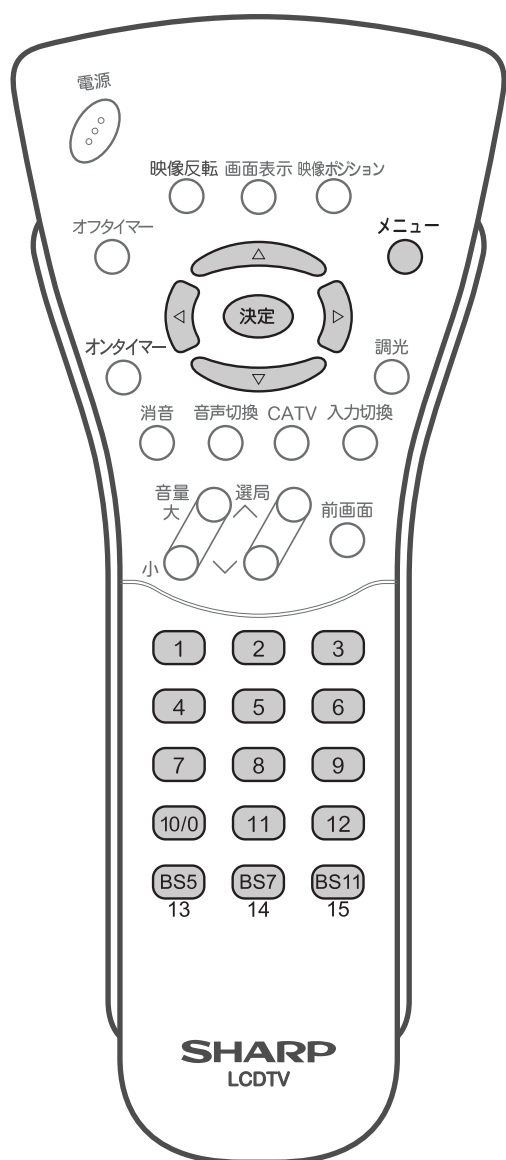
-2 46ページの手順1～4までを実行し、**チャンネル設定（個別）画面**を表示する

2 △ ▽ で **「受信微調整」** を選び、(決定) を押す

3 ◁ ▷ で見やすい映像に調整する

調整値が−80～0～+80の範囲で変化します。

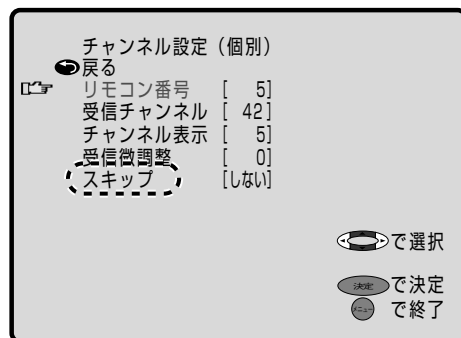
- 「受信微調整」設定中や「スキップ」を「する」に設定中に受信チャンネルを変更すると、「受信微調整」は「0」に、「スキップ」は「しない」に自動で切り換わります。
  また、「スキップ」を「する」に設定している状態で受信微調整を行うと、自動的に「スキップ」は「しない」に切り換わります。
- BSチャンネルは、受信微調整はありません。

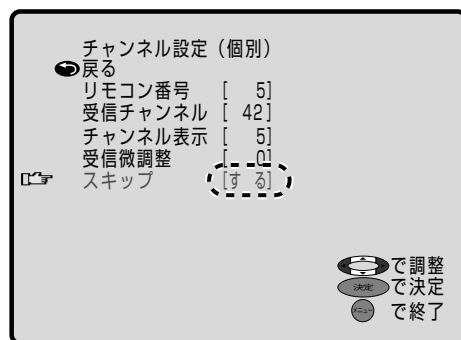
放送のないチャンネルを飛び越す(チャンネルスキップ)

■あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局ボタンを押したときに、放送のないチャンネル(空きチャンネル)を飛び越して選局できます。

リモコン

- ご使用後、本体の電源スイッチを「切」にしても設定したスキップは記憶されています。
- CATVチャンネルC13〜C38は工場出荷時、スキップ「する」に設定されています。スキップを「しない」に設定したCATVチャンネルは、選局ボタンで選局できるようになります。
- すべてのチャンネルにスキップを設定することはできません。

[例]選局番号「5」をスキップするとき

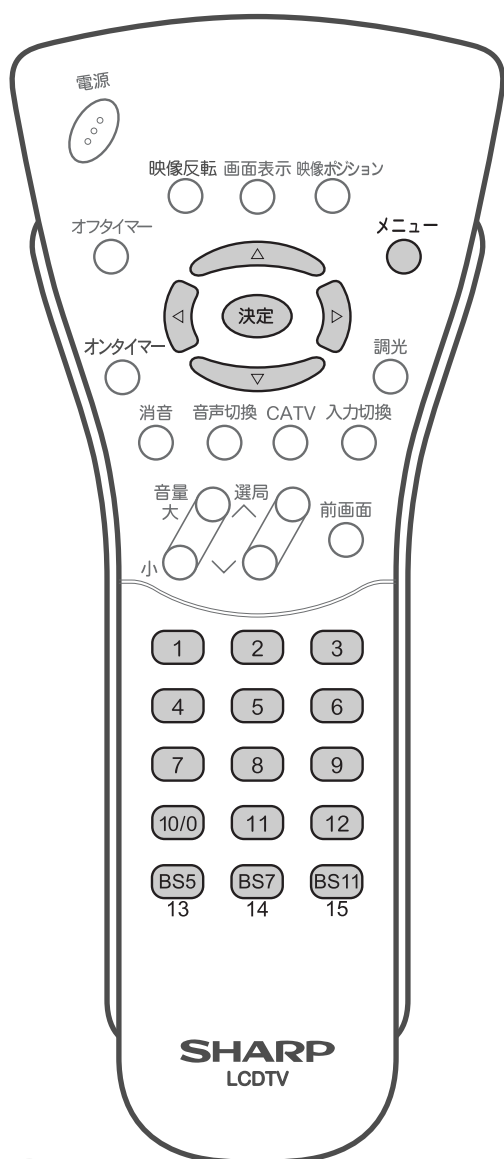
1 46ページの手順1〜4までを実行し、**チャンネル設定(個別)画面**を表示する

2 △ ▽ で**「スキップ」**を選び、決定 を押す

3 ◁ ▷ で**「する」**に設定し、決定 を押す

4 設定終了後 メニュー ○ を押す

- テレビ受信状態になります。

画面に表示するチャンネル表示を切り換える

■画面に表示されるチャンネル表示を選ぶことができます。
■工場出荷時は、リモコン番号と同じ数字に設定されています。

リモコン

おしらせ

- リモコン番号が1～15の場合は、◁▷を押すと、次のように設定できます。
  C38 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ･･･ ↔ 98 ↔ 99 ↔ BS1 ↔ BS3 ･･･ ↔ ･･･ ↔ BS13 ↔ BS15 ↔ C13 ↔ C14 ･･･ ↔ C37 ↔ C38 ↔ 1
- リモコン番号がBS1～BS15の場合は、次のように設定できます。
  BS1 ⟷ BS3 ･･･ ⟷ BS13 ⟷ BS15
- リモコン番号がC13～C38の場合は、設定できません。

[例]表示番号「3」を「49」に変更する

1

-1 ダイレクト選局ボタン ③ を押し、**「3」**を表示する

-2 46ページの1～4の手順で**チャンネル設定（個別）画面**を表示する

2

△ ▽ で**「チャンネル表示」**を選び、決定 を押す

3

◁▷ で**「49」**に設定し、決定 を押す

4

設定終了後 メニュー ○ を押す

- リモコン番号 ③ を押すと、画面表示が49になります。

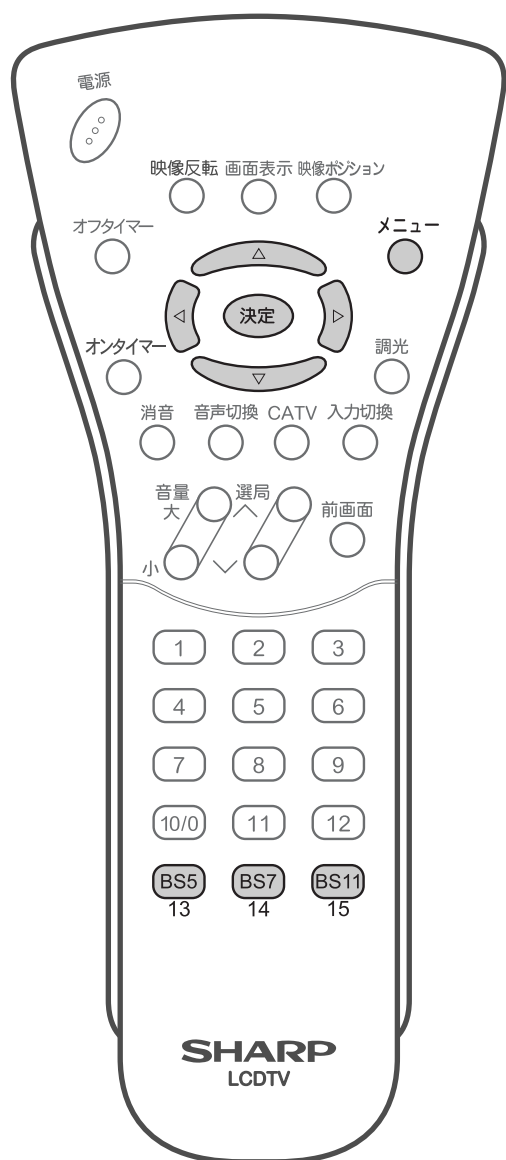
その他のチャンネル設定

BS外部チャンネルを設定する

■工場出荷時、WOWOW（ワウワウ）のBS5チャンネルがBS外部チャンネルに設定されています。通常はこのままでご使用ください。

BSチャンネルを変更したときなどに、BS外部チャンネルの設定を行ってください。

■WOWOW（ワウワウ）のBSデコーダーをデコーダー入力(ビデオ3入力)端子に接続するときに必要な設定です。

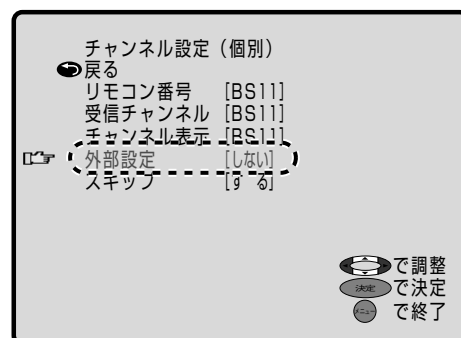
リモコン

[例]BS11チャンネルをBS外部チャンネルに設定する

1

-1 リモコンの BS11/15 を押す

-2 46ページの1～4を実行し、**チャンネル設定（個別）画面**を表示する

2

-1 △ ▽ で**「外部設定」**を選び、決定を押す

-2 ◁ ▷ で**「する」**に設定し、決定 を押す

3

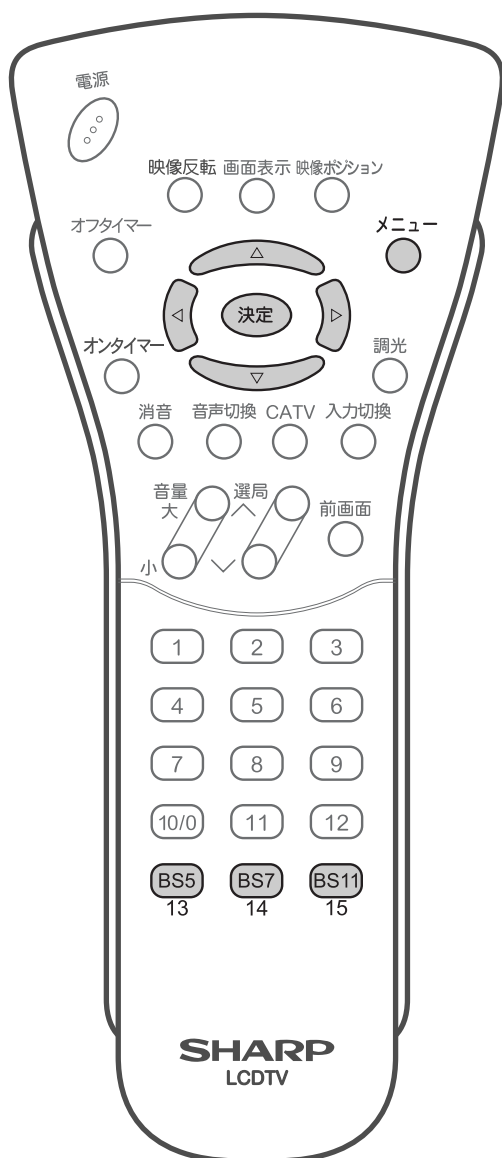
設定終了後 メニュー を押す

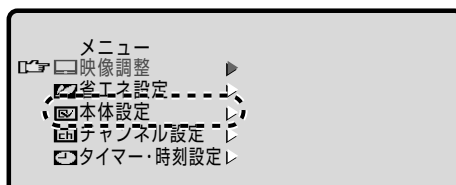
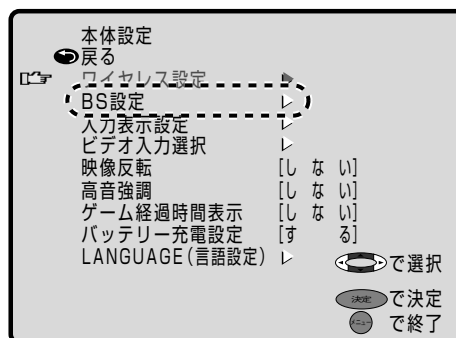
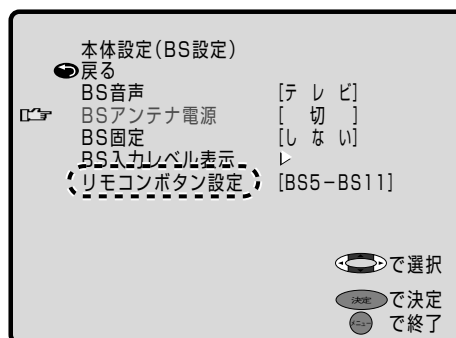
「外部設定」を解除するとき

手順2-2の操作で、**「しない」**を選ぶ

リモコンボタン設定

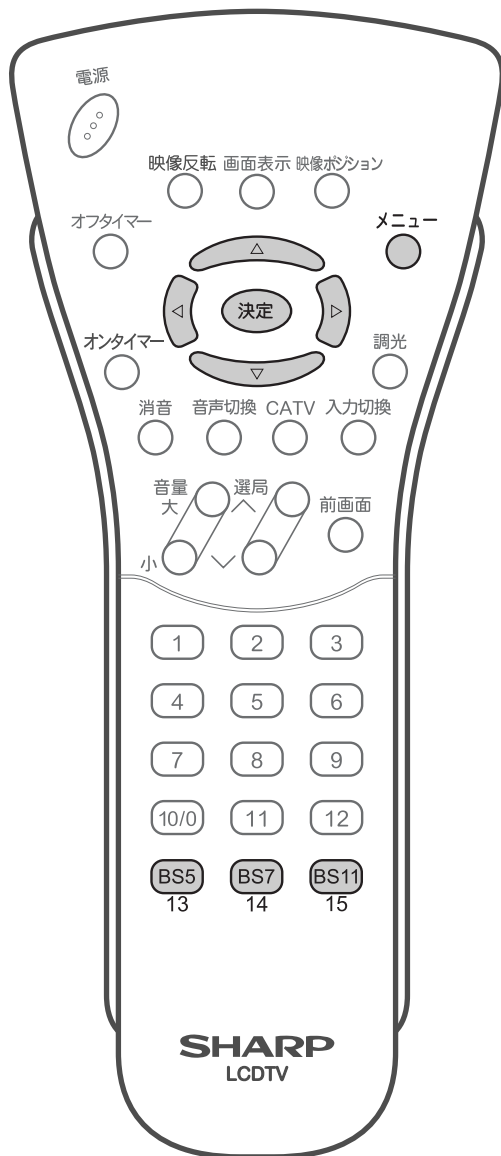
■リモコンボタンBS5、7、11にBSチャンネルを割り当てるか、テレビチャンネルを割り当てるかの設定ができます。
工場出荷時は、BSチャンネルに設定されています。

リモコン

[例]リモコンボタンBS5,7,11にテレビチャンネル「13-15」を割り当てる

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △▽で**「本体設定」**を選び、決定を押す

3 △▽で**「BS設定」**を選び、決定を押す

その他のチャンネル設定(つづき)

リモコン

4 △ ▽ で「リモコンボタン設定」を選び、(決定)を押す

5 ◁ ▷ で「13−15」を選び、(決定)を押す

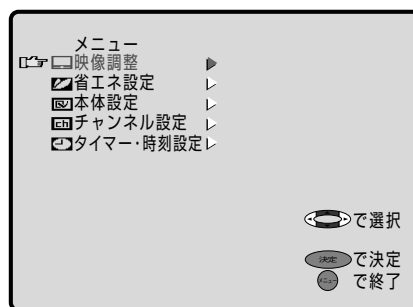
6 (メニュー)を押し、終了する

調整と設定

メニュー画面について

■画質の調整や表示内容の設定は、画面に表示された調整項目や値を見ながら、カーソルボタンで操作します。

■メニューボタンを押すと、メニューが画面に出ます。メニューから調整する項目や設定したい内容を選んでください。操作方法や選びかたについては、各項目の説明ページをご覧ください。

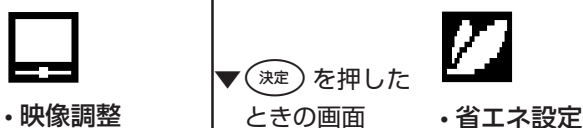
1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △▽ を押して**項目を選び**、(決定) を押す

- ボタンを押すと、カーソル（☞）が移動します。
- 調整や設定を行う項目の先頭にカーソルを移動させます。
- 選択された項目は、黄色で表示されます。
- メニュー ○ を押すと、終了します。
- 赤色の項目は選択できません。

メニュー
映像調整
省エネ設定
本体設定
チャンネル設定
タイマー・時刻設定
で選択
で決定
で終了

メニュー
映像調整
省エネ設定
本体設定
チャンネル設定
タイマー・時刻設定
で選択
で決定
で終了

3 △▽ を押して**項目を選び**、(決定) を押す

▼(決定) を押したときの画面

4 ◁▷ を押して設定する

- これ以降の操作は、項目ごとに異なりますので各項目の説明ページをご覧ください。
- 「戻る」を選択して決定すると、手順**2**の画面に戻ります。

• 映像調整

（69ページ）

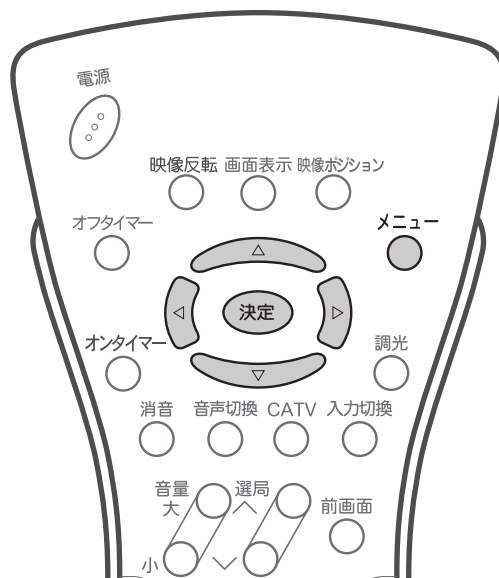
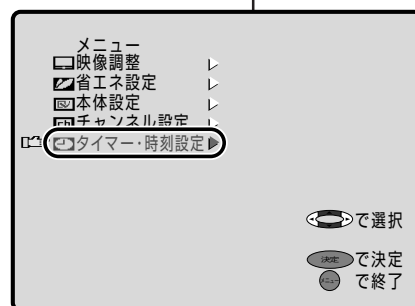
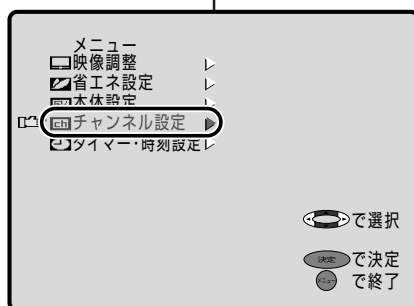
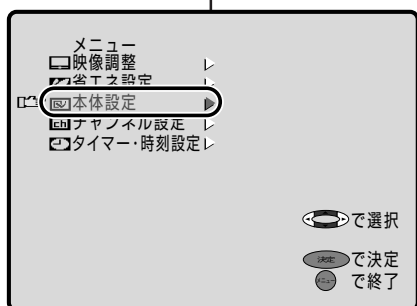
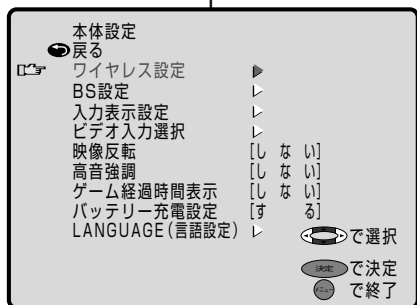
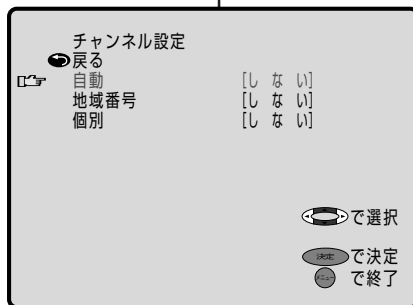
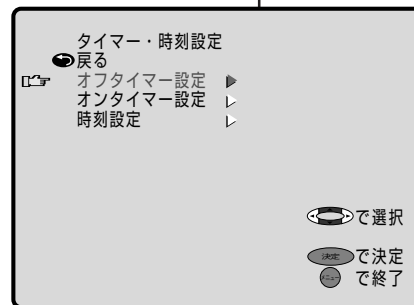
• 省エネ設定

省エネ設定
戻る
調光 [ユーザー設定]
調光ユーザー設定 [0]
無操作電源オフ [しない]
無信号電源オフ [しない]
リセット
で選択
で決定
で終了

（ページ）
- 調光 …………………… 65
- 調光ユーザー設定 ………… 65
- 無操作電源オフ ………… 66
- 無信号電源オフ ………… 66

5 メニュー ○ を押して終了する

- この取扱説明書では、画面表示を部分的に大きく使用して説明していますので、実際の表示と異なることがあります。
- メニュー画面や各調整画面でメニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。60秒間ボタンを押さない場合も元の画面に戻ります。画面が戻る前に変更した調整値や設定はそのまま記憶されています。
- 各設定画面でリセットを選ぶと、工場出荷状態に戻ります。
- メニュー画面が表示されないときは、本体の設置場所をかえるなどして、メニュー画面が正常に映る状態にしてから設定してください。

リモコン

• 本体設定

(ページ)

- ワイヤレス設定 ･･･････････････ 29
- BS設定 ････････････････････ 34
- 入力表示設定 ･･････････････ 73
- ビデオ入力選択 ････････････ 88
- 映像反転 ･･････････････････ 75
- 高音強調 ･･････････････････ 72
- ゲーム経過時間表示 ････････ 87
- バッテリー充電設定 ････････ 28
- LANGUAGE(言語設定) ････ 78

• チャンネル設定

(ページ)

- 自動 ･･････････････････････ 39
- 地域番号 ･･････････････････ 41
- 個別 ･･････････････････････ 46

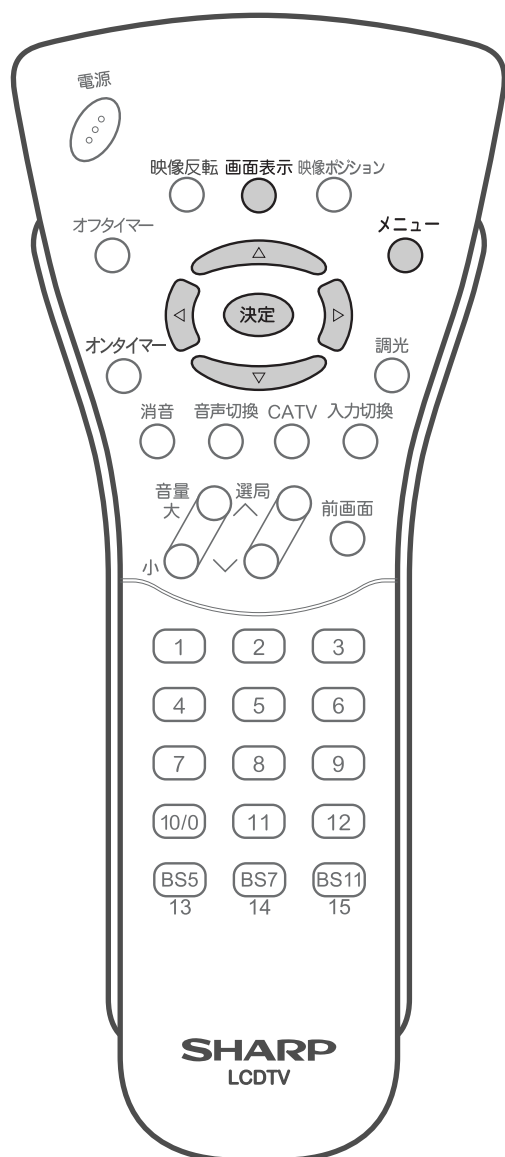
• タイマー・時刻設定

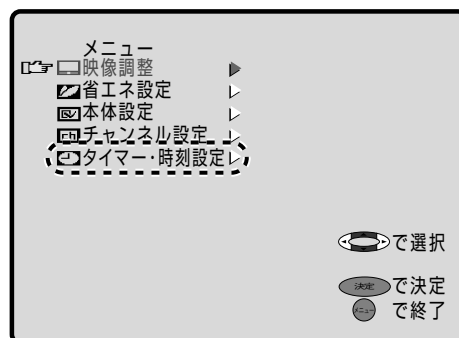
(ページ)

- オフタイマー設定 ･･････････ 63
- オンタイマー設定 ･･････････ 60
- 時刻設定 ･･････････････････ 58

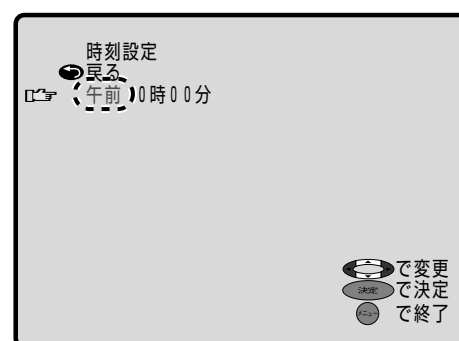
時計を合わせる(時刻設定)

■指定した時刻に電源が入るオンタイマー機能は、時計合わせをしていないと正しく動作しませんので、あらかじめ「時刻設定」で現在時刻を合わせてください。

リモコン

[例]午前11時00分に合わせる

1 メニュー を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で**「タイマー・時刻設定」**を選び、決定 を押す

▼ 決定 を押したときの画面

3 △ ▽ で**「時刻設定」**を選び、決定 を押す

■設定できる時刻の範囲

• 12時間表示
  ◁ ▷ で午前／午後の切り換え
  午前11：59→午後0：00（昼の12時）
  午後11：59→午前0：00（夜の12時）

• 時刻設定
  ▷ を押すごとに（送り）
  0➔1➔…11➔0➔1➔…11
  と切り換わります。
  ◁ を押すごとに（戻し）
  0➔11…➔1➔0➔11
  と切り換わります。

• 分の設定
  ▷ を押すごとに（送り）
  00➔01➔…59➔00➔01
  と切り換わります。
  ◁ を押すごとに（戻し）
  00➔59…➔01➔00➔59
  と切り換わります。

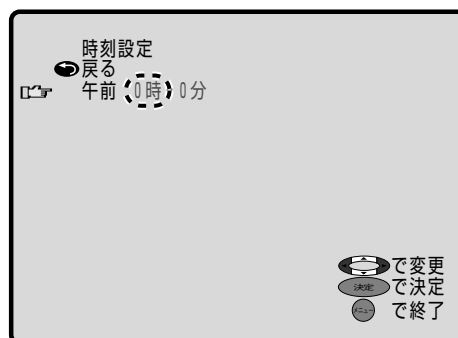
■設定時刻を修正したいときは

(決定) を押すごとに午前／午後：時：分の項目を移動します

◁ ▷ で修正し、(決定) を押します

※(決定) を押すごとに時刻は更新されます。

メニュー ○ を押すと終了します

4 (決定) で午前／午後を選び、◁ ▷ で設定し、(決定) を押す

5 (決定) で時を選び、◁ ▷ で設定し、(決定) を押す

6 (決定) で分を選び、◁ ▷ で設定し、(決定) を押す

おしらせ

・ **バックアップについて**
停電やテレビの移動などによりACアダプターを切ったときでも、バッテリーパックが空になったあと約10分は時計機能が保持されます。（バックアップには30分程度かかりますので、10分間保持できない場合もあります。）

・ **時計誤差について**
誤差が生じる場合があります。

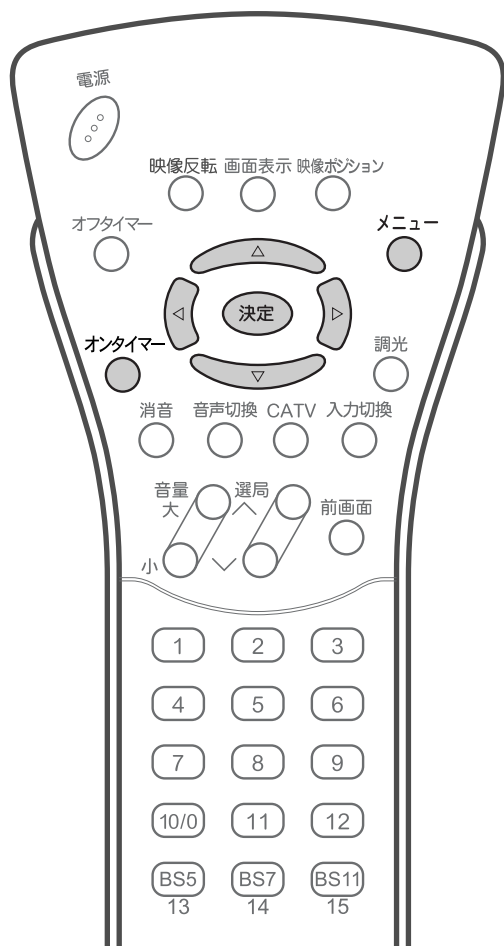
・ **現在時刻を知りたいとき**
画面表示 ○ を押します
約10秒後に時刻表示が消えます。
※メニュー表示のときは表示が消えます。

指定時刻に電源が入るように設定する(オンタイマー)

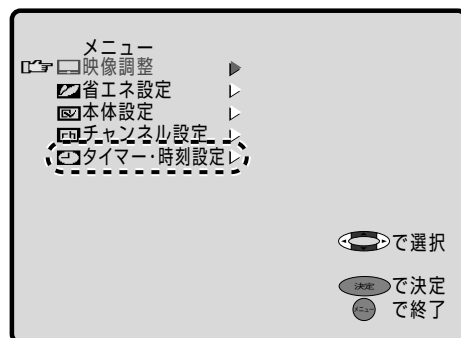
■オンタイマー設定の前に「時刻設定」をしてください。(58ページ参照)

■見たい番組が始まるまで電源を切にしておくなど、指定した時刻にテレビの電源を入れる機能です。また、指定した時刻(番組の始まりなど)に、あらかじめ指定したチャンネルと音量で電源が入ります。

■あらかじめ、電源を入れる時刻とチャンネルを設定し、オンタイマーボタンで入／切して使用します。
(メニューからも入／切できます。)

リモコン

電源を入れる時刻とチャンネルを設定する

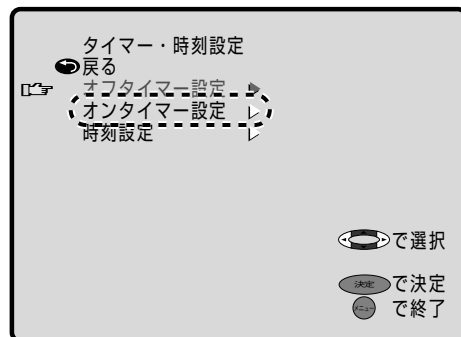
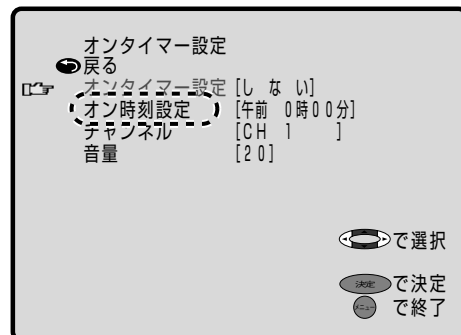
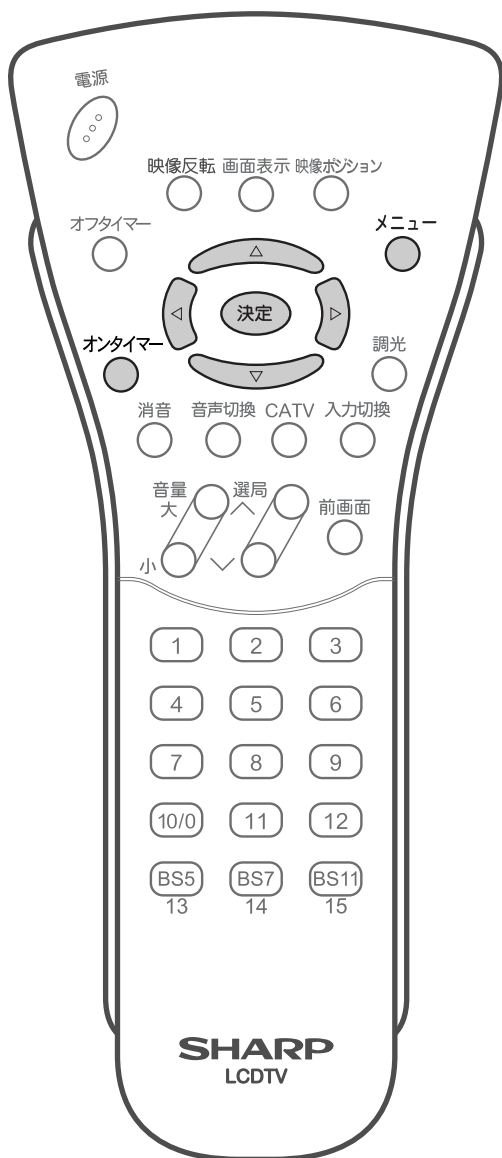
(例) 毎日朝7時に12チャンネル(リモコン番号)で電源を入れる

1 メニュー を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で**「タイマー・時刻設定」**を選び、決定 を押す

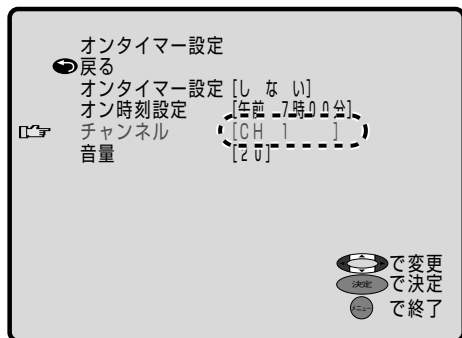
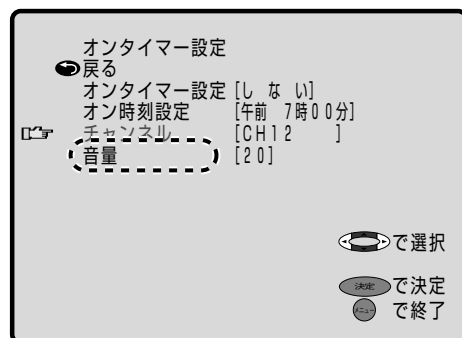
3 △ ▽ で**「オンタイマー設定」**を選び、決定 を押す

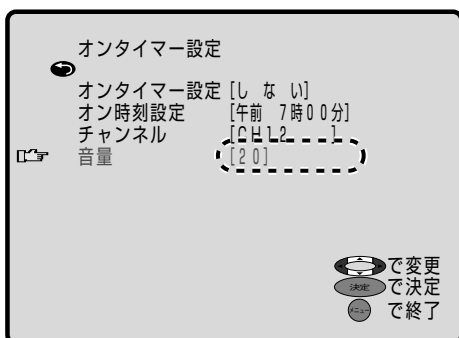
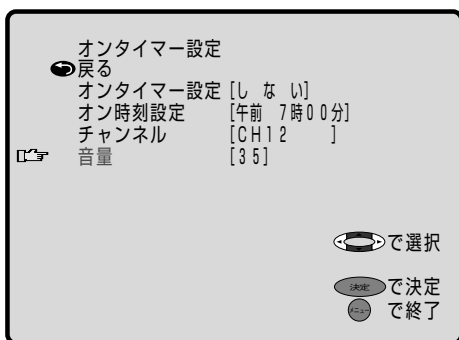
リモコン

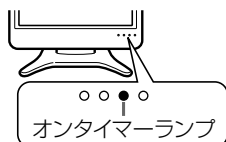
4 △ ▽ で「オン時刻設定」を選び、(決定)を押す

5 ◁ ▷ でオン時刻を設定し、(決定)を押す

6 △ ▽ で「チャンネル」を選び、(決定)を押す

7 ◁ ▷ でチャンネルを設定し、(決定)を押す

おしらせ

- オンタイマーを使用するときは、なるべくACコンセントで使用してください。バッテリー容量が減っている場合など、オンタイマーが入ってもテレビが電源「入」にならない場合があります。
  また、電波状態の変化によっては受信できなくなる場合もあります。目ざましの役目として使用するときは、ご注意ください。

指定時刻に電源が入るように設定する(オンタイマー)(つづき)

8 △ ▽ で「音量」を選び、(決定)を押す

9 ◁ ▷ で電源入り時の音量を設定し、(決定)を押す

10 リモコンの オンタイマー○ を押して「する」に設定する

• メニューのオンタイマー項目でも設定できます。
• オンタイマーランプは赤色で点灯します。

11 メニュー○ を押して画面表示を消す

12 リモコンで電源を切る

• 本体の電源ボタンで電源を切ると、オンタイマーは働きません。
• 電源「入」のままのときは、設定した時刻になると、指定したチャンネルに変わります。なお、このとき音量は変わりません。

タイマー設定できる内容

■**オンタイマー**　　しない ←→ する

■**オン時刻**

◁ ▷ でオン時刻が次のように切り換わります。
午前0：00…午前11：59 ←→ 午後0：00…午後11：59
続けて押すと、10分単位で切り換わります。

■**チャンネル**

◁ ▷ でチャンネルが次のように切り換わります。
CH1 ←→ CH15 ←→ BS5 ←→ BS7 ←→ BS11 ←→ C13 ←………→ C38→ビデオ1 ←→ ビデオ2 ←→ ビデオ3 ←→ ビデオ(本体)
(スキップ設定されているCHは飛ばします。)
※ チャンネルスキップについては、**50**ページをご覧ください。

■**音量**

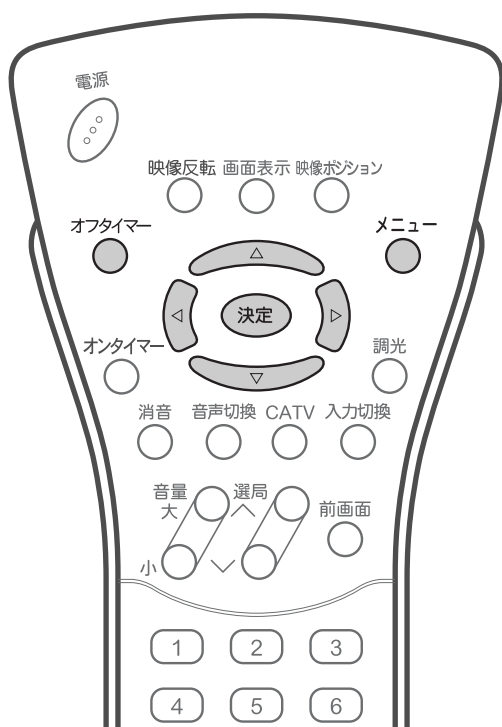
◁ ▷ で音量が次のように切り換わります。
0 ←→ 1 ←………→ 59 ←→ 60 ←………→ 0

おしらせ

• オンタイマーボタンを押したとき、「時計が設定されていません」と表示されたら、時計合わせ(**58**ページ)を行ってください。
• お出かけになるときは、本体の電源ボタンで電源を切るか、オンタイマーを解除し、オンタイマーランプの消灯を確認してください。
• 画面表示で、現在設定されている時間を確認できます。
• 1度オンタイマーを「する」にすると「しない」にするまで毎日くりかえしオンタイマーが働きます。
• オンタイマーで電源が入ると自動的に２時間のオフタイマーが設定されます。
２時間以上継続してご覧になるときは、本体の電源ボタンまたはリモコンで電源を1度切り、オフタイマーを解除してください。
• 「本体設定(BS設定)」で「BS固定」を「する」に設定中は、BS固定チャンネル以外のBSチャンネルとビデオ2は選べません。(**92**ページ参照)
• 「本体設定(ビデオ入力選択)」の「ビデオ2入力／モニター出力」を「モニター出力」に設定中は、ビデオ2は選べません。(**90**ページ参照)
• 「本体設定(ビデオ入力選択)」の「デコーダー／ビデオ3入力」を「デコーダー」に設定中は、ビデオ3は選べません。(**88**ページ参照)
• オンタイマーのチャンネルをBSチャンネルに設定していると、そのBSチャンネル以外は「BS固定」にできません。
• オンタイマーのチャンネルを「ビデオ2」に設定している場合は、「本体設定(ビデオ入力選択)」の「ビデオ2入力／モニター出力」の選択はできません。(**90**ページ参照)
• オンタイマーのチャンネルを「ビデオ3」に設定している場合は、「本体設定(ビデオ入力選択)」の「デコーダー／ビデオ3入力」の選択はできません。(**88**ページ参照)

電源を指定時間後に切る（オフタイマー）

■テレビを見ながらおやすみになるときなど、テレビの電源を指定時間後に切る機能です。

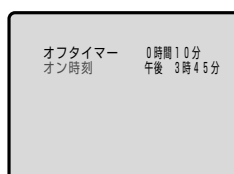
リモコン

おしらせ

- **オフタイマーの残り時間表示**
  設定した時間まで残り5分になると、1分毎に残り時間を約4秒間、自動的に表示します。
- 電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- オフタイマーは設定後、手順3で時間を設定し直すこともできます。
- 現在、設定されている時間は、画面表示、オフタイマーボタンでも確認できます。

画面表示ボタン

オフタイマー　0時間10分
オン時刻　午後　3時45分

オフタイマーボタン

オフタイマー　0時間10分

電源が切れる時間を設定する

オフタイマー ○ を押すごとに設定時間が30分単位で次のように変わります

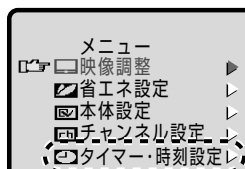
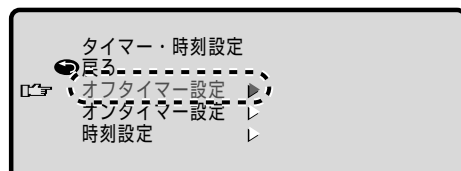
ー時間ーー分 → 0時間30分 → 1時間00分 …1時間30分…2時間30分 → ー時間ーー分

オフタイマー　ーー時間ーー分

メニュー画面を表示して設定するとき

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

メニュー
映像調整
省エネ設定
本体設定
チャンネル設定
タイマー・時刻設定

2 -1 △▽で**「タイマー・時刻設定」**を選び、決定を押す

タイマー・時刻設定
戻る
オフタイマー設定
オンタイマー設定
時刻設定

-2 △▽で**「オフタイマー設定」**を選び、決定を押す

-3 オフタイマー設定で 決定 を押す

3 ◁▷で電源を切る時間を設定し、決定を押す

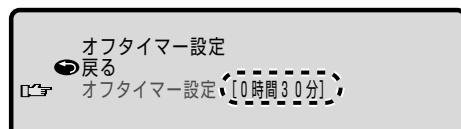
オフタイマー設定
戻る
オフタイマー設定 [0時間30分]

- ◁▷で設定時間が30分単位で次のように変わります。

ー時間ーー分 ⟷ 0時間30分 ⟷ 1時間00分……2時間30分 ⟷ ー時間ーー分

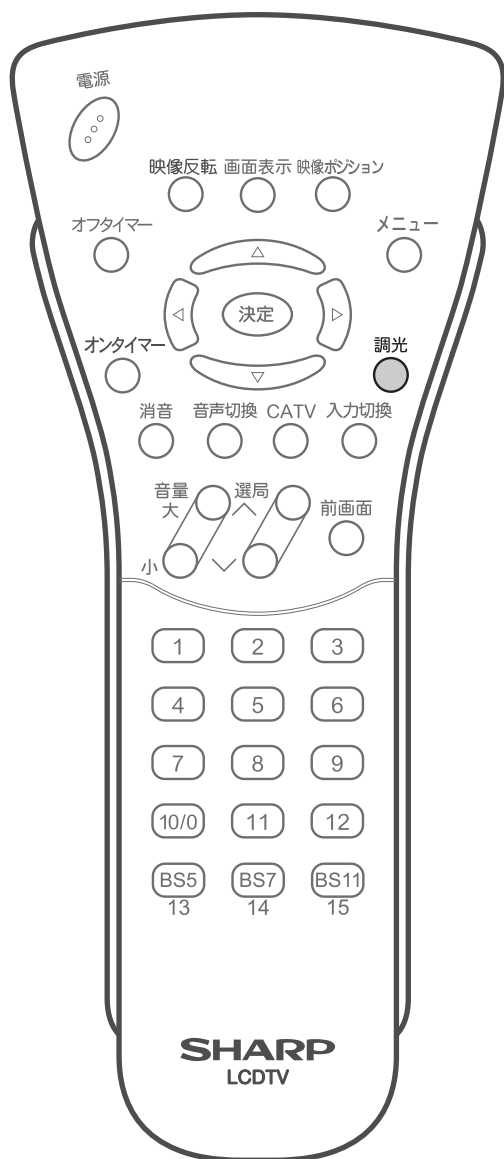
4 設定終了後、メニュー ○ を押す

調整と設定

電源が入るように設定する（オンタイマー）（つづき）
指定時刻に電源を指定時間後に切る（オフタイマー）

省エネ機能を設定する

■本機は、省エネ（消費電力をセーブします）のためのいろいろな機能がついています。

- 調光（画面の明るさを調整します。消費電力をセーブできます。）
- 無操作電源オフ（テレビを操作していない時間が続くと電源オフします。）
- 無信号電源オフ（放送終了後、自動電源オフで消し忘れを防止します。）

リモコン

調光機能で画面の明るさを調整する

1 調光○を押し、現在の設定モードを表示する

2 表示が出ている間（約3秒）にもう一度押す

- 押すたびに、

明るい → 標準 → 暗い → ユーザー設定

の順に切り換わります。

※ 工場出荷時は、「明るい」に設定されています。

ユーザー設定について

あらかじめ設定されている明るさ(明るい、標準、暗い)以外に、お好みの明るさに設定することができます。（メニューの「省エネ設定」で設定することができます。65ページ参照。）
設定された明るさはユーザー設定に記憶されます。

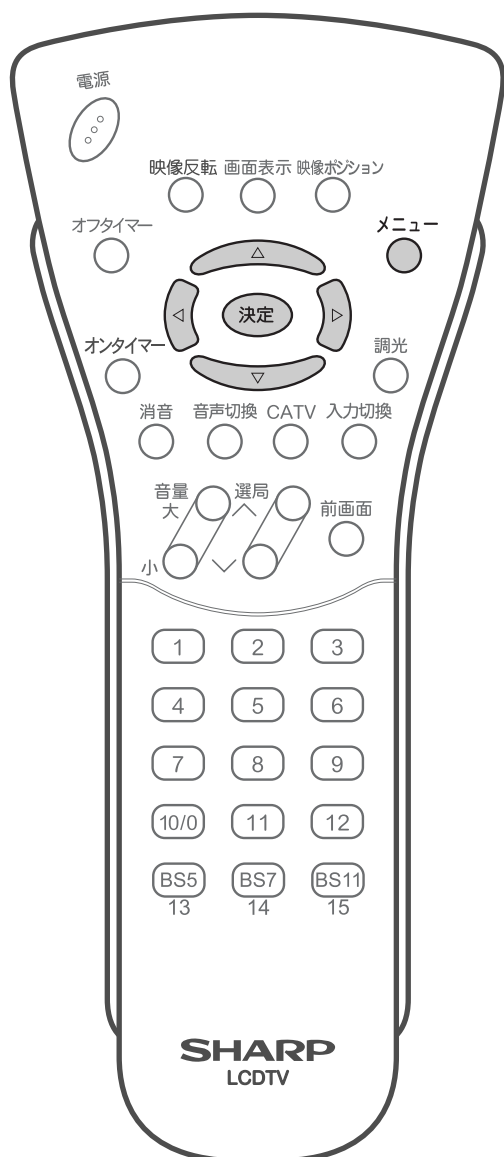
「明るい」
陽の差し込む場所でお使いのときは「明るい」に設定すると見やすくなります。

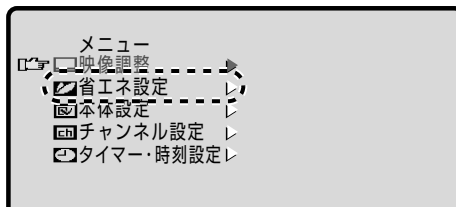
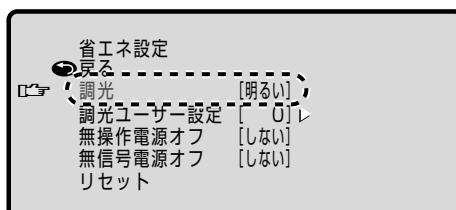
「標準」
通常ご覧になるときは「標準」をおすすめします。

「暗い」
うす暗い部屋で、映画をご覧いただくときに最適のモードです。

「ユーザー設定」
画面のすぐ近くでご覧になると、「標準」でも明るすぎる場合があります。このときは「ユーザー設定」ですこし暗くしていただくと、見やすくなります。

■調光機能には、お好みの明るさに設定できるユーザー設定があります。

リモコン

[例]調光をお好みの明るさにする

1 メニュー を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △▽で**「省エネ設定」**を選び、決定を押す

3 -1 △▽で**「調光」**を選び、決定を押す。

• ◁ ▷ を押すごとに次のように切り換わります。

明るい ⟷ 標準 ⟷ 暗い ⟷ ユーザー設定

-2 ◁▷で**「ユーザー設定」**を選び、決定を押す。

4 △▽で**「調光ユーザー設定」**を選び、決定を押す

5 ◁▷でお好みの明るさに調整し、決定を押す

−4〜+4の範囲で変化します。

調整と設定

省エネ機能を設定する

省エネ機能を設定する(つづき)

■無操作電源オフ

3時間以上操作しない状態が続くと、自動的にテレビの電源が切れるように設定することができる機能です。
工場出荷時は「しない」になっています。

■無信号電源オフ

無信号電源オフを「する」に設定すると、放送が終了した約5分後に、テレビの電源が切れて電源待機状態になりますので、消し忘れの防止にも役立てることができます。

リモコン

[例]無操作電源オフを「する」にする

1

-1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

-2 △ ▽ で **「省エネ設定」** を選び、決定 を押す

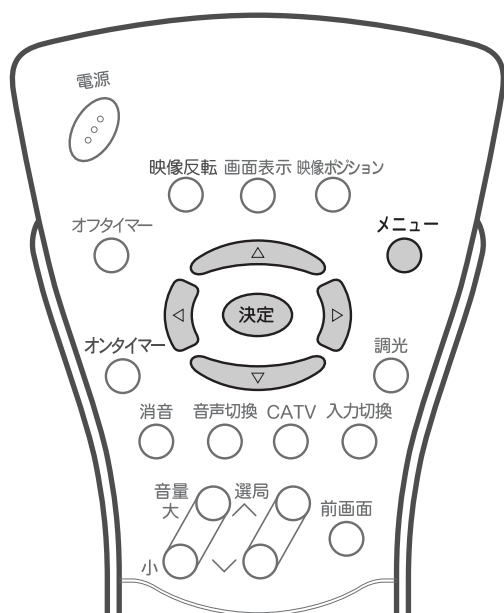
2

△ ▽ で **「無操作電源オフ」** を選び、決定 を押す

3

◁ ▷ で無操作電源オフを **「する」** に設定し、決定 を押す

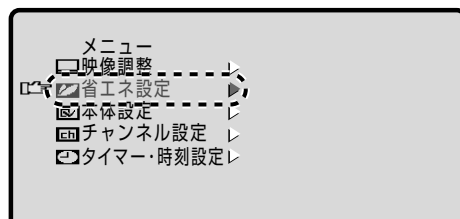
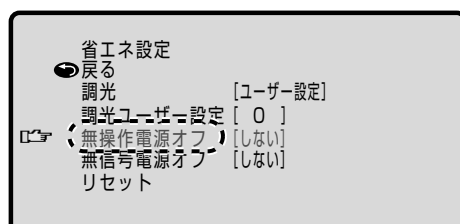
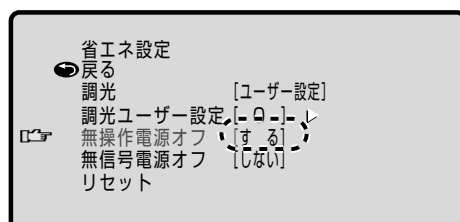
4

設定終了後、メニュー ○ を押す

おしらせ

無操作電源オフについて

- 電源が切れる5分前になると、約4秒間、1分毎に警告文を表示します。

無信号電源オフについて

- 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。
- ビデオ入力モードのときは、無信号電源オフは動作しません。
- 放送を見ているときにテレビの電源が切れるときは、設定を「しない」にしてください。

無信号電源オフの設定

手順2の操作で、**「無信号電源オフ」** を選び、決定 を押す

手順3の操作で、無信号電源オフを **「する」** に設定し、決定 を押す

音声を切り換える(二重音声/ステレオ放送)

■二重音声放送やステレオ放送を受信しているとき、音声切換ボタンで音声モードを変えることができます。
■二重音声放送やステレオ放送を受信すると、チャンネル表示の色が変わり、その下に「ステレオ」、「主音声」などの音声モードが表示されます。

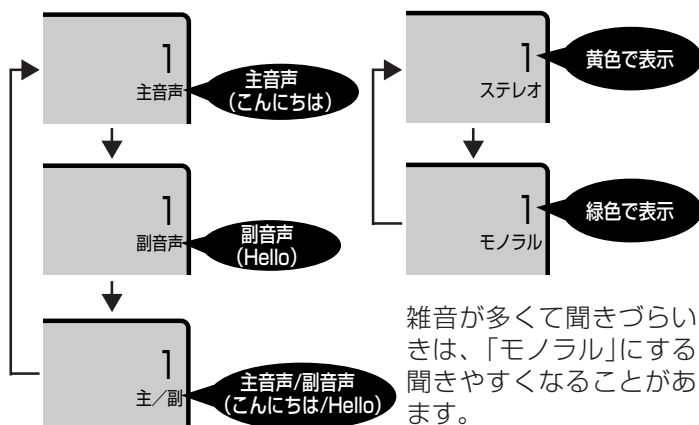
リモコン

音声モードを切り換える

1 音声切換 ○ を押す

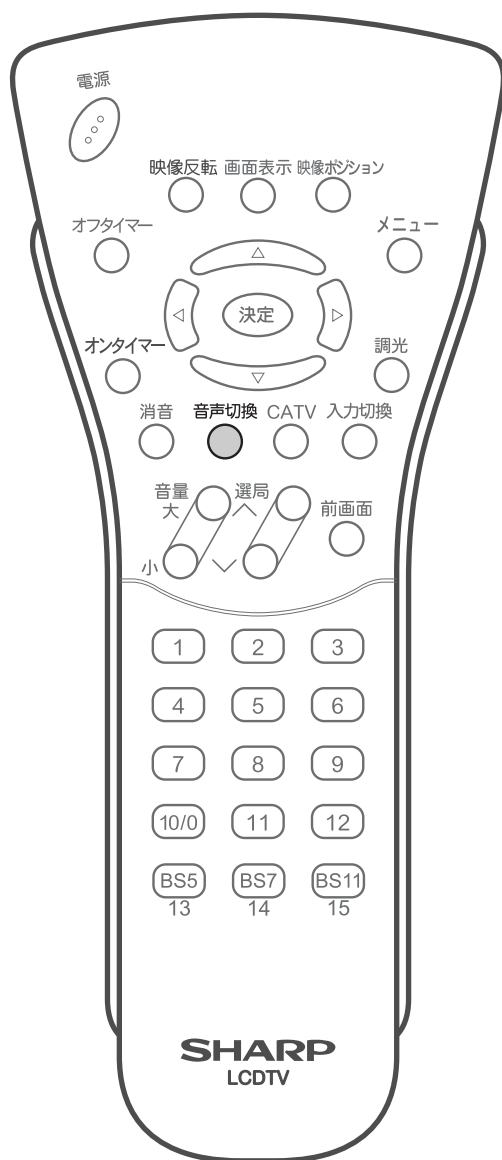
二重音声放送のとき
チャンネルは赤色で表示され、音声切換ボタンを押すごとに、音声モードが次のように切り換わります。

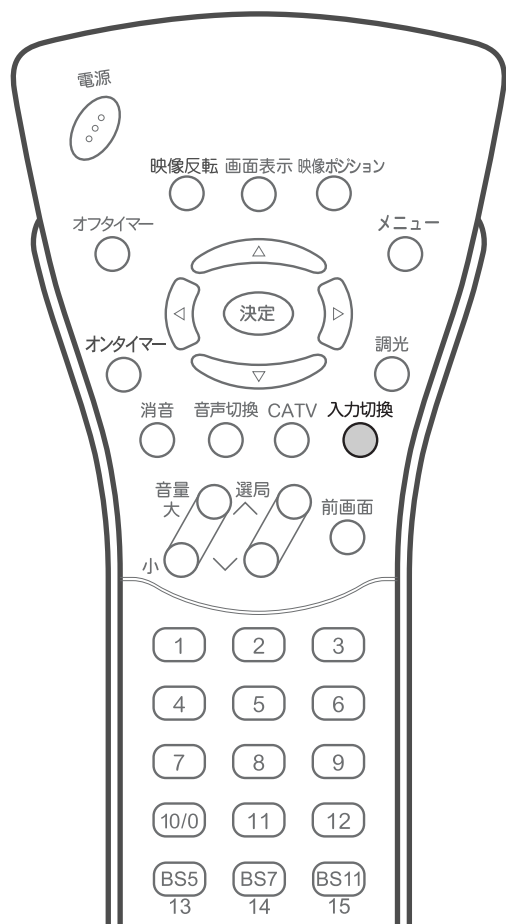
ステレオ放送のとき
音声切換ボタンを押すごとに、音声モードが次のように切り換わります。
(BSチャンネルはモードの切り換えができません。)

雑音が多くて聞きづらいときは、「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

- BS固定中はBSチャンネルは「主／副」に固定されます。(92ページ参照)

■音声モードを確かめるには

次のいずれかの操作を行うと、チャンネル表示とともに、音声モードが5秒間表示されます。
- 今見ているチャンネルボタンを押す。
- 画面表示ボタンを押す。(このときは約10秒間表示されます)チャンネルが小さく表示されている時は2回押す。
- いったん別のチャンネルに切り換えてから元のチャンネルに戻す。
- 電源をいったん切ってから、入れ直す。

おしらせ
- ステレオ放送のときに音声切換ボタンを押して「モノラル」に変更すると、チャンネル表示は黄色から緑色に変わります。

外部機器の映像・音声を楽しむ

リモコン

1 接続している機器の電源を入れる

※この操作は機器を接続してから行ってください。

2 入力切換 ○ を押し、機器が接続されているモードを選ぶ

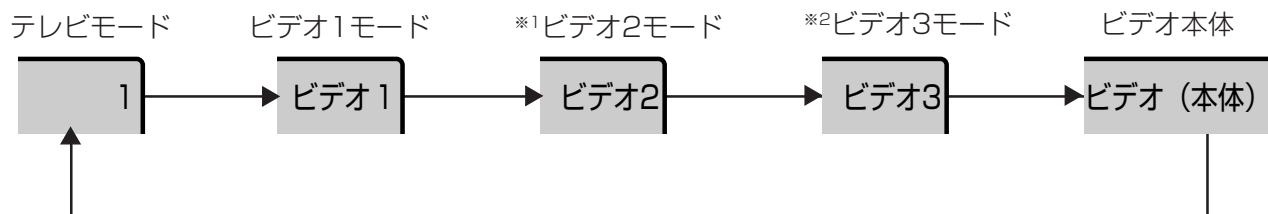
※本体天面の入力切換ボタンを押して、切り換えることもできます。

3 接続機器を動作（再生）状態にする

• 選んだ機器の画面が表示され、画面表示も変わります。

外部機器をビデオコントローラーで操作する場合のビデオコントローラーとの接続のしかたについてくわしくは、84ページを参照ください。

■本体天面、およびリモコンの入力切換ボタンを押すと、次のようにモードが切り換わります。（工場出荷状態）

▼画面表示

おしらせ

• 接続した機器に合わせて、画面に表示する文字を「入力表示設定」で変更できます。（73ページ参照）

※1 •「ビデオ2入力／モニター出力」を「モニター出力」に設定したとき、または「BS固定」を「する」に設定したときは、ビデオ2は表示されません。（90、92ページ参照）

※2 •「デコーダー／ビデオ3入力」を「デコーダー」に設定したときは、ビデオ3は表示されません。（88ページ参照）

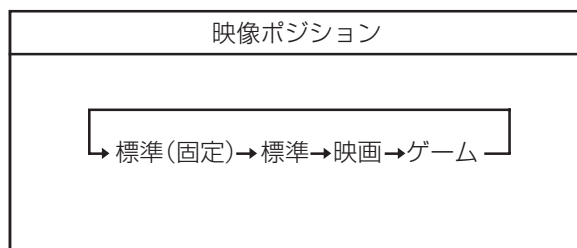
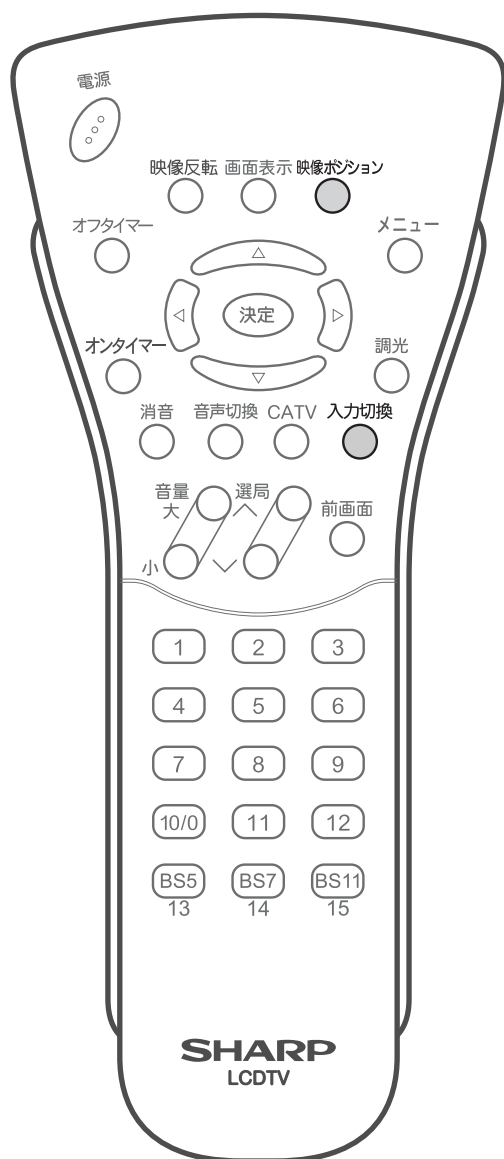
映像を調整する

■映像ポジションについて

テレビ／ビデオモードの映像を番組のソフトや種類に合わせて、お好みの画質に設定することができます。

- 標準（固定）：明るい部屋で見るとき
- 標準　　　　：普通の明るさで見るとき
- 映画　　　　：映画番組などを見るとき
- ゲーム　　　：ゲームをするとき

[例]ビデオ 2 入力を映画ポジションに設定

映像ポジションを入力モードごとに個別に設定することができます。

リモコン

1 入力切換 ○ を押し、**ビデオ2**を選ぶ

ビデオ2

2 映像ポジション ○ を押す

現在のポジションが表示されます。

ビデオ2

映像ポジション [標準]

3 映像ポジション ○ を押し、**「映画」**を選ぶ

ビデオ2

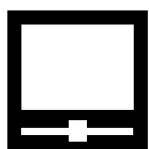
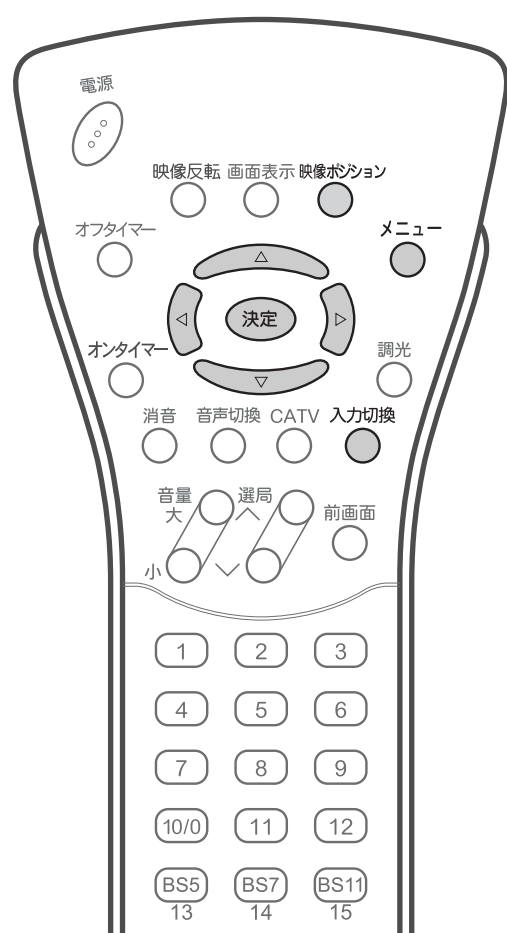
映像ポジション [映画]

- 映像ポジションの切換は、メニューの映像調整で選ぶこともできます。

映像を調整する(つづき)

映像調整

■映像ポジションの「標準」「映画」「ゲーム」では、お好みの画質に調整することができます。映像の濃淡や明るさを変えて、見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

■映像調整では、「映像」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「画質」の5つの項目を調整できます。調整した映像は、そのまま記憶されます。

リモコン

[例]ビデオ 2 入力で映画モードの色あいを調整する

1

-1 入力切換 ○ を押し、**ビデオ2**を選ぶ

-2 映像ポジション ○ を押し、**「映画」**を選ぶ

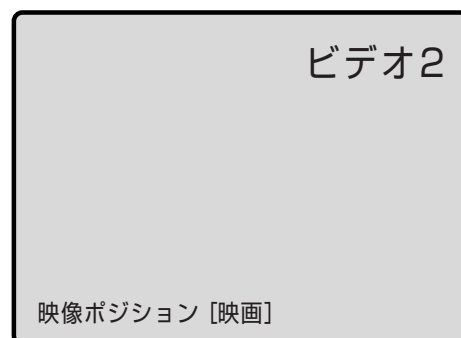
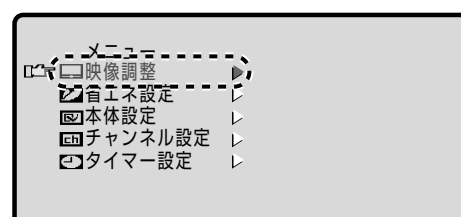
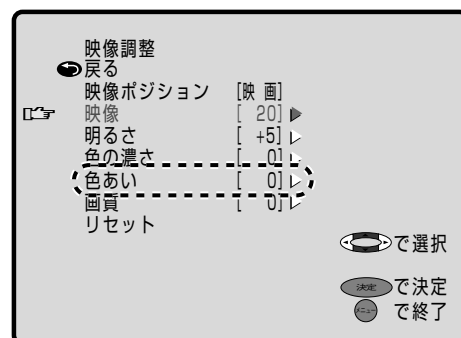
ビデオ2

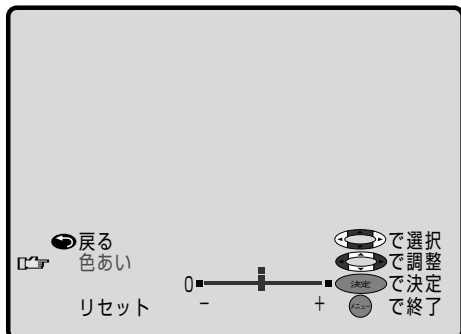
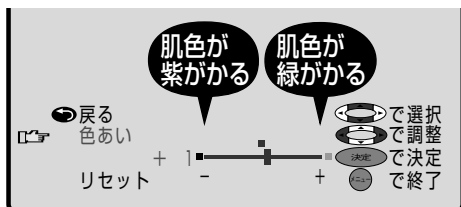
映像ポジション [映画]

2

メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

メニュー
映像調整
省エネ設定
本体設定
チャンネル設定
タイマー設定

3

△ ▽ で **「映像調整」**を選び、(決定) を押す

4 で「色あい」を選び、決定を押す

5 で色あいを調整し、決定を押す

- 調整項目が表示されているとき「リセット」を選んでから決定を押すと、選んでいる調整項目が工場出荷時の設定に戻ります。
- 「戻る」を選択して決定すると、1つ前の画面に戻ります。

6 調整終了後、メニューを押す

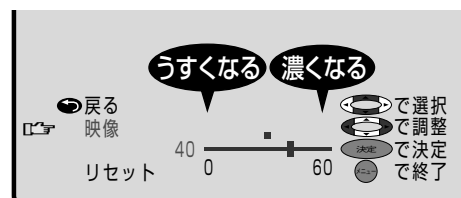
- メニューを押すとメニュー画面が消えます。

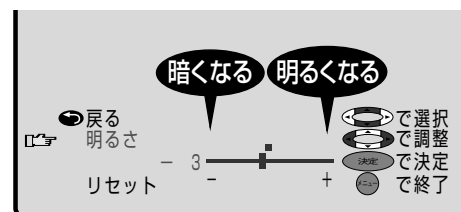
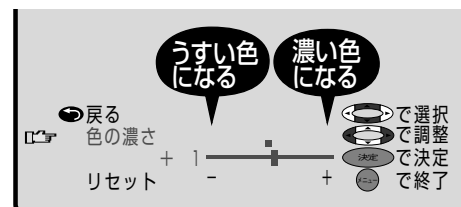
おしらせ

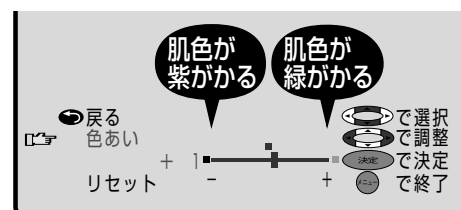
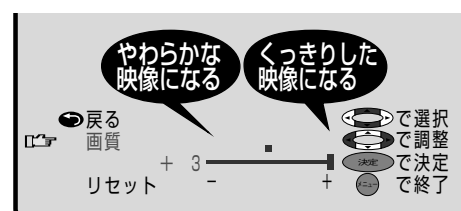
- 映像ポジションの設定を「標準(固定)」にしているときは、映像調整はできません。
- 「映像調整」の項目で「リセット」を選択すると、映像調整のすべての調整項目が工場出荷時の設定に戻ります。

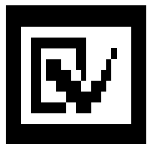
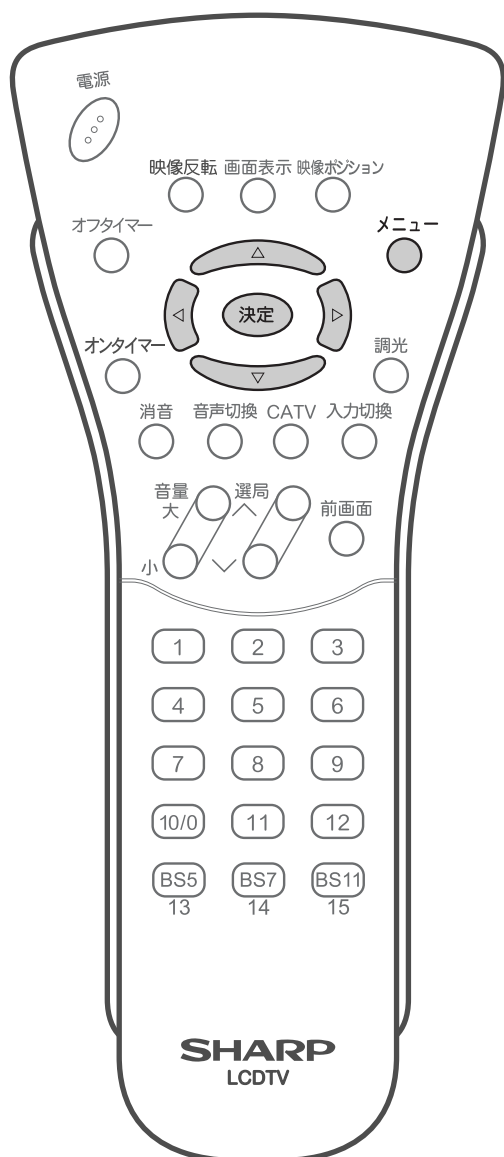
▼画面表示

映像
61段階
(0〜60)

で調整

または を2回押すと前またはつぎの項目を選ぶことができます。

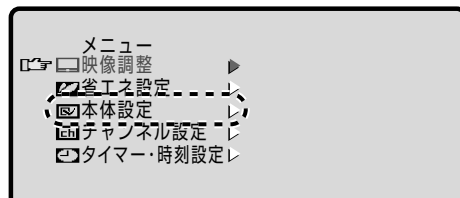
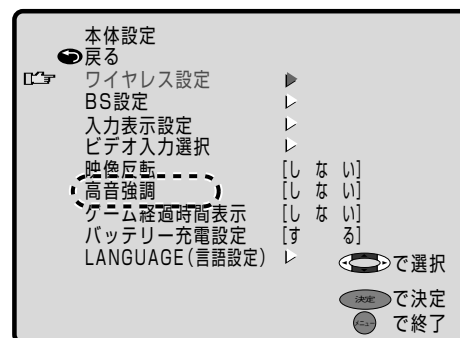
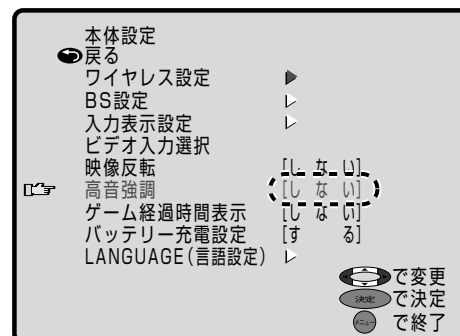
明るさ
61段階
(−30〜+30)

色の濃さ
61段階
(−30〜+30)

色あい
61段階
(−30〜+30)

画質
7段階
(−3〜+3)

音質を調整する

■スピーカー音声出力の高音部を強調することができますので、聞きとりにくい音声も聞こえやすくなります。

リモコン

高音を強調する

1 メニュー○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △▽で**「本体設定」**を選び、決定を押す

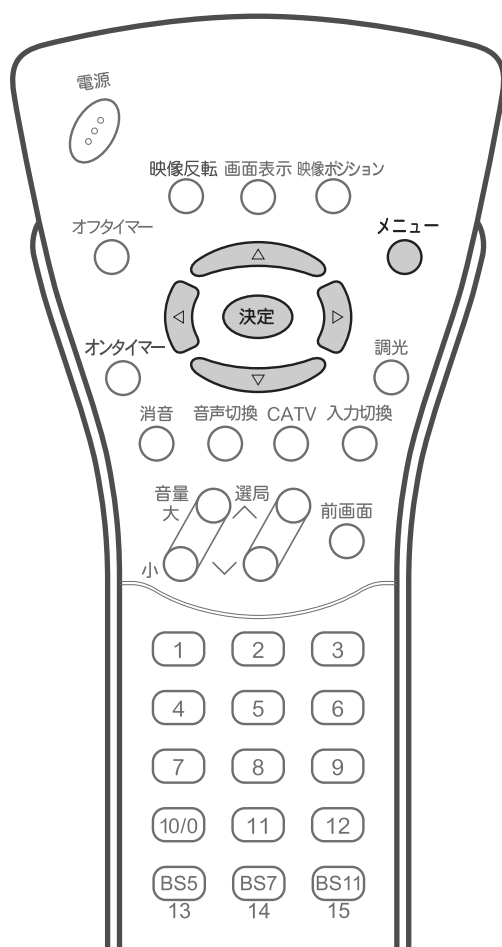
3 △▽で**「高音強調」**を選び、決定を押す

4 ◁▷で**「する」**に設定し、決定を押す

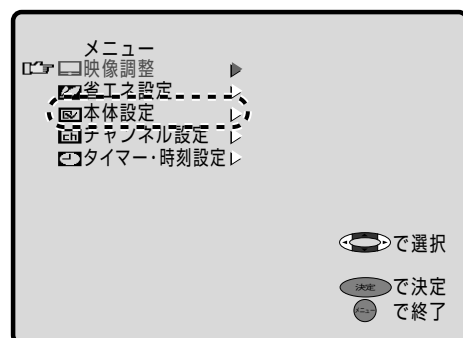
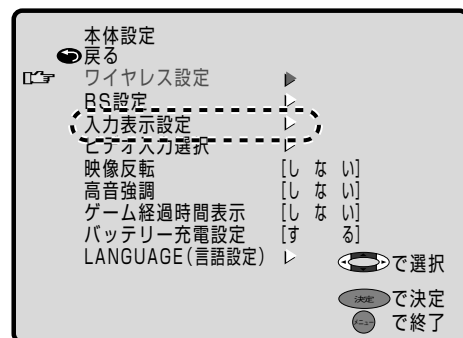
5 設定終了後、メニュー○ を押す

外部機器に表示を合わせる

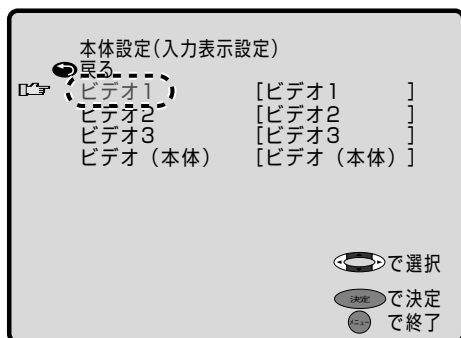
■ビデオ入力端子に接続した外部機器に合わせて、画面表示を変えることができます。
■工場出荷時の設定は次のとおりです。
ビデオ1入力の映像：ビデオ1
ビデオ2入力の映像：ビデオ2
ビデオ3入力の映像：ビデオ3
ビデオ(本体)入力の映像
：ビデオ(本体)
■その他の機器についても、種類に合わせて右のような画面表示に変えることができます。

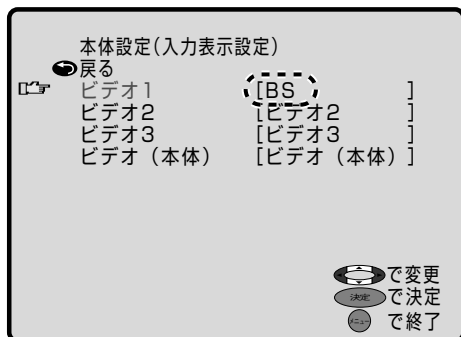
リモコン

映像入力端子に接続する機器	表示例
ビデオデッキ等	ビデオ1
	ビデオ2
	ビデオ3
	ビデオ(本体)
	ビデオ
CATVチャンネル	CATV
BSデジタルチューナー等	BS
CSチューナー等	CS
DVDプレーヤー等	DVD
ビデオカメラ等	ムービー
テレビゲーム等	ゲーム

[例]「ビデオ1」表示を「BS」表示に変える

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で **「本体設定」** を選び、(決定) を押す

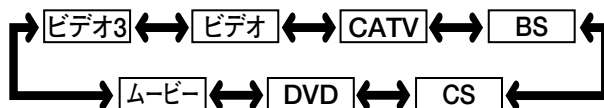
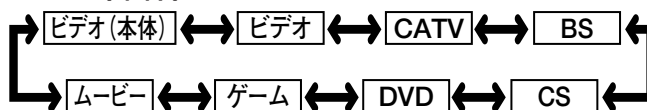
外部機器に表示を合わせる(つづき)

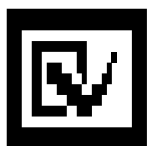
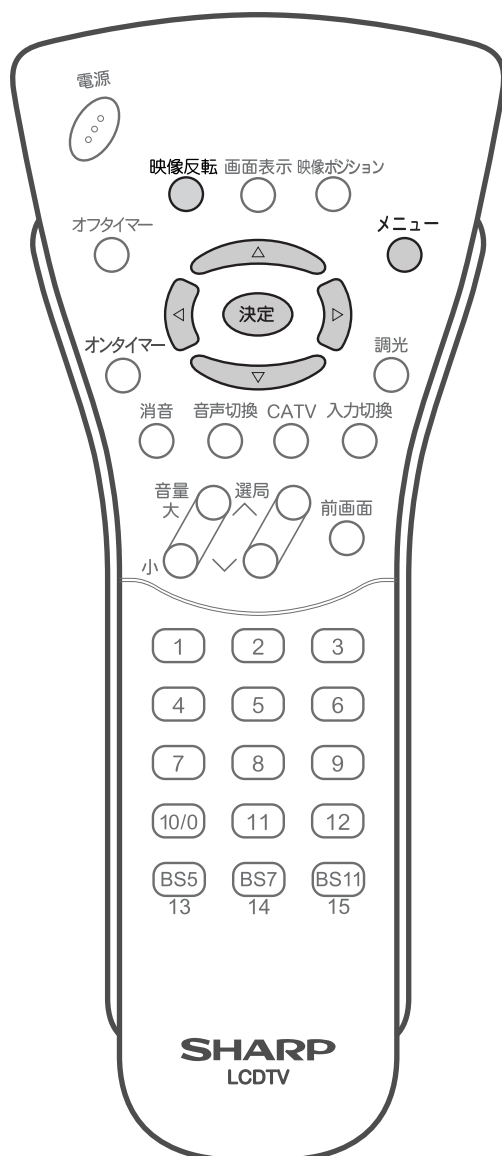
3 △ ▽ で「入力表示設定」を選び、(決定)を押す

4 -1 △ ▽ で「ビデオ1」を選び、(決定)を押す

-2 ◁ ▷ で、「BS」を選び、(決定)を押す

5 設定終了後、(メニュー)を押す

- 「戻る」を選択して(決定)を押すと、メニュー画面に戻ります。

入力表示設定できる内容

調整項目が表示されている間(約60秒間)、◁▷を押すごとに次のように切り換わります。

映像の上下左右を反転させる

■設置のしかたに応じて、映像の上下を反転したり、左右を反転することができます。
ゴルフの練習の参考にするときやダンスの振り付けを覚えるときなどに鏡を見ているように左右を反転させる、また、天井に設置する場合などに上下を反転させるなどの使いかたができます。

リモコン

[例]「左右反転」を行う

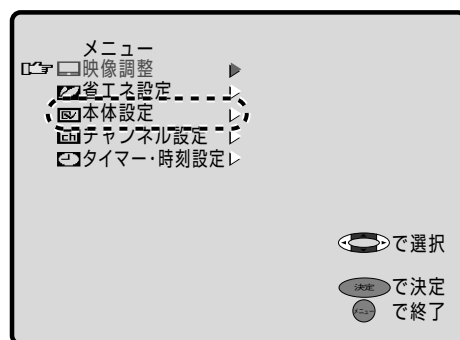
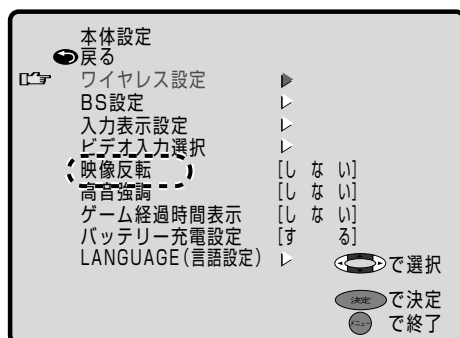
映像反転○ を押すと現在のモードが表示されます。

表示が出ている間にもう一度押す

•押すごとにつぎのように切り換わります。

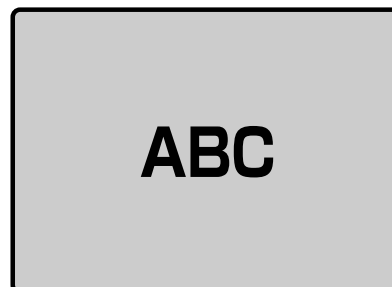
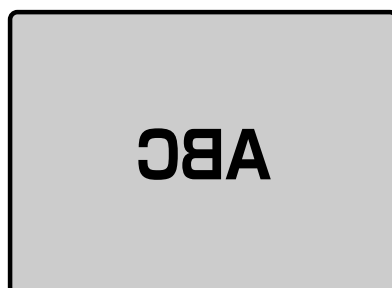
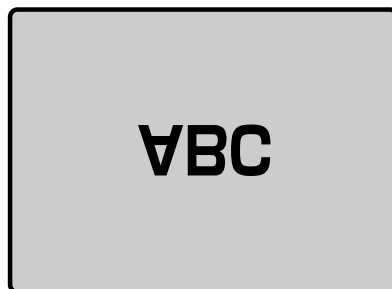
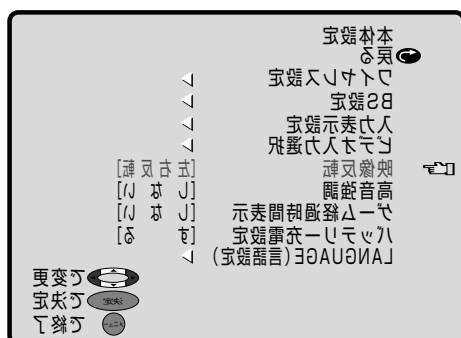
しない → 左右反転 → 上下左右 → 上下反転

•メニュー項目を表示して左右反転することもできます。

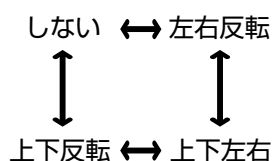
1 メニュー○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で **「本体設定」** を選び、決定 を押す

映像の上下左右を反転させる(つづき)

3

で「映像反転」を選び、を押す

4

で「左右反転」を選び、を押す

- 調整項目が表示されている間(約60秒間)、を押すごとに次のように切り換わります。

5

設定終了後、を押す

- 工場出荷時は、「映像反転」は「しない」に設定されています。
- 上下反転の設定を行うときは、で「上下反転」を選んでください。
- 映像反転の上下左右、左右反転で、音声の左右反転はしません。

映像反転の表示

出荷時(しない)

ABC

左右反転

上下左右

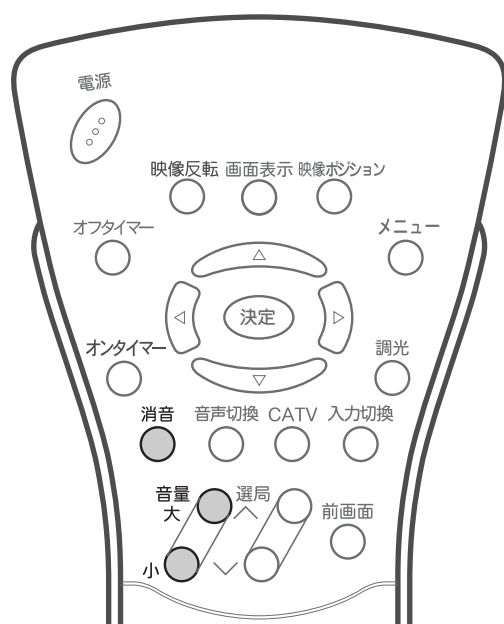
上下反転

音量を調整する

■スピーカー/ヘッドホンから出力される音量が調整できます。また電話がかかってきたときなどに、音声を一時的に消すことができます。
■「テレビ」・「ビデオ1」・「ビデオ2」・「ビデオ3」・「ビデオ(本体)」の各画面共通の設定です。

リモコン

音量を調整する

音量大/小 (音量大○, 小○) を押し、音量を調節する

音声を一時的に消す(消音)

消音○ を押し消音する

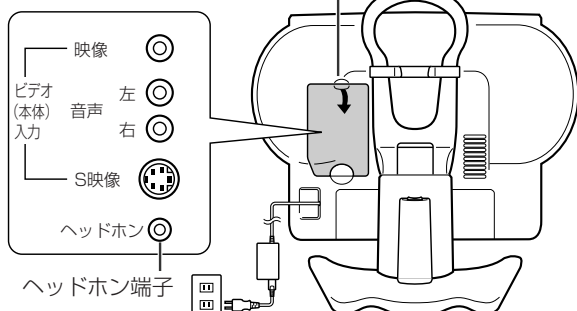
消音

- 音量をもとの大きさに戻すときは、「消音」を表示しているときに再度消音ボタンを押します。
  またつぎのいずれかのボタンでも元に戻すことができます。
  リモコン
  ・音量ボタン・電源ボタン・消音ボタン
  本体
  ・音量ボタン・電源ボタン

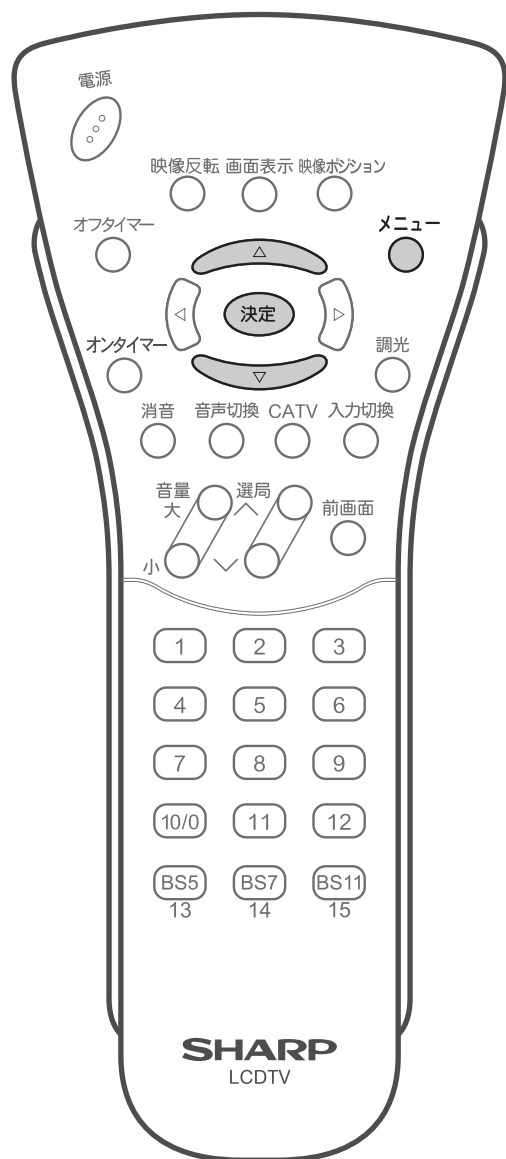
ヘッドホンで楽しむ

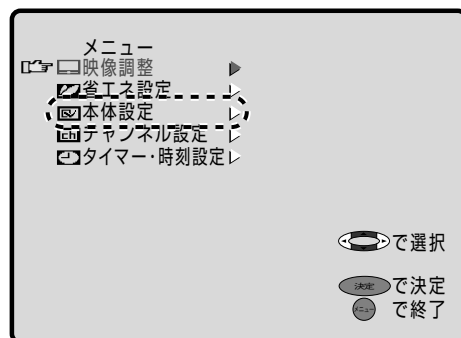
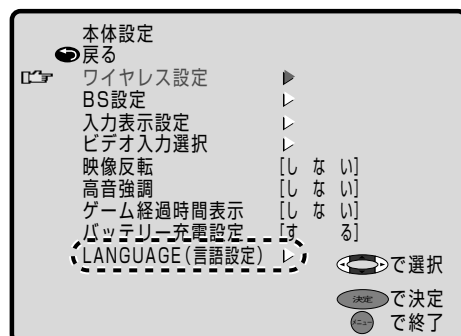
■市販のヘッドホンを使用するときは、本体背面にあるヘッドホン出力端子に接続してください。

おしらせ

- ヘッドホンは確実に挿入してください。(不完全なときは、スピーカーから音がもれることがあります。)
- ヘッドホンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。

メニュー表示言語を選ぶ

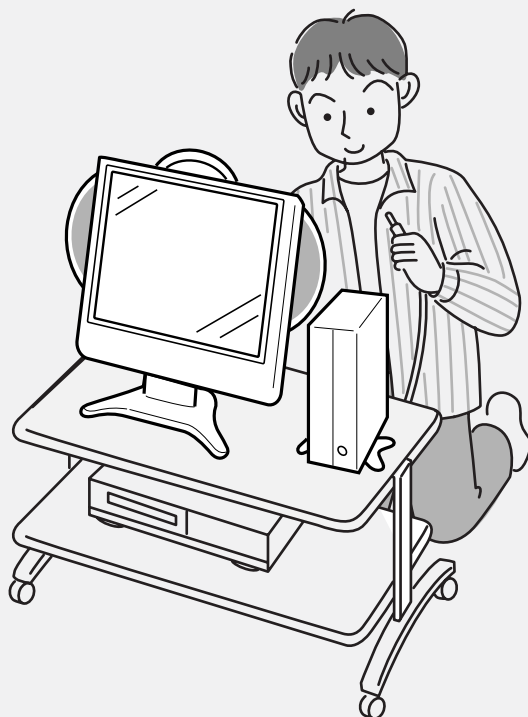
■ **言語設定**
メニューを表示して操作するときに表示される言語を、日本語と英語の2つから選べます。

リモコン

メニュー言語を英語表示にする

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で **「本体設定」** を選び、決定 を押す

3 △ ▽ で **「LANGUAGE（言語設定）」** を選び、決定 を押す

4 △ ▽ で **「ENGLISH」** を選び、決定 を押す

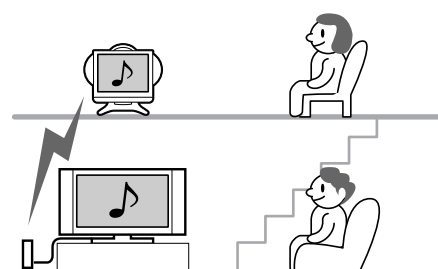
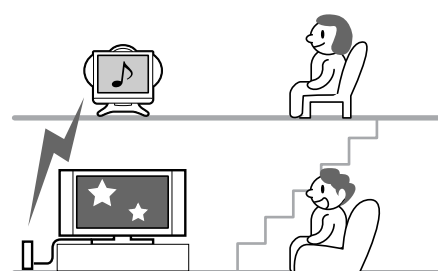
メニュー言語が英語で表示されます。

外部機器の接続

いろいろな使いかたの接続システム

いろいろな使いかたの例

スマートリンク送信機は、本機のテレビ受信機にワイヤレス伝送で映像や音声を出力します。また、お手持ちのメインテレビとスマートリンク送信機をケーブル接続することができるので、いろいろな使いかたができます。

使いかたのイメージ

同じ映像や番組を、別々の場所で離れてみることができます。

別々の映像や番組を、1人は2階の本機テレビ受信機で、また、1人は居間のメインテレビで見るなどの楽しみかたができます。

スマートリンク送信機の電源を切っても、出力端子（スルー）につないであるメインテレビで映像や音声を受信することができるので、1台だけで楽しむこともできます。

- LC-15L1のスマートリンク送信機には
  1. BSアンテナスルー出力　2. V/Uアンテナスルー出力　3. ビデオ1（スルー）出力

  があるので、今見ているメインテレビの使い勝手を損なわずに、システムアップができます。
  （スマートリンク送信機の電源を切っている時も出力します）
- 本機は同一環境内では3台までしか使用することができません。これ以上使用すると相互干渉によりテレビが見られなくなります。

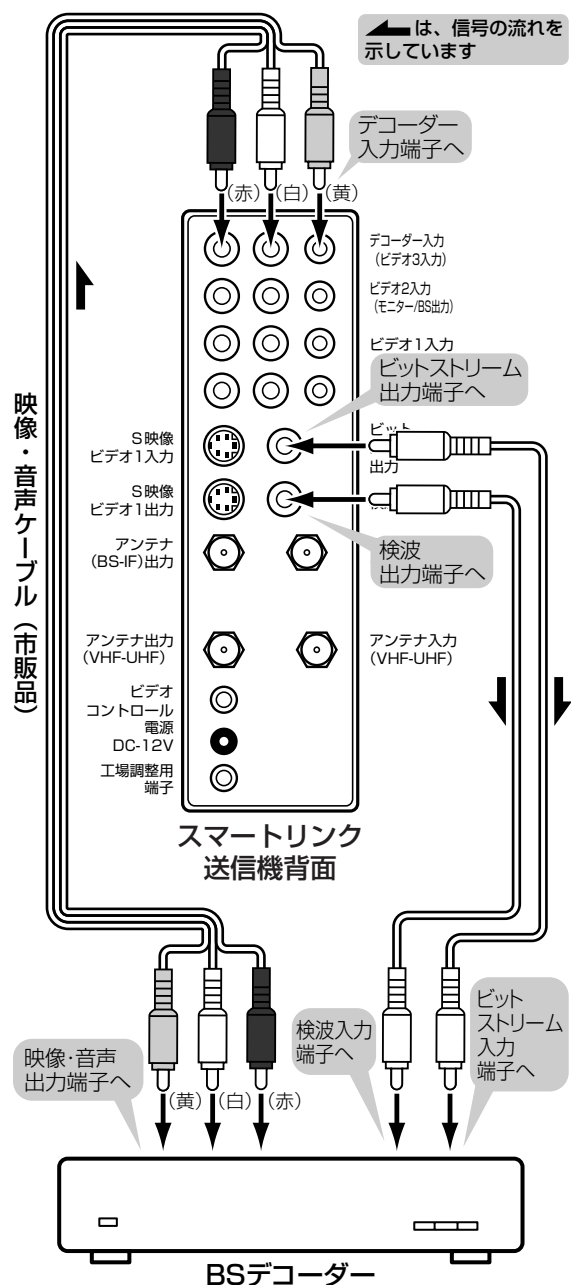
外部機器の接続

いろいろな使いかたの接続システム

WOWOWやSt.GIGA 放送を楽しむ

■WOWOWやSt.GIGAの有料放送を視聴するには、各放送局との受信契約とBSデコーダーが必要です。

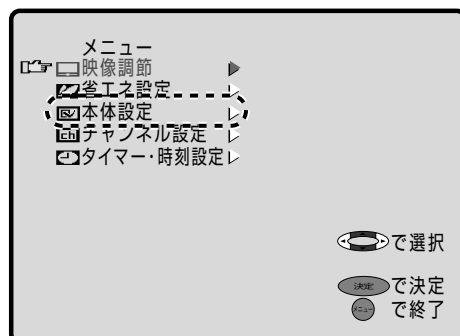
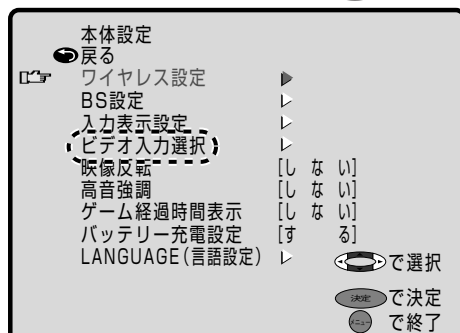
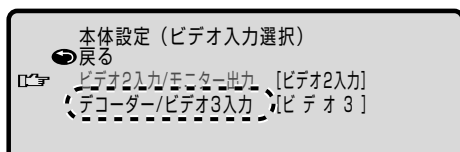
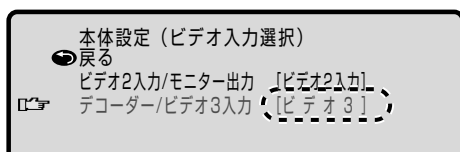
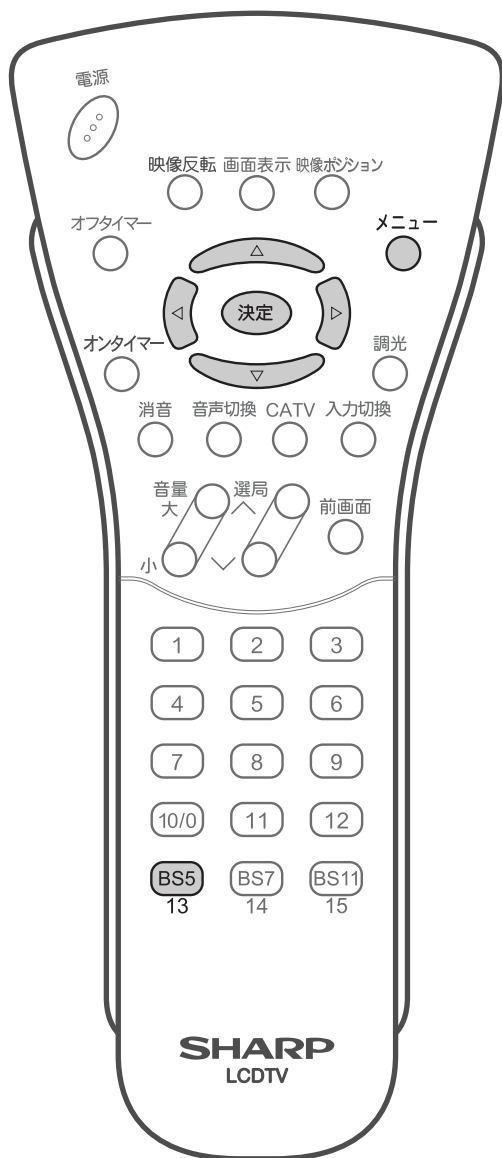
工場出荷時はデコーダー入力に設定されているので、下記の操作は必要ありません。デコーダー入力をビデオ3入力に設定している場合は、下記の操作を行ってください。

ビデオ3入力をデコーダーに切り換える

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で **「本体設定」** を選び、決定 を押す

本体設定
戻る
ワイヤレス設定
BS設定
入力表示設定
ビデオ入力選択
映像反転 [しない]
高音強調 [しない]
ゲーム経過時間表示 [しない]
バッテリー充電設定 [する]
LANGUAGE(言語設定)
で選択
で決定
で終了

3 △ ▽ で **「ビデオ入力選択」** を選び、決定 を押す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー/ビデオ3入力 [ビデオ3]

4 △ ▽ で **「デコーダー／ビデオ3入力」** を選び、決定 を押す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー/ビデオ3入力 [ビデオ3]

リモコン

5 ◁ ▷ で**「デコーダー」**に設定し、(決定) を押す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー/ビデオ3入力 [デコーダー]

6 設定終了後、メニュー を押す

7 リモコンの BS5/13 を押す

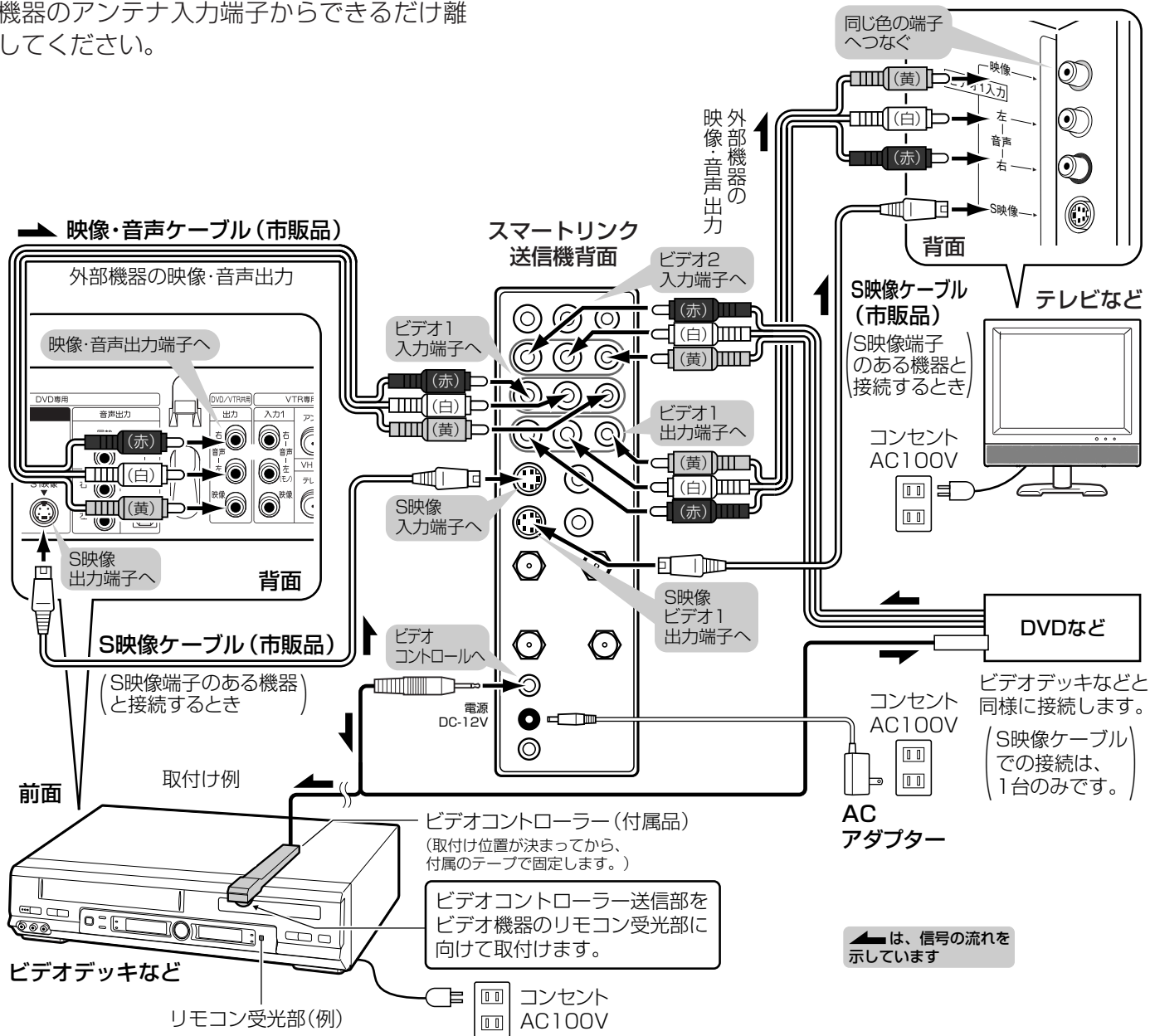
BS5

8 BSデコーダーの電源を入れ、音声選択を「テレビ」にする

外部機器とビデオコントローラーとの接続のしかた

スマートリンク送信機の設置場所

スマートリンク送信機は、ビデオ機器の上や脇に置きます。ただし、テレビやビデオ機器のアンテナ入力端子からできるだけ離してください。

※ビデオコントローラーを使って、ビデオ機器を2台まで操作できます。

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、ビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

おしらせ

S端子について

- 本機のビデオ1入力／出力で映像入力／出力とS映像入力／出力を同時に接続したときは、S映像入力／出力が優先されます。

ビデオコントローラーについて

- 視聴したい機器の映像・音声出力とスマートリンク送信機の映像・音声入力端子を接続します。そのあと、接続した機器を受信機内蔵のテレビ側から操作できるように、ビデオコントローラーをスマートリンク送信機のビデオコントローラー端子に接続します。
- ビデオコントローラーを取付けるときは、送信部がビデオ機器のリモコン受光部に確実に向いていることを確認してください。スマートリンク送信機に接続した機器のリモコンを、本機(テレビ本体)のリモコン受光部に向けボタンを押すことで、接続機器を操作することができます。

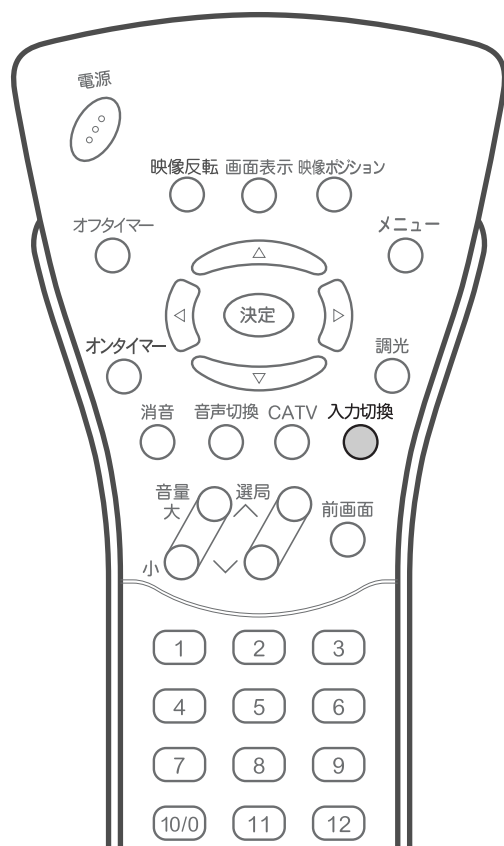
外部機器の再生映像などを見る

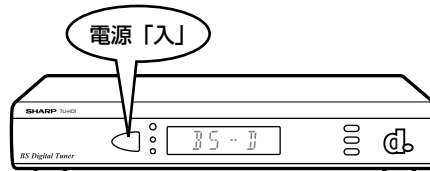
■外部機器の再生映像などを見るときは、テレビ本体のリモコンで入力を切り換え、外部機器のリモコンで再生、選局などの操作をします。

本機

本機の入力を切り換えるときは、本機のリモコン

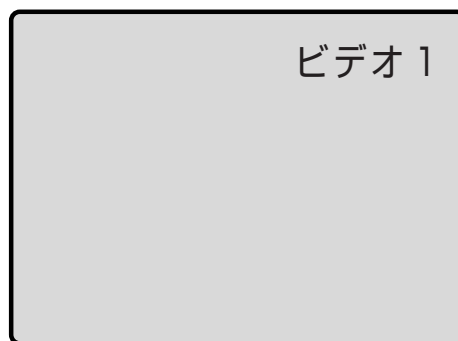
ビデオやDVDを操作するときは、外部機器のリモコン

リモコン

1 -1 スマートリンク送信機の電源を入れる

-2 外部機器の電源を入れる

• 操作のしかたについては、機器の取扱説明書をご覧ください。

2 入力切換 ○ を押し、接続しているビデオ入力を選ぶ

（例）

ビデオ 1

3 外部機器のリモコンで再生、選局などの操作をする

外部機器の再生映像などを見る(つづき)

ゲーム機などの外部機器を液晶テレビに直接つないで見る

液晶テレビを一定の場所でご覧になる場合などは、液晶テレビの背面端子に外部機器を接続します。

■接続のしかた

ビデオデッキ、ビデオカメラ、ゲーム機
DVDプレーヤーなど

S映像　音声　映像

は、信号の流れを示しています

(赤)(白)(黄)

S映像ケーブル(市販品)

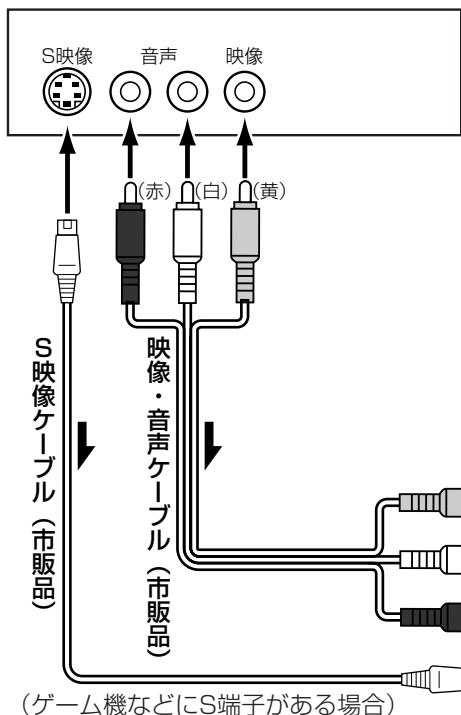
映像・音声ケーブル(市販品)

(黄)
(白)
(赤)

映像
左
音声
右
ビデオ(本体)入力
S映像
ヘッドホン

(ゲーム機などにS端子がある場合)

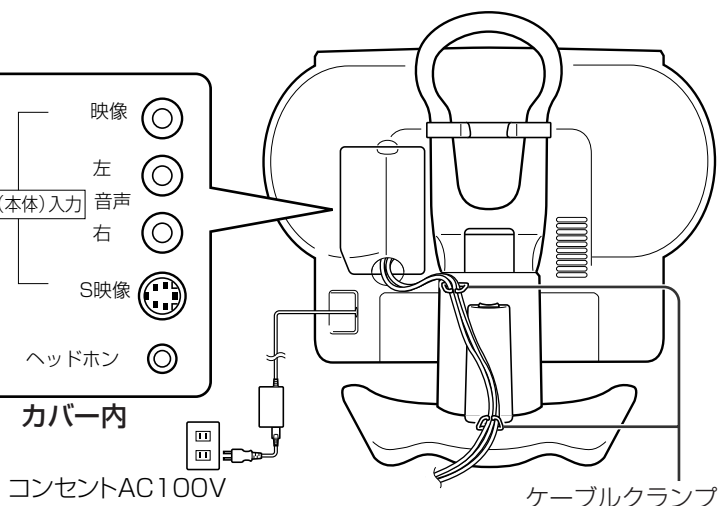
カバー内

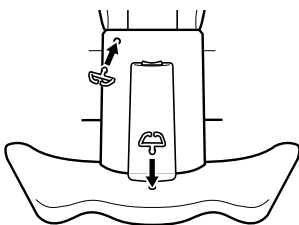
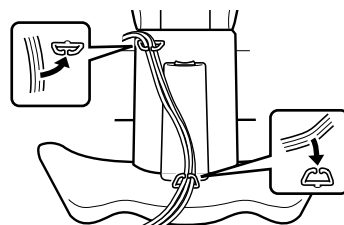
コンセントAC100V

ケーブルクランプ

■操作のしかた

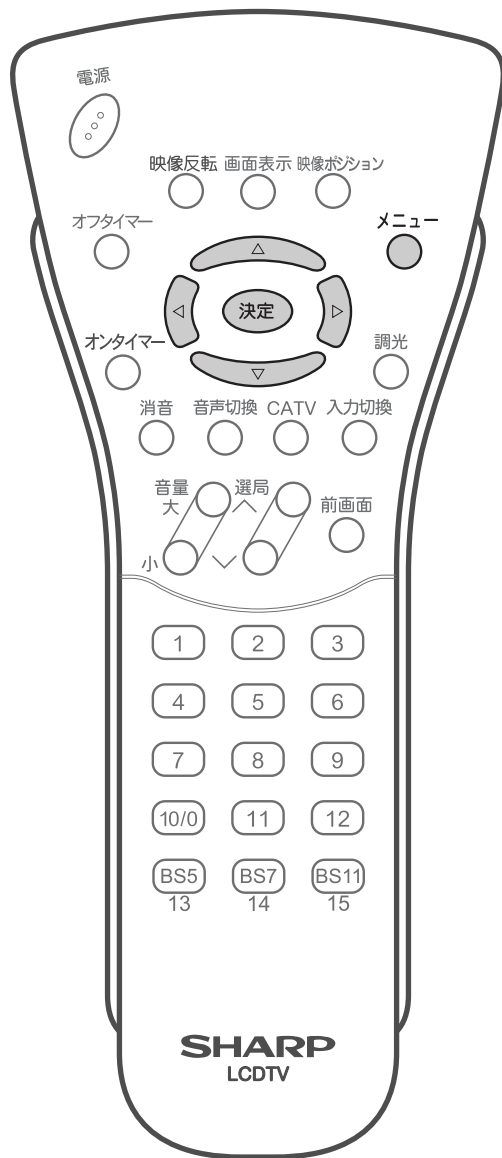
① 液晶テレビの電源を入れる

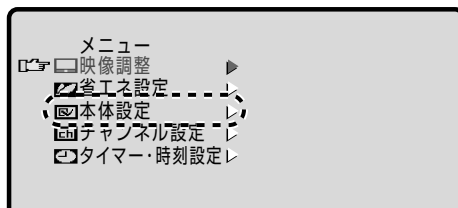
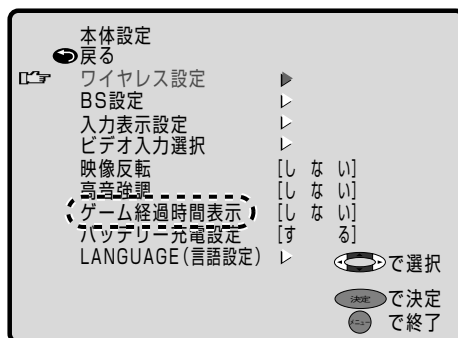
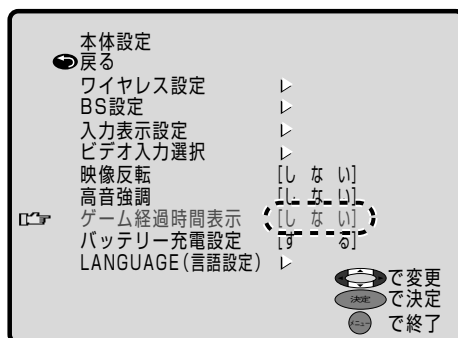
② 入力切換 ○ で、ビデオ(本体)を選ぶ

③ ビデオ入力に接続した外部機器の電源を入れて、再生状態にする

ケーブルクランプの使いかた

①ケーブルクランプをテーブルスタンドに差し込む

②カバー内に差し込んだケーブルをケーブルクランプにはめる

• ゲームをするときは、必ずテレビのビデオ(本体)入力端子に接続してください。スマートリンク送信機に接続すると反応が遅れて、快適にゲームを楽しむことができません。

ゲーム経過時間を表示するには

リモコン

ビデオ(本体)入力にゲーム機を接続してゲームを楽しむとき、ゲーム経過時間を画面に表示させることができます。

1 メニュー を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で**「本体設定」**を選び、決定 を押す

3 △ ▽ で**「ゲーム経過時間表示」**を選び、決定 を押す

4 ◁ ▷ で**「する」**を選び、決定 を押す

おしらせ

- 「ゲーム経過時間表示」を「する」に設定しているとき、入力表示設定が「ゲーム」に設定されている場合、または、映像ポジションの「ゲーム」表示を選んだ場合は、入力切換ボタンを押して「ゲーム」画面にしてから30分が経過すると「30分たちました やすみましょう」というメッセージが表示されます。以降30分ごとにこのメッセージが表示されます。

  30分 → 1時間 → 1時間30分 → 2時間

- ゲームの種類の中でピストル等を使った「シューティングゲーム」はできません。
- 工場出荷時は、「ゲーム経過時間表示」は「しない」に設定されています。

外部機器を接続する

デコーダー入力をビデオ3入力として使う

■デコーダー入力とビデオ3入力は、メニュー画面を操作して切り換えることができます。（工場出荷時はデコーダーになっています。）

1 メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △ ▽ で **「本体設定」** を選び、決定 を押す

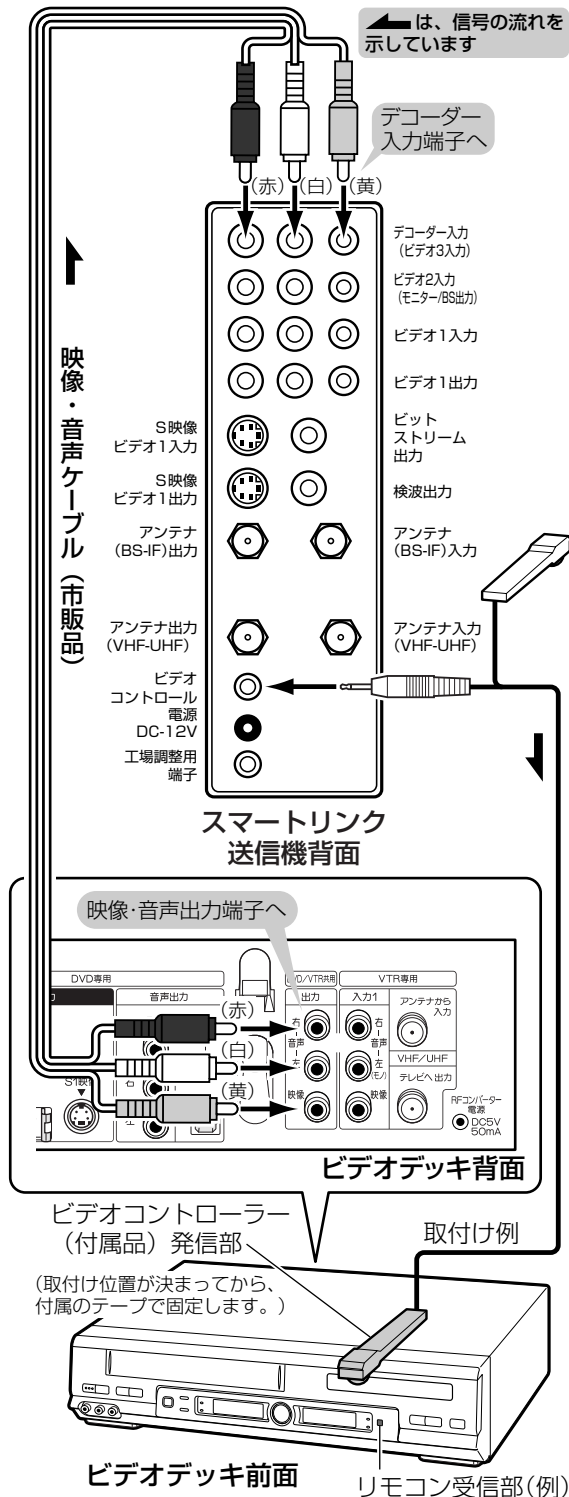
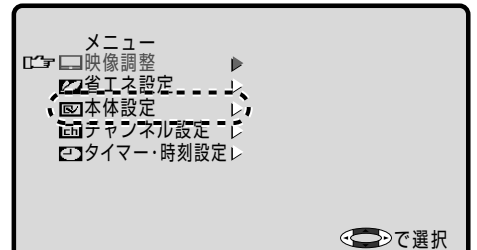
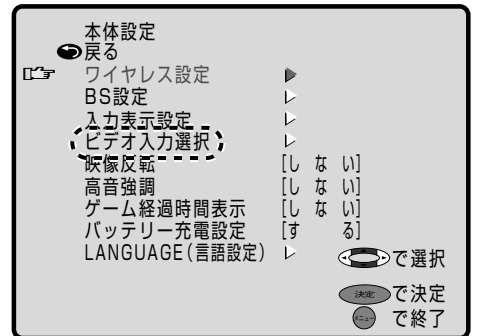
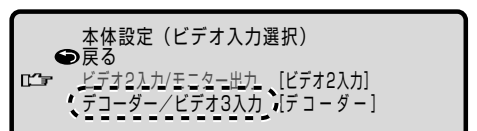
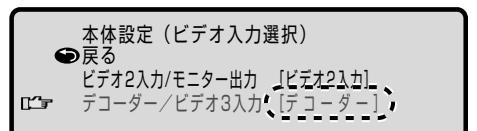
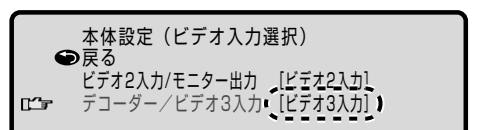
3 △ ▽ で **「ビデオ入力選択」** を選び、決定 を押す

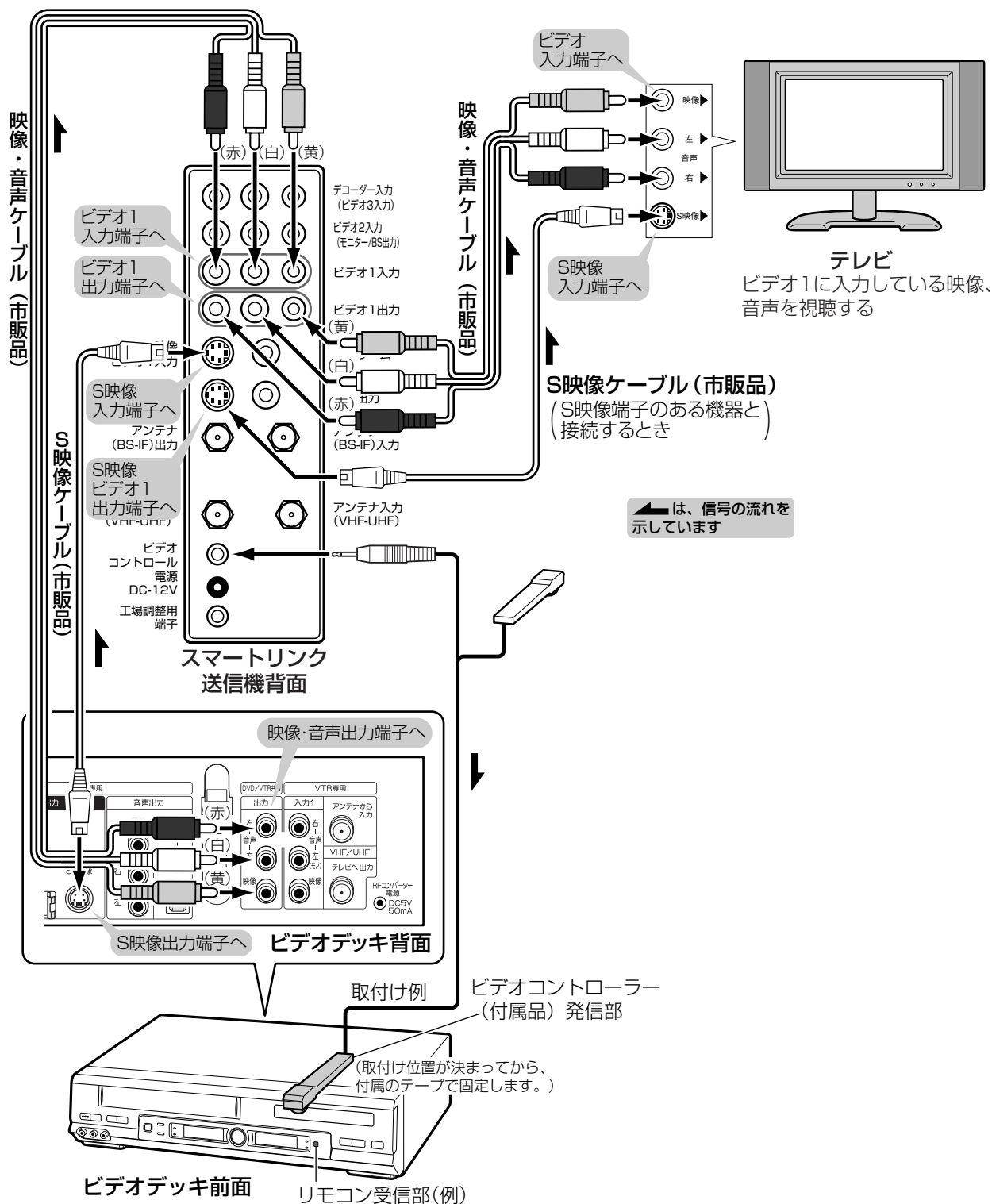
本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー／ビデオ3入力 [デコーダー]

4 △ ▽ で **「デコーダー／ビデオ3入力」** を選び、決定 を押す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー／ビデオ3入力 [デコーダー]

5 ◁ ▷ で **「ビデオ3入力」** に設定し、決定 を押す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー／ビデオ3入力 [ビデオ3入力]

おしらせ
- デコーダー入力からビデオ3入力に切り換えないと、デコーダー入力端子はビデオ3入力端子として機能しません。

ビデオ1出力(スルー)の使いかた

■スマートリンク送信機はビデオ入力(端子)で受信したビデオ信号をビデオ出力(端子)からそのまま出力(スルー)しますので、本機でテレビを見ながら、メインテレビでビデオ1入力に接続した外部機器(ビデオデッキなど)の映像や音声を視聴することができます。

外部機器の接続

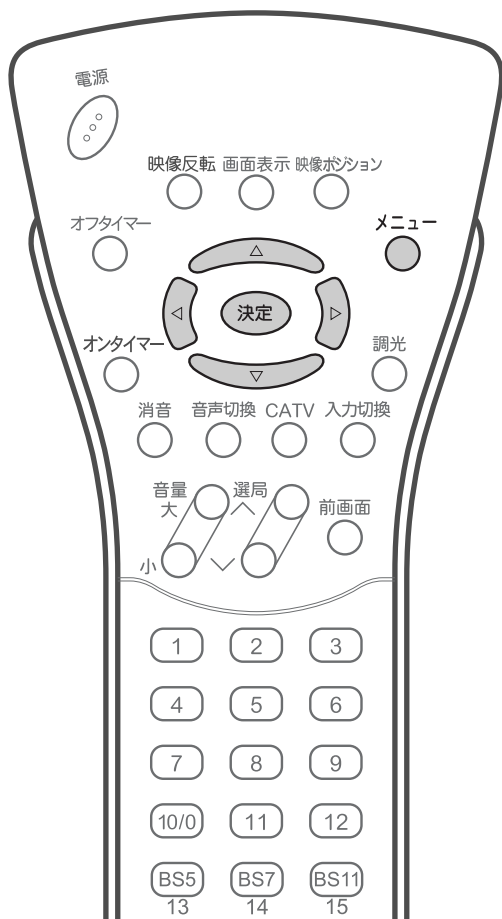
外部機器を接続する

外部機器を接続する(つづき)

■モニター出力機能について
本機で受信している映像と音声を、ビデオ2入力(モニター／BS出力)端子に接続した外部機器に出力します。
なお、S映像入力端子からの映像は、モニター出力されません。

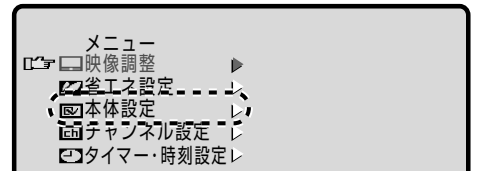
■モニター出力：見ている映像と音声を、本機に接続した外部機器にモニター出力します。
ビデオ2入力：ビデオ2入力端子に接続した外部機器からの映像と音声が、本機に入力されます。

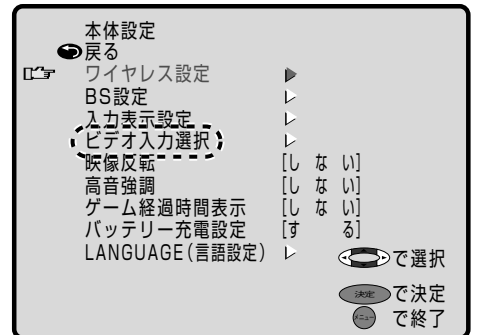
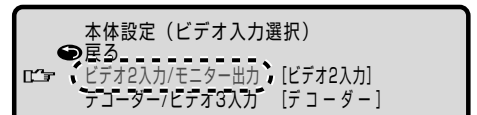
■「出力／BS固定」と表示されて設定を変更できないときは、「BS固定」を「しない」に変更してください。(92ページ参照)

リモコン

モニター出力を設定する

1 メニュー を押し、**メニュー画面**を表示する

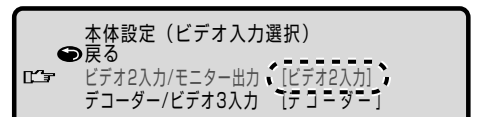
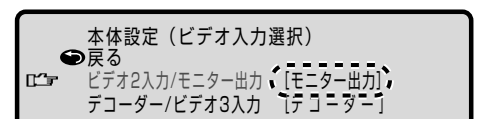
メニュー
映像調整
省エネ設定
本体設定
チャンネル設定
タイマー・時刻設定

2 △ ▽ で**「本体設定」**を選び、決定 を押す

3 △ ▽ で**「ビデオ入力選択」**を選び、決定 を押す

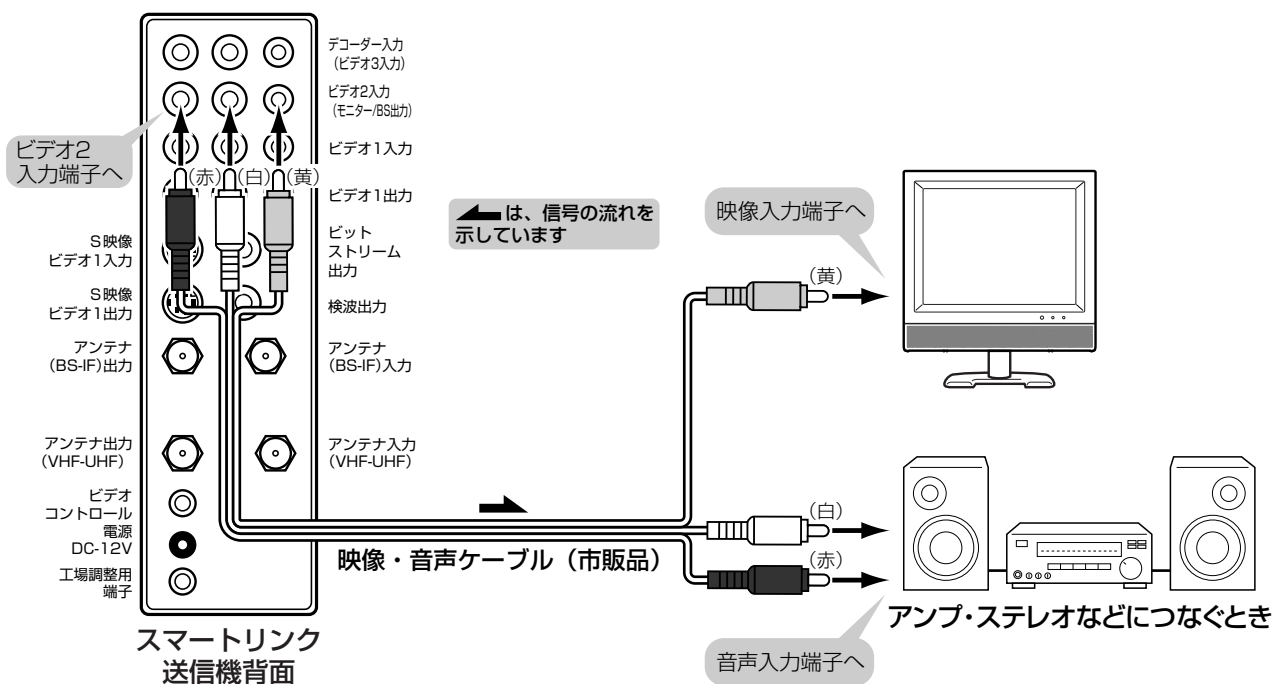
本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー/ビデオ3入力 [デコーダー]

4 △ ▽ で**「ビデオ2入力/モニター出力」**を選び、決定 を押す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [ビデオ2入力]
デコーダー/ビデオ3入力 [デコーダー]

5 ◁ ▷ で**「モニター出力」**を選び、決定 を押す
メニュー を押し、**メニュー画面**を消す

本体設定（ビデオ入力選択）
戻る
ビデオ2入力/モニター出力 [モニター出力]
デコーダー/ビデオ3入力 [デコーダー]

おしらせ
- オンタイマーのチャンネルを「ビデオ2」に設定している場合は、「ビデオ2入力／モニター出力」の選択はできません。
- 「モニター出力」を設定しているときにビデオ(本体)を選択すると、アンテナ入力からの映像が出力されます。

映像や音声をモニター出力する

■スマートリンク送信機のビデオ2入力(モニター／BS出力)端子から、本機で受信している映像と音声を出力することができます。

おしらせ

- あなたが録画、録音したものは、個人で楽しむなどの他は、著作権者に無断で使用できません。
- スマートリンク送信機からテレビ本体に映像・音声が送られるまで、わずかに時間がかかります。テレビを見ながら録画や録音をするとき、テレビの画面は実際の画面からわずかに遅れて表示されます。DVDやビデオに録画するとき、リモコンの録画ボタンを押してから実際の録画を開始するまで、約1秒かかります。
- モニター出力から録画したり映像を見たいときは、モニター出力を設定します。
  モニター出力に設定してあるとき、リモコンでテレビ電源を「切」にすると、スマートリンクの電源も待機状態になりますが、モニター出力はそのまま出力されていますのでスマートリンクの主電源を「切」にすると、出力されなくなります。

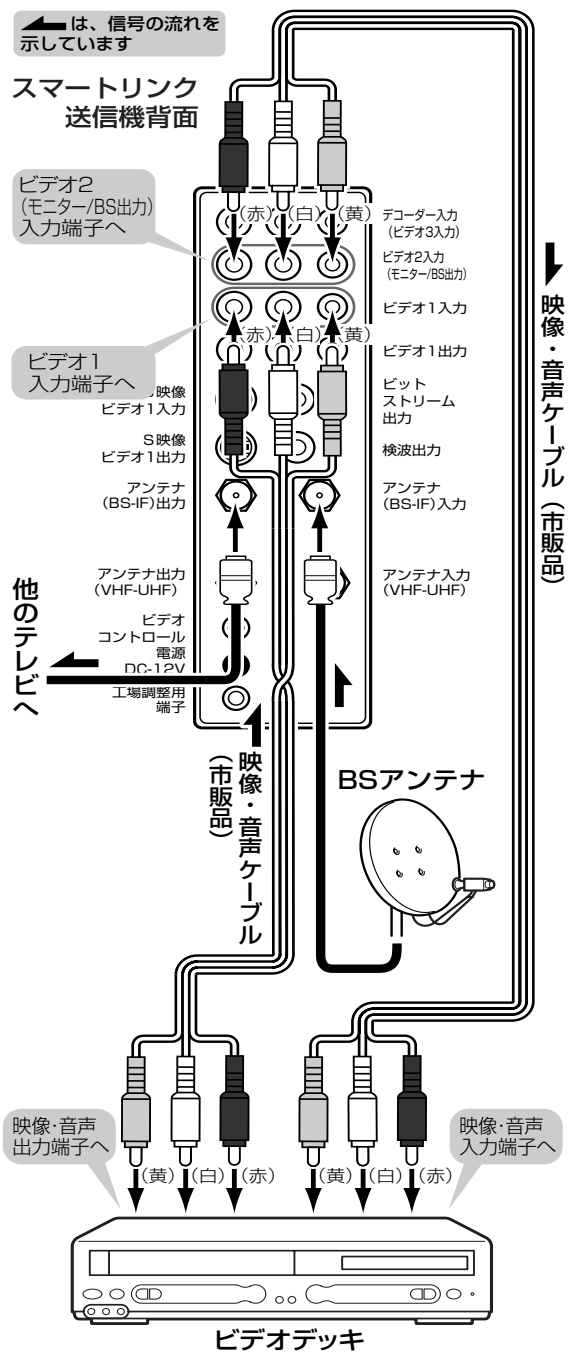
※次の場合、電源待機中となりますが、モニター出力はできます。

- テレビ本体電源ボタン――切時
- リモコンの電源ボタン――切時
- 何らかの障害で通信できない場合でも、モニター出力が途切れないようになっています。節電のため、モニター出力を使用していない場合は、電源を切ることをおすすめします。

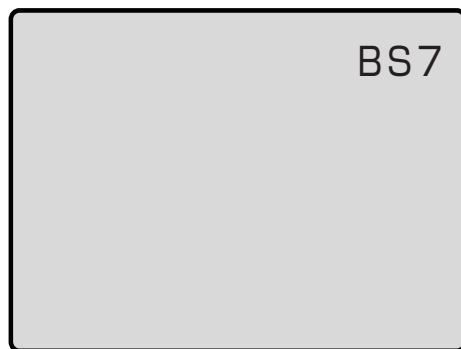
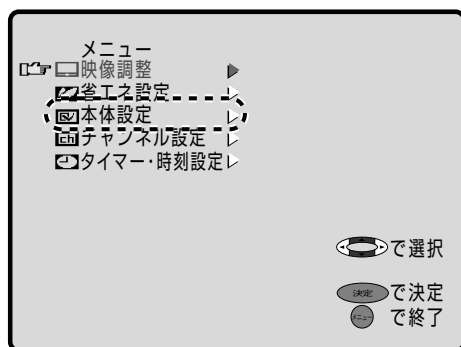
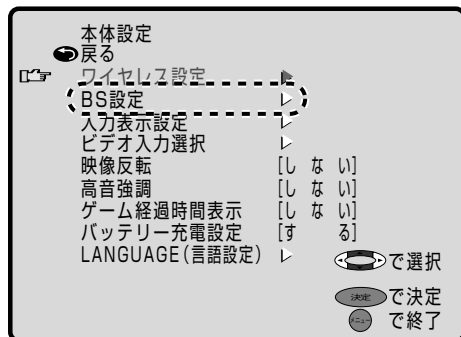
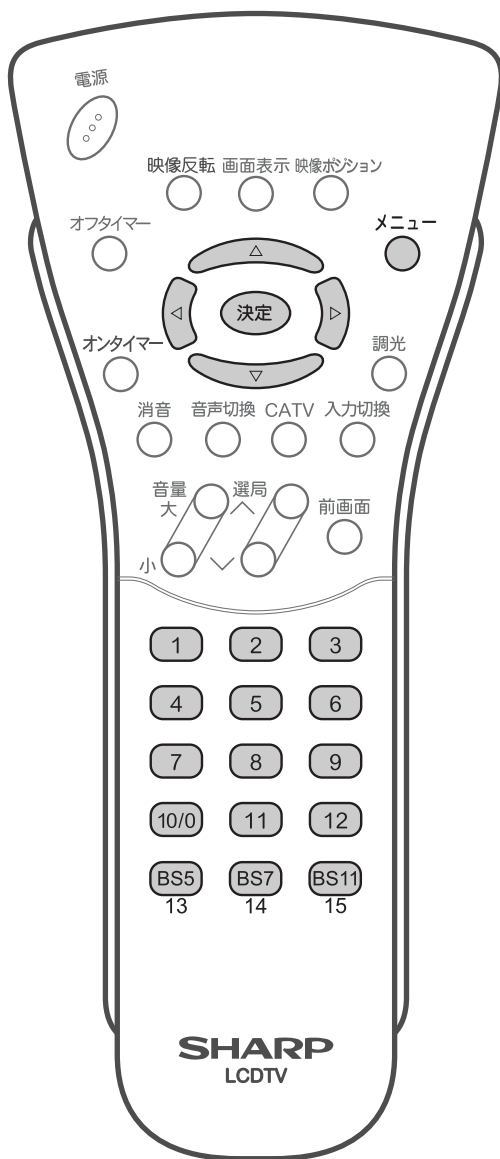
※電源を切っても、アンテナ出力(VHF/UHF/BS-IF)およびビデオ1は出力しています。

地上放送を見ながらBS放送を録画する

BS固定機能を使う

■BS固定機能を使うと、固定したBSチャンネルの映像と音声がビデオ2入力(モニター／BS出力)端子から出力され、BS放送を録画することができます。

[例]6チャンネルを見ながら「BS7」をBS固定して録画する

1 リモコンの (BS7 14) を押す

BS7

2 (メニュー) を押し、**メニュー画面**を表示する

3 (△)(▽) で「**本体設定**」を選び、(決定) を押す

リモコン

4 △ ▽ で**「BS設定」**を選び、(決定)を押す

• BSチャンネルを選択していないときは、「BS固定」を選択できません。

5 -1 △ ▽ で**「BS固定」**を選び、(決定)を押す

-2 ◁ ▷ で**「する」**に設定し、(決定)を押す

6 設定終了後、(メニュー)を押す

7 モニター出力に接続しているビデオを外部入力に切り換え、「録画」状態にする

8 リモコンのダイレクト選局ボタン(6)を押す

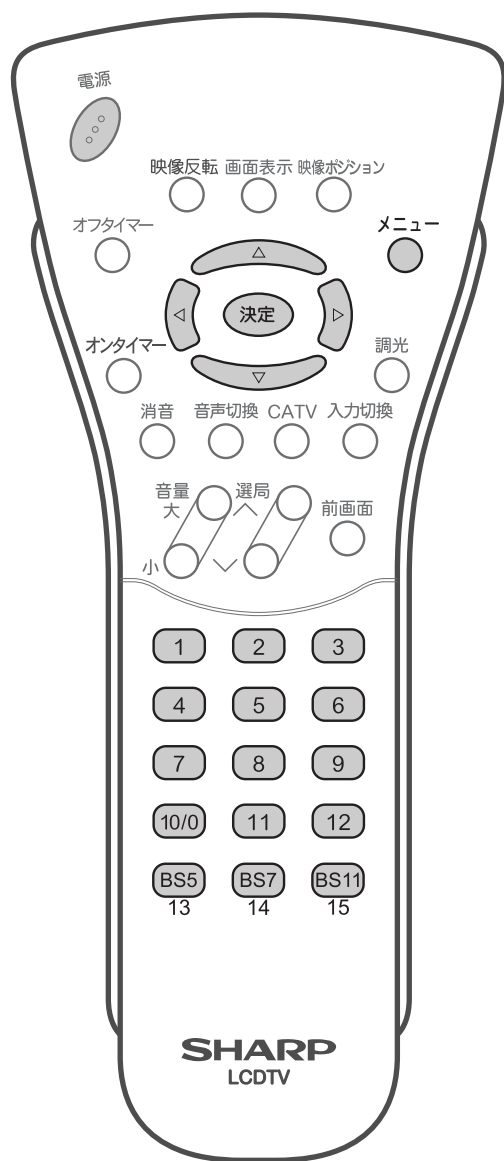
BS7を録画しながら、6チャンネルが見られます。

BS固定を解除するには

①手順**2**〜**4**を実行する

②手順**5**で**「しない」**を選び、(決定)を押す

地上放送を見ながらBS放送を録画する(つづき)

リモコン

留守録またはタイマー予約するとき

1 モニター出力に接続しているビデオで外部入力の録画予約をする

2 録画したいＢＳ放送を選び、**「ＢＳ固定」**を**「する」**に設定する

3 リモコンでテレビの電源を切る

電源ランプが橙色に点灯し、ビデオ2入力（モニター／BS出力）端子からBS固定したチャンネルの信号が出力されます。

おしらせ

- 「BS固定」を「する」に設定中は、「本体設定(ビデオ入力選択)」内の「ビデオ2入力/モニター出力」は「出力／BS固定」と表示されます。
- 「BS固定」を「する」に設定中は、「本体設定(ビデオ入力選択)」内の「ビデオ2入力/モニター出力」の変更はできません。
- 「BS固定」を「する」に設定中は、二重音声放送時に「主／副」に固定されます。
- 「BS固定」を「する」に設定中は、選局ボタンでBS固定チャンネル以外のBSチャンネルは選べません。（スキップします。）
- 「BS固定」を「する」に設定したチャンネルは「チャンネル設定(個別)」の「スキップ」が「入」に設定されていても、スキップはされません。
- 「BS固定」を「する」に設定中は、「チャンネル設定(個別)」の「受信チャンネル」「外部設定」は選択できません。
- 「BS固定」を「する」に設定中の音声出力は、固定の音声となります。
- オンタイマーのチャンネルをBSチャンネルに設定している場合、そのBSチャンネル以外は「BS固定」を「する」に設定できません。
- オンタイマーのチャンネルをビデオ2に設定している場合は、「BS固定」を「する」に設定できません。

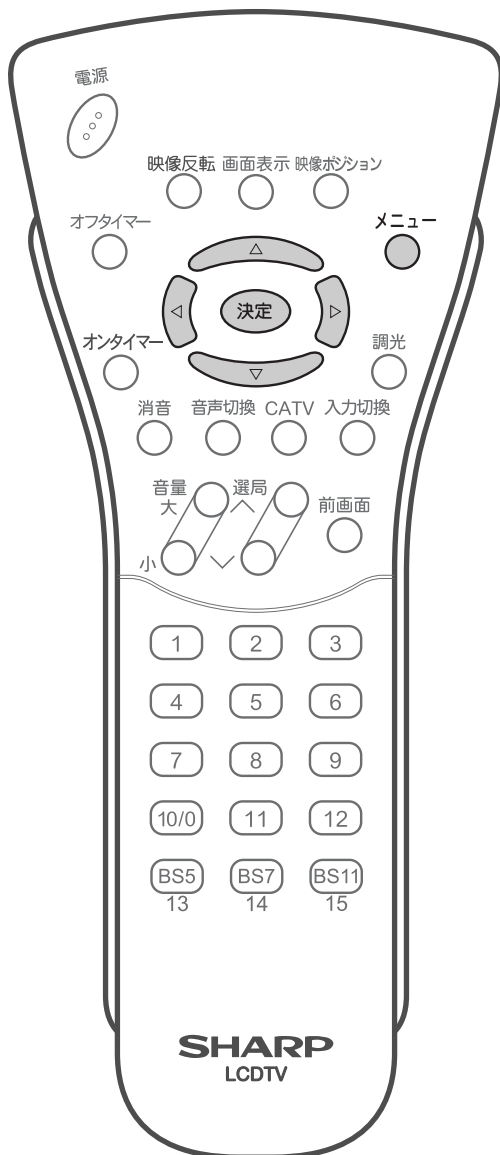
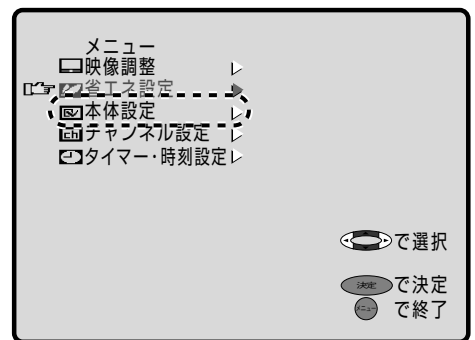
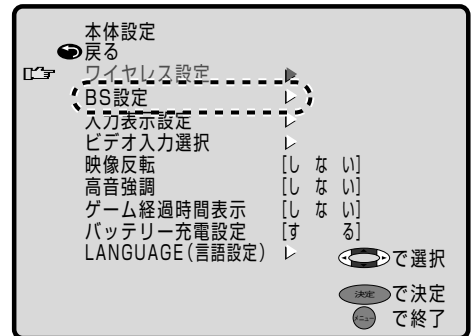
BS放送の独立音声を聞くとき

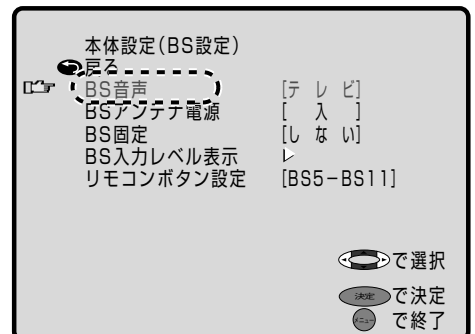
■BS放送の音声について

BS放送の音声は、AモードとBモードがあり、このモードは放送内容によって自動的に切り換わります。
Aモード…テレビの音声と独立音声の2系統の音声が楽しめます。
Bモード…テレビ音声1系統だけが送られますが、Aモードに比べて、より高音質の音声が楽しめます。

	テレビ音声（二重・ステレオ・モノラル）	独立音声（二重・ステレオ・モノラル）	音質
Aモード	○	○	FM放送同等
Bモード	○	×	CD同等

- テレビ音声は、見ている映像に合った音声です。
- 独立音声は、見ている映像に関係のない音声です。
- 二重音声を楽しむときは、67ページをご覧ください。

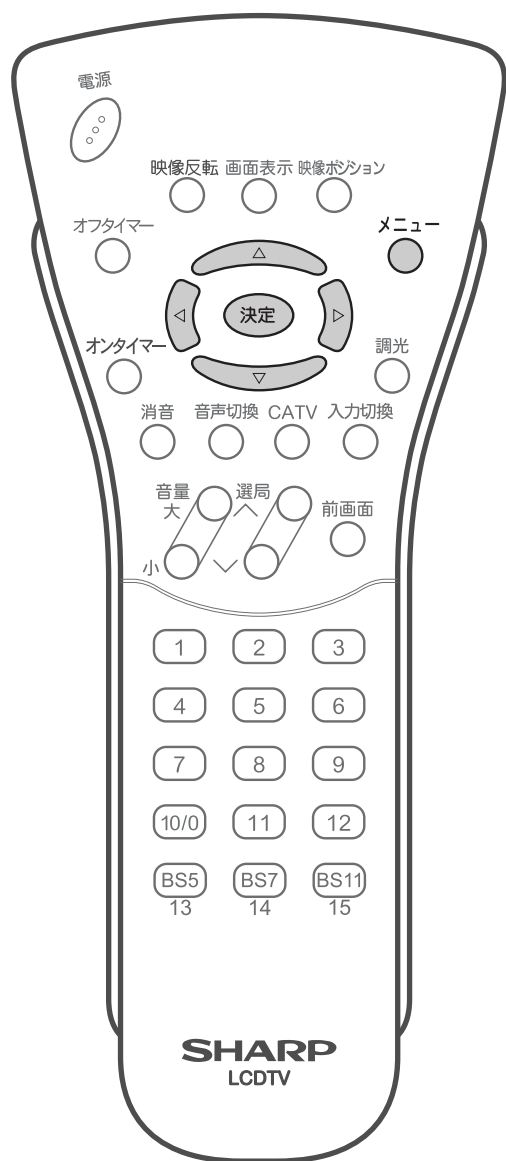
リモコン

1 BS放送を視聴中に メニュー ○ を押し、**メニュー画面**を表示する

2 △▽で「**本体設定**」を選び、決定を押す

3 △▽で「**BS設定**」を選び、決定を押す

BS放送の独立音声を聞くとき(つづき)

リモコン

4

-1 △ ▽ で**「BS音声」**を選び、(決定)を押す

-2 ◁ ▷ で**「独立」**を選び、(決定)を押す

おしらせ

こんなときは独立音声に切り換わりません。(BS音声は選べません)
- BS放送の音声がBモードのとき
- Aモードでも独立音声が送られていないとき

St.GIGA(セントギガ)放送を聞くには

BSデコーダーの音声選択を「独立」にする

おしらせ

- BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているときは、音声モードは表示されません。
- 有料放送チャンネルを受信中の音声(テレビ/独立、主/副)は本機側での切り換えができませんので、BSデコーダー側で切り換えてください。くわしくは、BSデコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- WOWOW(ワウワウ)の放送チャンネルが変更になったときは、BS外部チャンネルを再設定してください。(52ページ参照)

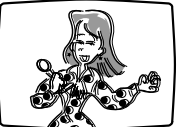
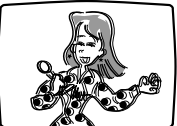
その他のお知らせ

故障かな？と思ったら

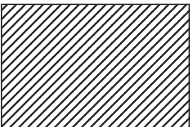
■次のような場合は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度次のことをお調べください。なお、アフターサービスについては102ページをご覧ください。

テレビ側

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない	• ACアダプターがコンセントから抜けていませんか？ • バッテリー残量はありますか？ • 放送局以外の電波を受信していることが考えられます。 • 入力モードがテレビモード以外になっていませんか？ • リモコンで電源待機状態になっていませんか？ • テレビ本体の電源は入っていますか？ • スマートリンク送信機の電源は入っていますか？	27 27 68 22 22
映像が出ない ビデオ1映像が出ない	• 明るさは正しく調整されていますか？ • S映像入力端子にケーブルが差し込まれていませんか？	64 84
音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか？ • 消音になっていませんか？ • ヘッドホンが差込んだままになっていませんか？	22・77 22・77 77
映像も音声も ノイズしか出ない	• アンテナケーブルが抜けていませんか？	32・33
映りが悪い	• アンテナケーブルが抜けていませんか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。	32・33
色あいが悪い 色が薄い	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか？	70
画面が暗い	• 調光設定が「暗い」になっていませんか？ • 明るさは正しく調整されていますか？	64 70
映像が明るすぎる 映像調整ができない	• 映像ポジションが「標準（固定）」になっていませんか？	69
映像がひっくり返って映る	• 映像反転ボタンを押していませんか？	75

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
映像にブロック状のノイズが出る。 音声が途切れる	• 本機の使用する電波は、高い周波数を使用しているため、光と同じように直進、反射、屈折、回折、干渉等の性質をもっています。そのため、場所により電波の強弱が起こり、映像・音声が不鮮明になったり、揺れたり、止まったりすることがあります。 • 送信機とテレビ本体の距離が離れ過ぎていませんか？ 電波の届く範囲内でご使用ください。 • 電気雑音の発生しやすいところで使用していませんか？ •「通信距離設定」を「遠い」にします。 • 本機はワイヤレス伝送を利用していますので動きの早い映像では少し乱れることがありますが、故障ではありません。	29
突然、映像が止まり、音声が途切れるようになった	• 近くに同じ周波数帯（2.4GHz）を利用する無線通信機器である、Bluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器が作動していませんか？	13
映像と音声が受信できない	• 障害物と反射物の影響で電波状態の良い位置と悪い位置があります。テレビ本体の場所を、少し動かしてみてください。	13
リモコンが動作しない	• リモコンの電池寿命が考えられます。 • 蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？	24
テレビ本体に向けてビデオのリモコンを操作しても、接続しているビデオが動作しない	• ビデオコントローラーが接続されていますか？ • ビデオコントローラー発信部がビデオのリモコン受光部に向いていますか？ • ビデオに向けて直接リモコンを操作して動作しますか？（動作しない場合は電池切れが考えられます。）	84

故障かな？と思ったら(つづき)

このようなときも故障ではありません

■テレビからときどき“ピシッ”と音がする
湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

アンテナ側

こんなとき	ここをお確かめください
映像が不鮮明 映像がゆれる	• テレビの電波が弱い場合が考えられます。 • 電波状態が悪い場合も考えられます。 • アンテナの方向がズレていませんか？ • 屋外アンテナのアンテナ線がはずれていませんか？
映像が2重3重になる	• アンテナの方向がズレていませんか？ • 山やビルからの反射電波の影響も考えられます。
画面にはん点が出る	• 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波の影響が考えられます。
色じま模様が出たり色が消える	• 他の機器からの影響(妨害電波)を受けていませんか？ また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用等も考えられます。 • 妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。

BS放送関係

		参照ページ
BS放送が映らない	• BSアンテナ電源が「切」になっていませんか？	34
映像の映りが悪い	• BSアンテナの向きがずれていませんか？ • アンテナ線がはずれかけていませんか？	36 33
リモコン操作で、BS放送のチャンネルや、テレビ／独立、主／副の切り換えができない	• 「BS固定」が「する」に設定されていませんか？	92

お確かめの結果、なお異常があるときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

メンテナンスについて

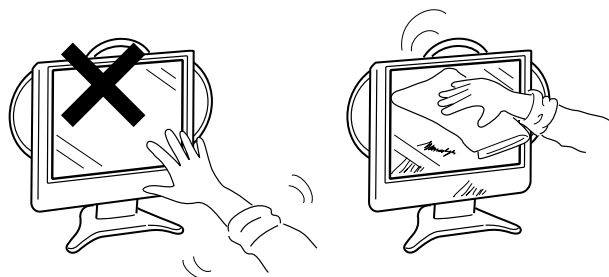
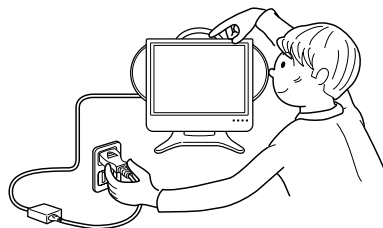
液晶カラーテレビ画面のお手入れのしかた

■液晶カラーテレビ画面をいつまでも美しく保つために、手あかや指紋をつけないようにしてください。

■画面に汚れがついた場合

1. 市販のメガネ拭きやOA機器清掃用の手ざわりの柔らかい乾いた布またはティッシュペーパーなどで軽く拭きとってください。
2. 乾拭きしても汚れが残っている場合、汚れを水で浮かせて水分を吸い取り、乾いた後、柔らかい乾いた布などで軽く拭きとってください。

■画面にほこりがついた場合は、市販の柔らかい刷毛などでほこりを取ってください。

■画面の保護のため、ほこりのついた布や湿った布、または化学ぞうきんなどで拭きとらないでください。

■お手入れの際は、本体の電源スイッチを必ず切ってコンセントから電源プラグを抜いて行ってください。

蛍光管について

本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り換えてください。
  寿命の目安…約60,000時間(「調光」が「標準」モードの場合)
- くわしくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(103ページ)にお問い合わせください。

ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体の電源スイッチをいったん「切」にして、再度電源を入れ直して確認してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書(別添)

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買い上げの日から1年間です。(消耗部品は除く)
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(103ページ)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(98ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　名：液晶カラーテレビ
- 形　名：LC-15L1
- お買い上げ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

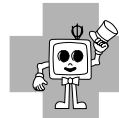
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）
■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ………………………	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	清水市鳥坂1170
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.03）

設置例と別売品のご案内

■別売の壁掛け金具をご使用になると、液晶カラーテレビを壁に取り付けて、ご覧いただけます。

別売品の壁掛け金具で、本機を壁に取り付ける

●詳しくは、別売品の取扱説明書をご覧ください。

壁用金具の取り付け

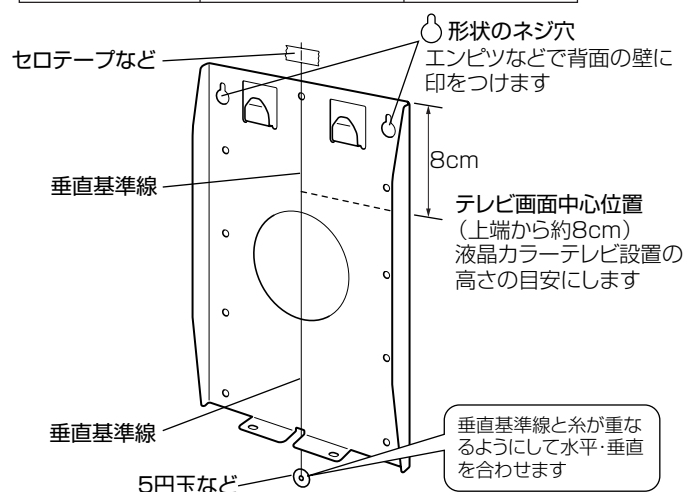
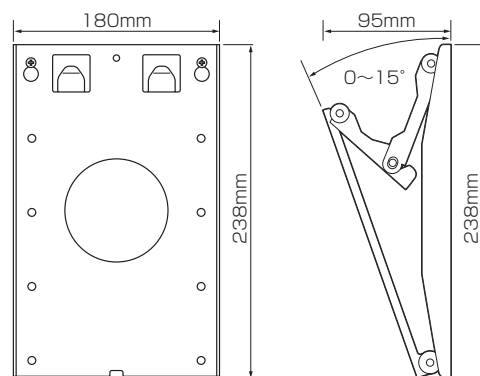
1 壁用金具を設置する場所を決める

ご用意いただいた5円玉付きの糸を使って、壁用金具の垂直を合わせます。
2箇所のネジ穴の位置に、エンピツ等で印をつけます。

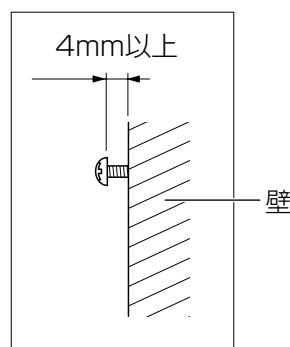
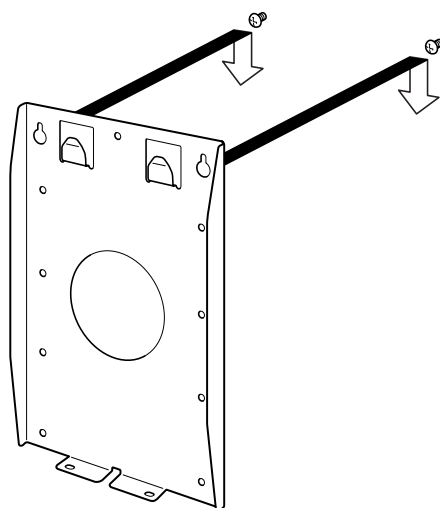
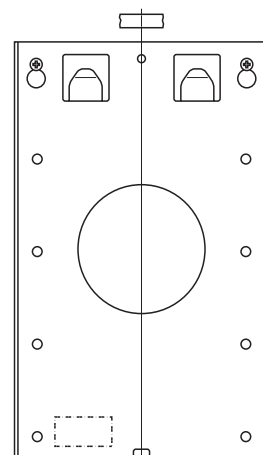
液晶テレビ	壁掛け金具	中心位置
LC－15L1	AN-120AG1	約8cm

セロテープなど
形状のネジ穴
エンピツなどで背面の壁に印をつけます
8cm
垂直基準線
テレビ画面中心位置
（上端から約8cm）
液晶カラーテレビ設置の高さの目安にします
垂直基準線
垂直基準線と糸が重なるようにして水平･垂直を合わせます
5円玉など

AN-120AG1外形寸法図

180mm
95mm
0～15°
238mm
238mm

壁面への取付ネジは、壁面の材質に合わせ、別途購入が必要です。

2 ネジを仮止めする

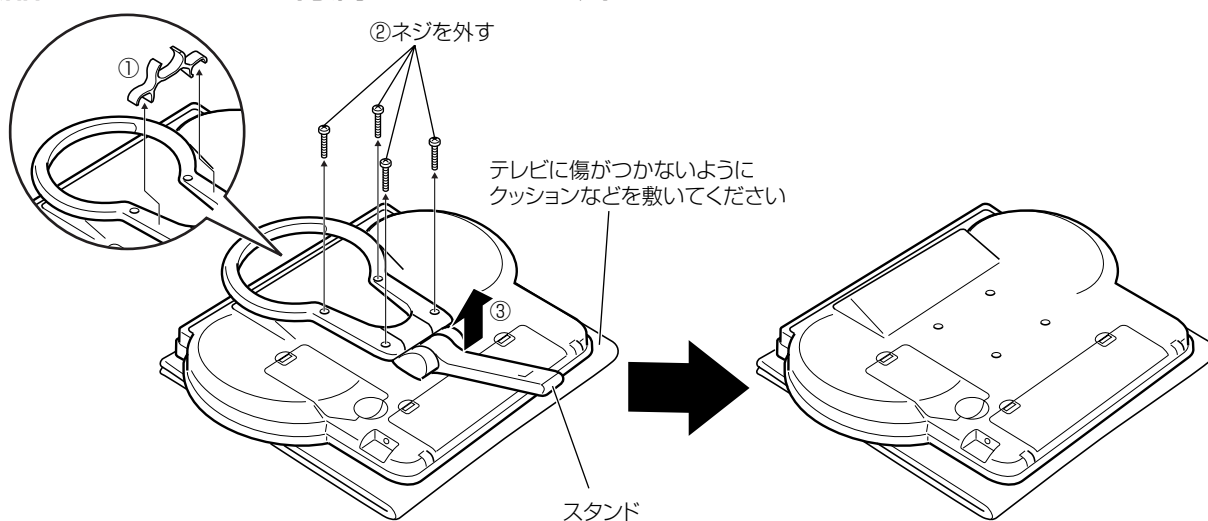
いったん壁用金具を壁から離し、壁につけたネジ穴のマーク位置にネジ（2本）を仮止めします。このとき、ネジ頭は、壁用金具が掛けられるよう壁から4mm以上浮いた状態にします。取り付けたネジに壁用金具を掛け、左右に傾いていないか確認後しっかりとネジを締めます。残りのネジ穴にも市販のネジ（5～9本）を使って止めます。

壁掛け金具ユニットの取り付け

■取り付けの前に、液晶カラーテレビの電源を切り、ACアダプターを抜いてください。

1

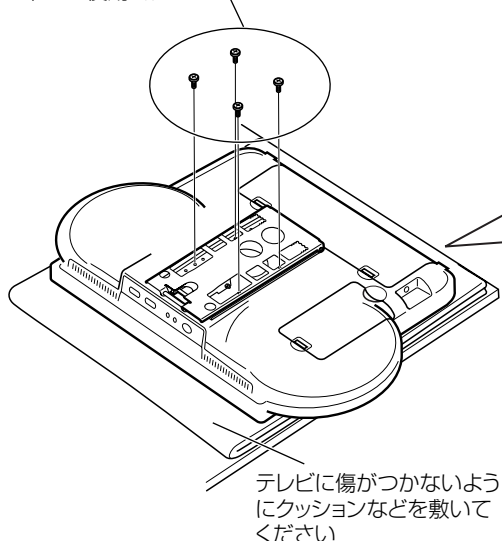
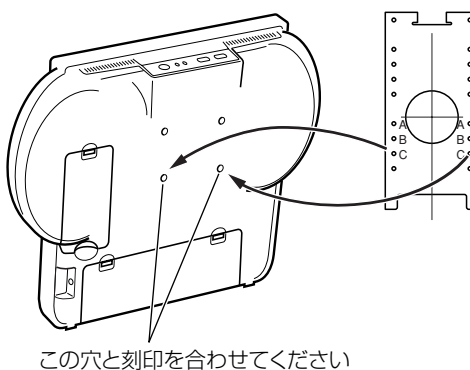
①リモコンホルダーを取り外す

②ネジを外す

③液晶カラーテレビに付属のスタンドを外す

2

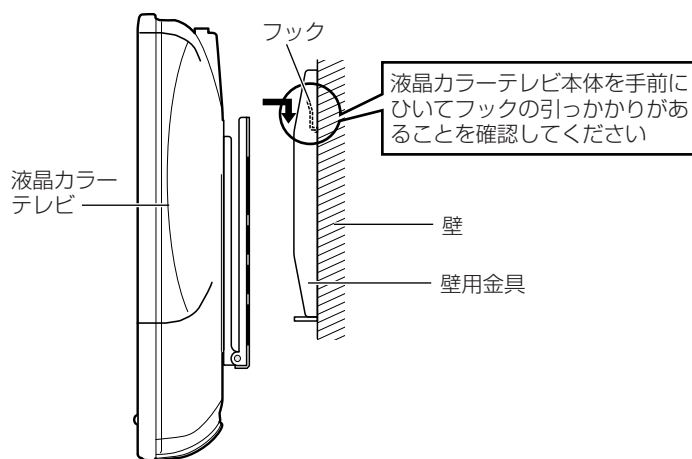
壁掛け金具ユニットを液晶カラーテレビに取り付ける

スタンド（取っ手部分）を外した部分に、壁掛け金具ユニットを取り付けます。
このとき支点金具は閉じた状態で取り付けてください。

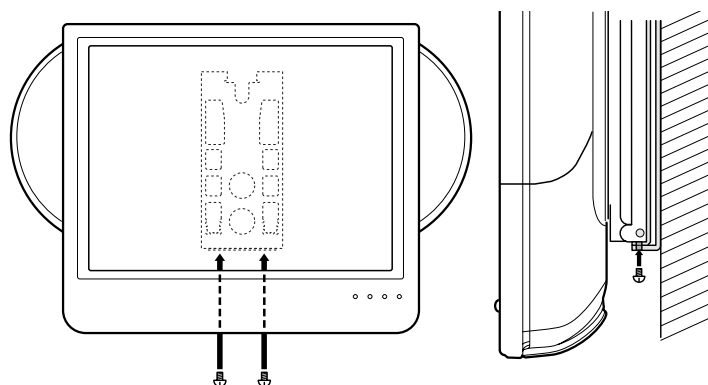
液晶テレビ	壁掛け金具	刻印
LC−15L1	AN-120AG1	C

設置例と別売品のご案内(つづき)

液晶カラーテレビを壁に取り付ける

1 液晶カラーテレビに取り付けた壁掛け金具ユニットを、壁用金具に取り付ける

壁用金具の取り付け で取り付けた壁用金具のフック部分に壁掛け金具ユニットの角穴(△)を引っかけます。

2 壁掛け金具ユニットと壁用金具をネジで固定する

（必ず実施してください）

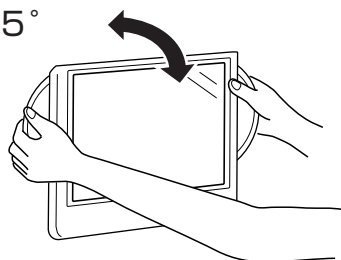
下側から、ネジ（長さ6mm）２本で固定します 。

ご注意

• 上記手順**1**と**2**は必ず実施してください。**1**のみでの設置は液晶カラーテレビが落下してケガの原因となることがあります。

角度調整をする場合

1 見たい角度に合わせる場合

図のように液晶カラーテレビを両手で持って、角度調整を行ってください

角度範囲　０～１５°

ご注意

• 液晶カラーテレビ本体背面の金具に手を触れないようにしてください。角度調整時に金具が動きますので、手を挟む可能性があり、けがの原因となります。

別売品について

■液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

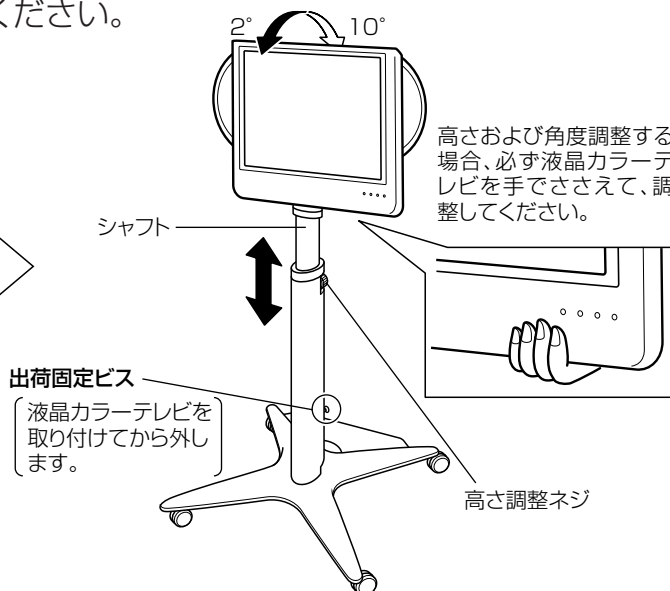
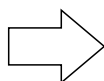
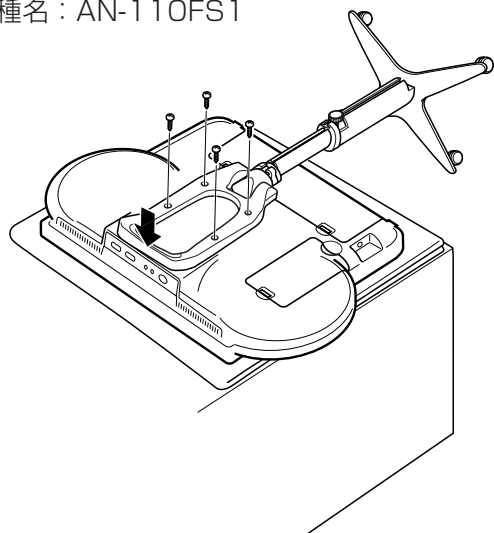
No.	品名	機種名
1	壁掛け金具	AN-120AG1
2	フロアースタンド	AN-110FS1
3	天吊りブラケット	AN-120TB1
4	テーブルサイドスタンド	AN-120TS1
5	フレキシブルアーム	AN-120FA1
6	室内アンテナ	AT-300
7	アンテナ整合器	AN-300RF
8	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF

• 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

（2003年4月現在）

別売品のフロアースタンドに本機を取り付ける

本機に適合するフロアースタンドをお求めください。

機種名：AN-110FS1

付属のスタンドを外し、フロアースタンドを本体に取り付ける

見やすい高さにフロアースタンドを調整する

詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

※バッテリーパックを交換するときは、フロアースタンドをいったん取り外してから行ってください。

• 床から液晶カラーテレビの上面までの高さ

スタンドを含む高さ

スタンド最短時	954mm
スタンド最長時	1,164mm

主な仕様

品名			液晶カラーテレビ
形名			LC-15L1
テレビ本体	液晶パネル	画面サイズ	15V型(縦229.0mm×横305.3mm/対角381.6mm)
			レターボックス(16：9映像)表示時：13.8V型(縦171.7mm×横305.3mm/対角350.3mm)
		駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
		画素数	921,600ドット(縦480×横640×3)
		画面輝度	450cd/m^2
		視野角	上下170°、左右170°
	使用光源		内部光(蛍光管内蔵)
	スピーカー		φ4cm：2個
	音声出力		4.2W
	接続端子		ビデオ入力1系統1端子(S優先)、ヘッドホン出力端子、DC入力端子
	バッテリーパック使用時間		約2時間(調光「標準」)/約3時間(調光「暗い」)
	DC電源電圧		15V
	使用電源		AC100V・50/60Hz(付属ACアダプター使用時)
	消費電力※1		38W
	消費電力(バッテリー使用時)		29W
	消費電力(急速充電時)		26W
	待機電力※1		0.2W
	寸法	テーブルスタンド設置時	幅494mm×奥行228mm×高さ445mm
		セットスタンド設置時※3	幅494mm×奥行172mm×高さ350mm
		ディスプレイ部	幅494mm×奥行59mm×高さ350mm
	質量	テーブルスタンド設置時※2	約6.2kg
		セットスタンド設置時※2	約5.3kg
		ディスプレイ部※2	約4.9kg
		バッテリーパック	約0.5kg
スマートリンク送信機	受信チャンネル		テレビVHF1～12ch、UHF13～62ch、CATV13～38ch、BS5、7、11ch
	変調方式		DS-SS(直接スペクトラム拡散方式、IEEE802.11b準拠)
	搬送周波数帯		2.4GHz帯
	対応ビデオ信号		NTSC：コンポジットビデオ、S映像
	接続端子		ビデオ入力2系統2端子(S優先1系統、ビデオ2入力はモニター出力、BS出力と共用)、WOWOWデコーダー入力1系統1端子(ビデオ3入力と共用)、ビデオ出力1系統1端子(ビデオ1入力専用)、S映像出力1系統1端子(ビデオ1入力専用)、アンテナ入力端子、アンテナ出力端子、ビデオコントロール端子、DC入力端子
		衛星放送接続端子	BS検波出力端子、ビットストリーム出力端子、BSアンテナ(BS-IF)入力端子、BSアンテナ(BS-IF)出力端子
	DC電源電圧		12V
	使用電源		AC100V・50/60Hz(付属ACアダプター使用時)
	消費電力※1		13W
	待機電力※1		11W
	寸法	縦置き時(スタンド含む)	幅116mm×奥行253mm×高さ230mm
		横置き時	幅215mm×奥行253mm×高さ67mm
	質量(スタンド含まず)		約1.1kg
年間消費電力量※1			119kWh/年
付属品			2wayスタンド(セットスタンド/着脱式テーブルスタンド)、スマートリンク送信機、スマートリンク送信機スタンド、ACアダプター(2個)、ACコード(1本)、ビデオコントローラー(1個)、ワイヤレスリモコン(1個)、バッテリーパック(1個)、単4形乾電池(2個)、アンテナケーブル(2本)、ケーブルクランプ(2個)、リモコンホルダー(1個)、取扱説明書(1冊)、保証書(1部)

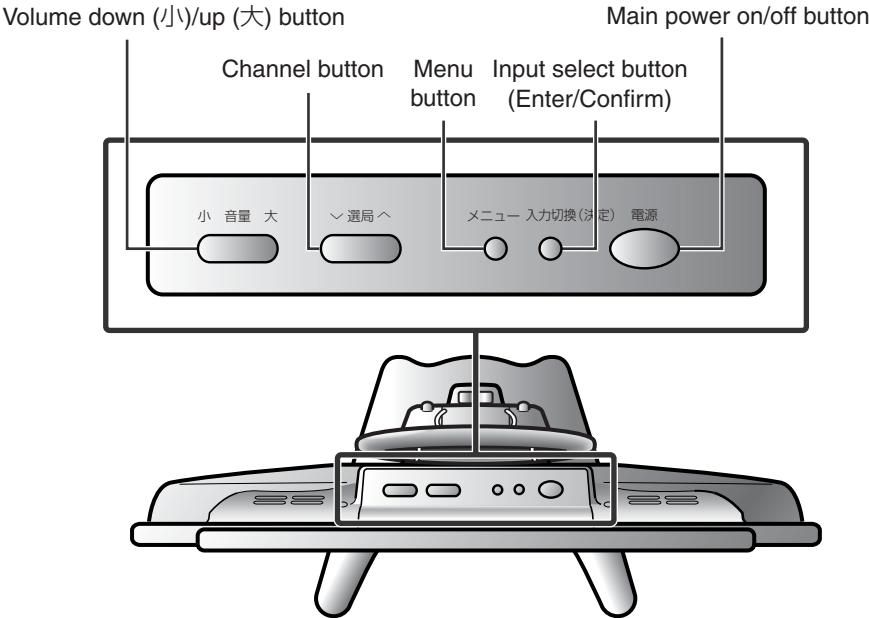
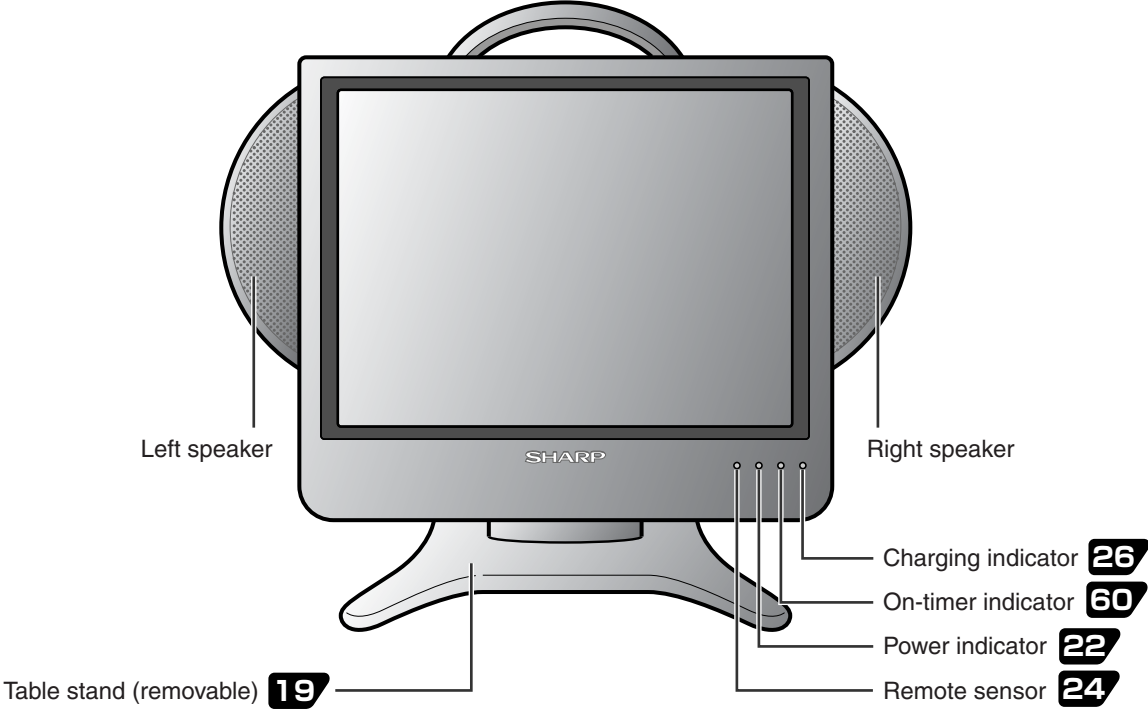
※1　付属ACアダプター使用時　　※2　バッテリーパック含む

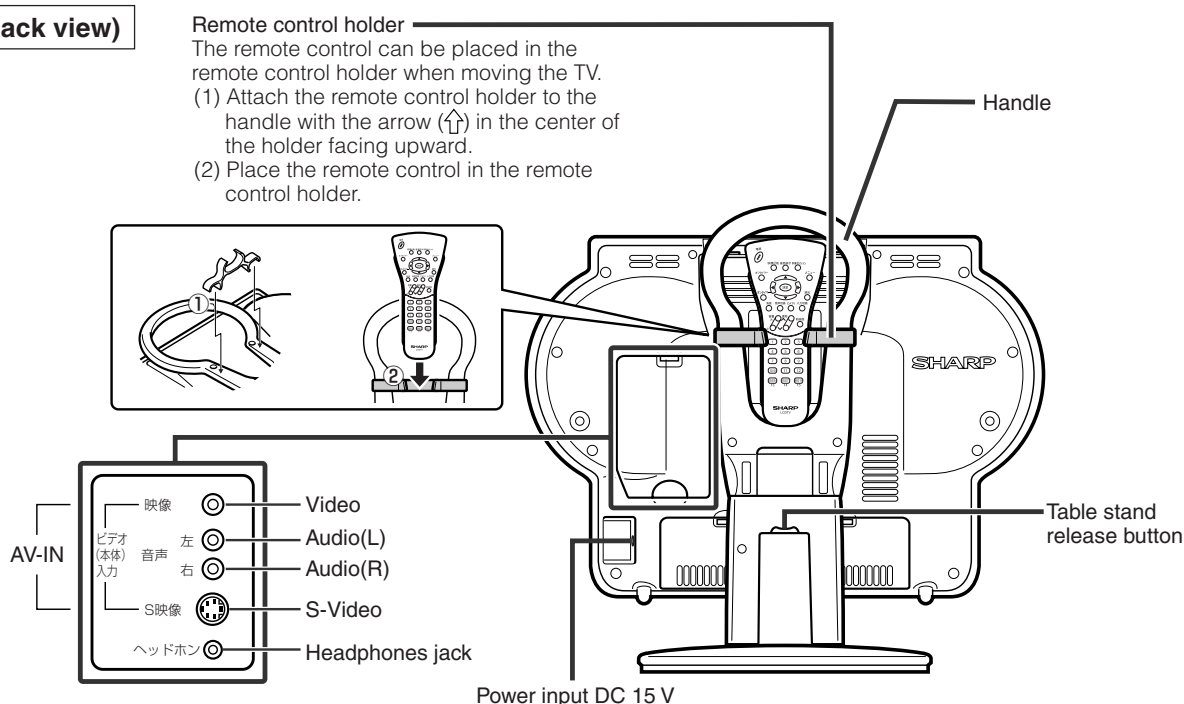
※3　液晶テレビ本体をセットスタンドで後方に設置した時の設置高さ寸法

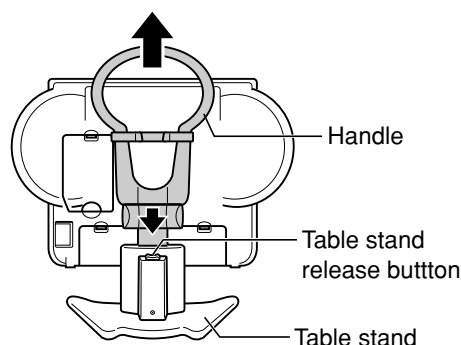
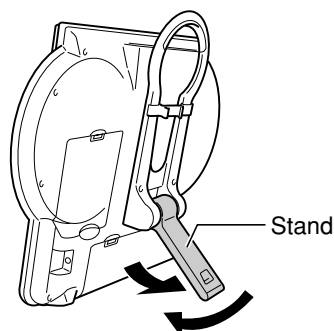
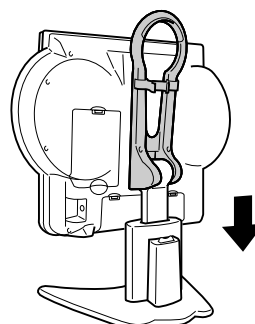
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 仕様の一部を予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Part Names (Main Unit)

Numbers in ▰ indicate the main pages where the corresponding item is described in this manual.

Main Unit (Top view: Control section)

Main Unit (Front view)

Part Names (Main Unit) (Continued)

Main Unit (Back view)

Removing and Attaching the Table Stand

1 **Lift the main unit straight up by holding onto the handle while depressing the table stand release button.**

2 **Unfold the stand.**
Securely unfold the stand until you hear a clicking sound. Only use the stand after first unfolding until a clicking sound is heard to ensure that it is stable.

3 **Fold up the stand.**
Return the stand to its original unfolded position.

4 **Insert the main unit straight into the table stand.**
The main unit cannot be inserted if inclined on an angle. Forcibly inserting the main unit can cause damage or a malfunction.

Smart Link Transmitter

Smart Link transmitter

Transmission

Power Lamp

- ■ When "BS LOCK" is set to "ON" with "PRESET (BS SETTING)" (page 93) or when "BS ANTENNA" is set to "ON" (page 34), the power lamp will be lit orange even if the power is turned off with the remote control, indicating that the BS tuner is operating.
- ■ When the TV is turned off with the remote control, the Smart Link transmitter is switched to standby (power lamp is lit red). (There may be a time lag of about 5 to 6 seconds.)

Front

Reception gain
· Green:
Communication in progress
· Red:
Difficulty in transmission
· Not lit:
Not communicating

Power/BS operation
· Green:
Operation in progress
(when power is on)
· Orange:
During BS operation*
· Red: Standby

Power button

Back

Audio (right)
Audio (left)
Video
Decoder input
(Video 3 input) terminals
Video 2 input
(Monitor/BS output) terminals
Video 1 input
Video 1 output
Video 1 (S-Video) input
Video 1 (S-Video) output
BS antenna output terminal
VHF/UHF antenna
output terminal
Video control terminal
Power input DC 12 V
Factory adjustment terminal
Bit stream output
Wave detection
output
BS antenna
input terminal
VHF/UHF
antenna input
terminal

* When BS tuner is operating during standby

Setting Up the Smart Link Transmitter

The Smart Link transmitter can be placed upright or horizontally.

- When placing upright:

Fasten the stand to the bottom of the Smart Link transmitter with the bolts provided.

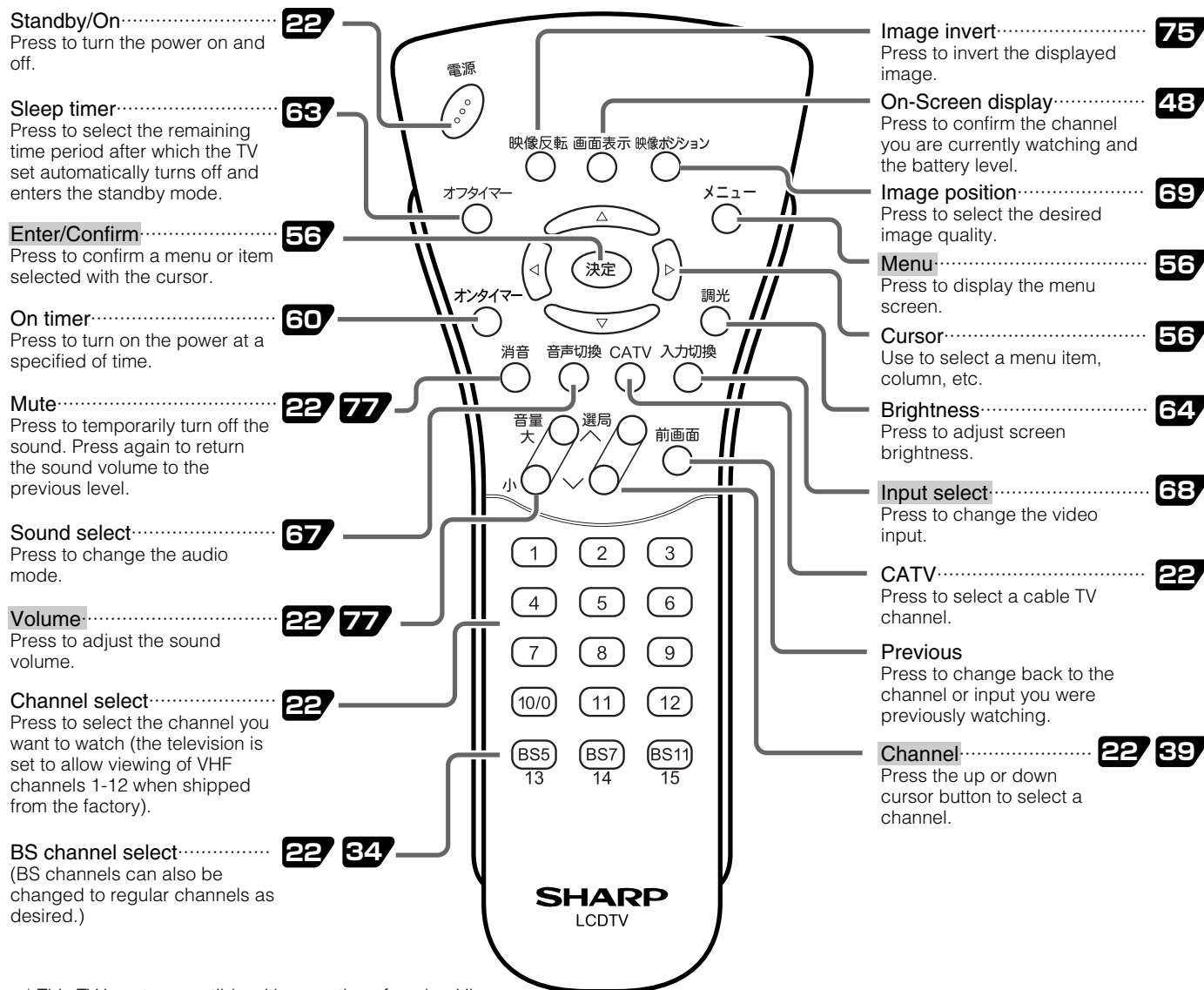
* Failure to securely fasten the stand may cause the Smart Link transmitter to tip over during use.

- When placing horizontally:

The side on which the rubber feet are attached is the bottom.

English

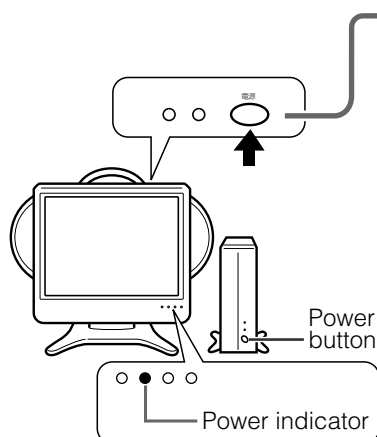
Part Names (Remote Control)

Numbers in [page-number box] indicate the main pages where the corresponding item is described in this manual.

* This TV is not compatible with reception of analog Hi-Vision broadcasts (BS channel 9).

■ Menu, Volume, Channel, Input select, Enter/Confirm buttons can also be operated from the main unit.
* The explanations provided in this manual mainly describe procedures when using the remote control.

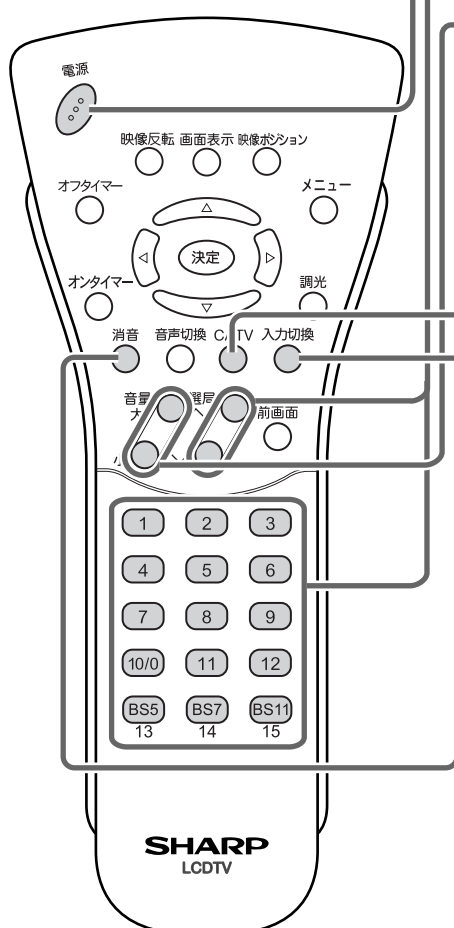
■ After the menu screen has been displayed, the input select button on the main unit can be used as an Enter/Confirm button. In addition, the volume up/down button functions in the same manner as ◁ ▷ on the remote control, while the channel button functions in the same manner as △ ▽ on the remote control.

■ Standby/On button on the remote control cannot be used to turn the transmitter power on and off.

Basic Operations

❶ Turn on the power of the transmitter and TV receiver.

- When power switch is turned on by pressing, the power indicator will light green.
- Once the main power is turned on, you can turn the TV on (power indicator lights green) or off (power indicator lights red) by pressing the Standby/On button on the remote control.

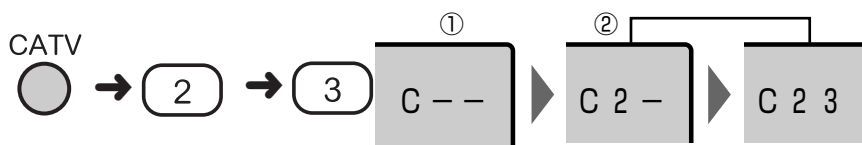
❷ Select a regular or BS channel.

- Press the channel buttons or the regular TV or BS channel select buttons to select the channel you want to watch.
- The numbers of the channel select buttons correspond to the TV or BS channel numbers.
- This TV is set to allow selection of 15 channel numbers, and is set at the time of shipment from the factory to allow viewing of regular channels 1 through 12 as well as BS channels BS5, BS7 and BS11.
  * A WOWOW decoder is required to view programming on BS channel 5.

❸ Adjust the volume.

- A number (up to 60) and a bar are displayed for the on-screen volume indicator.

❹ Press to temporarily turn off the sound.

Select a CATV channel.

- Ex. Selecting channel C23
  ① Press the CATV button.
  ② Select a channel with the channel select buttons.

Watching a Video or DVD

- Press the input select button.
  (This may not be displayed depending on the settings. Refer to page 68 for further details.)

English

CATV Channel Reception

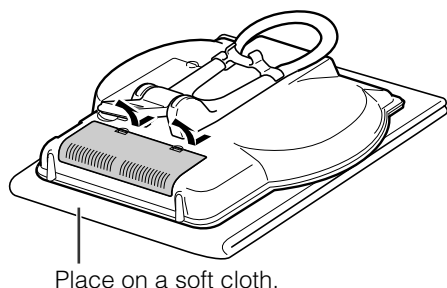
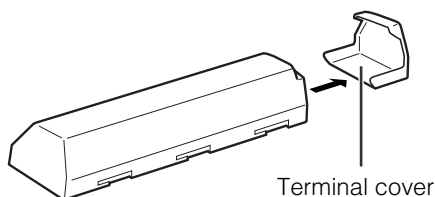
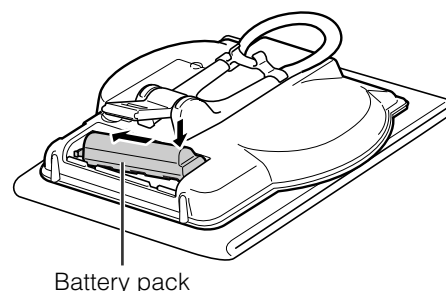
- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to sign up with your local CATV service provider for subscription. To watch (and record) charged, scrambled broadcast, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The selectable CATV channels are C13 through C38.

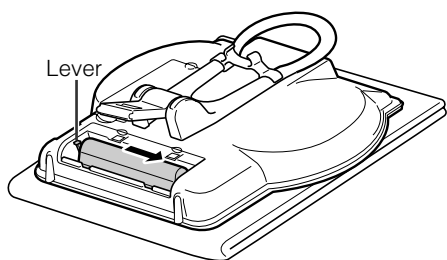
Power

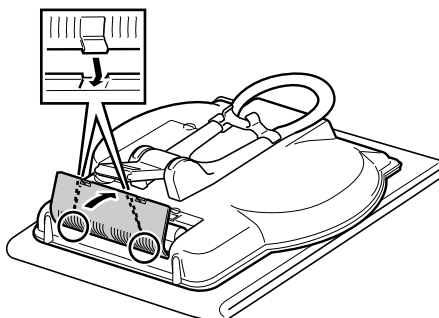
Viewing when Using the Internal Battery Pack

■ Install the Battery Pack

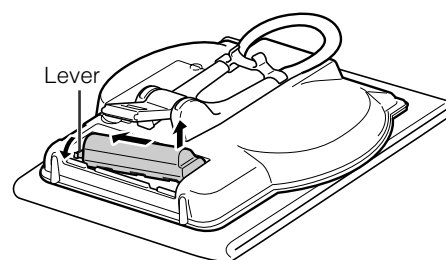
1 Open the cover of the battery pack case.

Place on a soft cloth.

2 Remove the battery pack terminal cover.

3 Pack towards the left side first and then push the battery back inside the case.

Battery pack

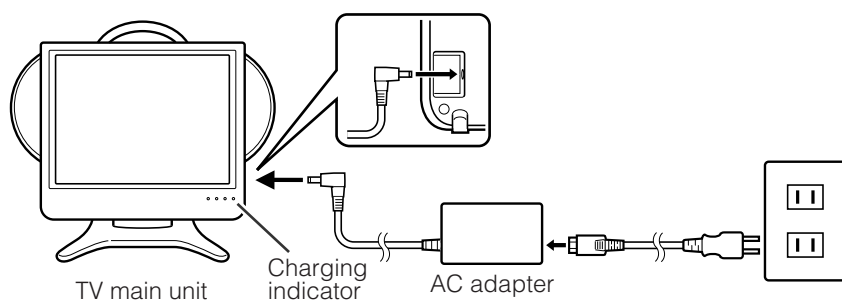
4 Shift the battery pack to the right.
The lever will return to its original position.

Move the battery pack to the right until the lever returns completely.

5 Close the cover of the battery pack case.
Align the tabs of the cover with the corresponding grooves in the TV and snap into position.

■ When Removing

With the lever pulled forward, lift up on the battery pack while pushing to the left.

Lever

Always make sure to attach the terminal cover to the removed battery pack.

■ Charging the Battery Pack

Charge the battery pack when using for the first time. Plug the AC adapter into a wall outlet and the corresponding connector on the TV. The charging indicator lights and charging begins.

- **General Reference for Charging Time:**
  When charging level has fallen to 0: About 5 hours
- **General Reference for Accessory Battery Pack Operating Time:**
  About 2 hours (when brightness is set to NORMAL)
  * Operating time varies according to the conditions of use.

- Charging time refers to the amount of time required to charge a completely worn down battery pack.
- Charging time may be longer depending on ambient temperature, battery pack condition and other factors. Check to make sure the charging indicator is not lit before using.
- Operating time may be shorter depending on certain conditions such as use in cold climates.

■ Charging the Battery Pack

Charging while Viewing:

You can watch the TV while charging is in progress by setting the "CHARGING MODE" to "ON" (page 28). In this case, charging takes about 12 hours.

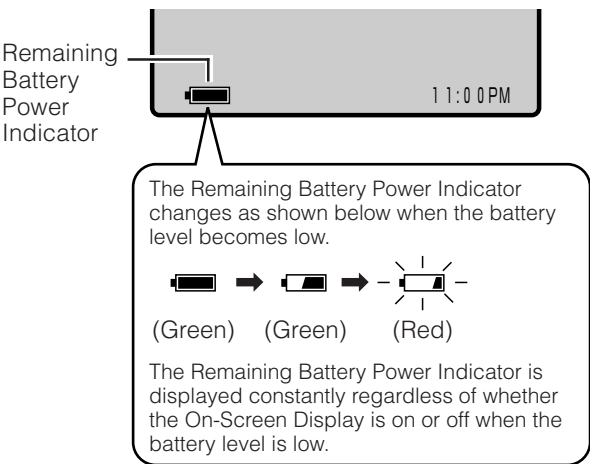
General Reference for Battery Pack Viewing Time

The viewing time differs according to the "BRIGHTNESS" setting (page 65).

Brightness Setting	Viewing Time
BRIGHT	about 1.5 hours
NORMAL	about 2 hours
DARK	about 3 hours

When You Want to Check the Amount of Remaining Battery Power

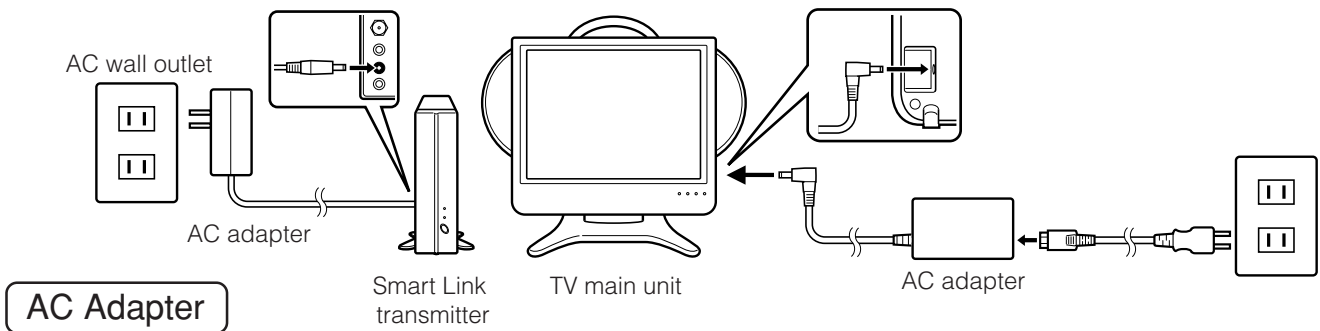
Press 画面表示 ◯ on the remote control.

- Although the Remaining Battery Power Indicator will flash red for the first 10 seconds when flashing red, it will remain lit constantly after that time.
- The amount of remaining charge is only displayed when operating on battery power.
- The Remaining Battery Power Indicator changes according to battery status, temperature and conditions of use. This indicator should be used as a reference for the amount of battery power remaining.

When Battery is not Charging Properly

- If the TV charging indicator begins to flash extremely rapidly during charging, this means that charging is not proceeding normally.
- When the TV charging indicator flashes at an interval of about a second during charging, the TV main unit is not in an appropriate temperature range for charging. The temperature range for charging should be approximately between 10°C and 30°C.
- If the TV charging indicator begins to flash extremely rapidly (at about 3 flashes a second) during charging, this means that charging is not proceeding normally because the battery pack may malfunction. Replace the battery pack with the new one.

Viewing with a Home AC Wall Outlet

Plug the AC adapter of the Smart Link transmitter and AC adapter of the TV main unit into an AC wall outlet.

- Check to make sure that the proper voltages indicated on the products are being used when plugging the AC adapters into their respective DC terminals.

AC Adapter

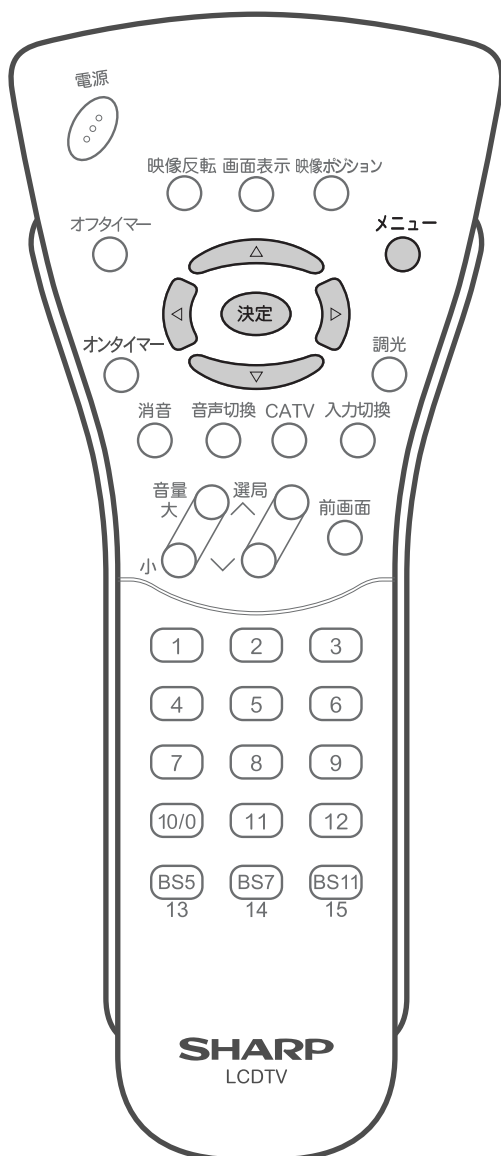
- Although the AC adapters may become warm during use, this is not a malfunction.
- Do not wrap or cover the AC adapters with a blanket or similar covering. This can cause a malfunction or accident.
- Do not attempt to disassemble or modify the AC adapters. The insides of the AC adapter contain high-voltage components that can result in the risk of electrical shock.

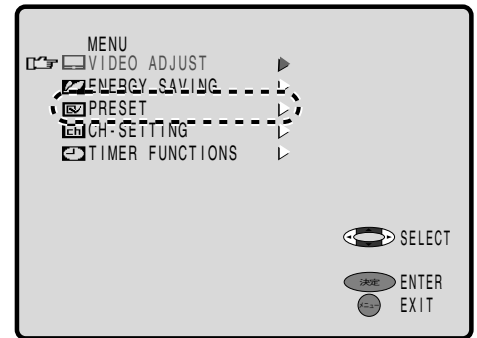
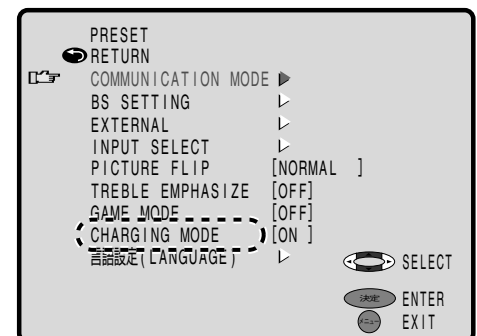
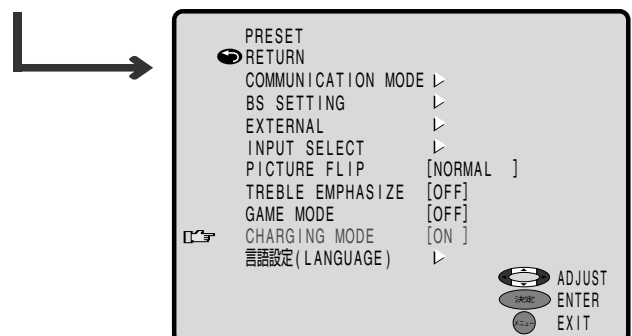
English

Power (Continued)

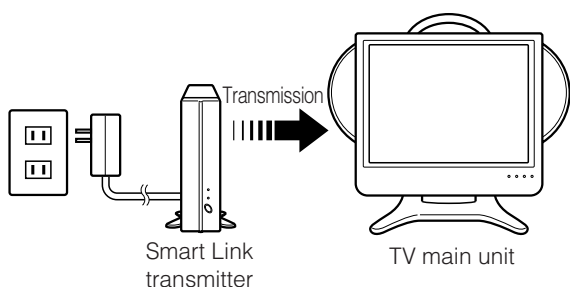
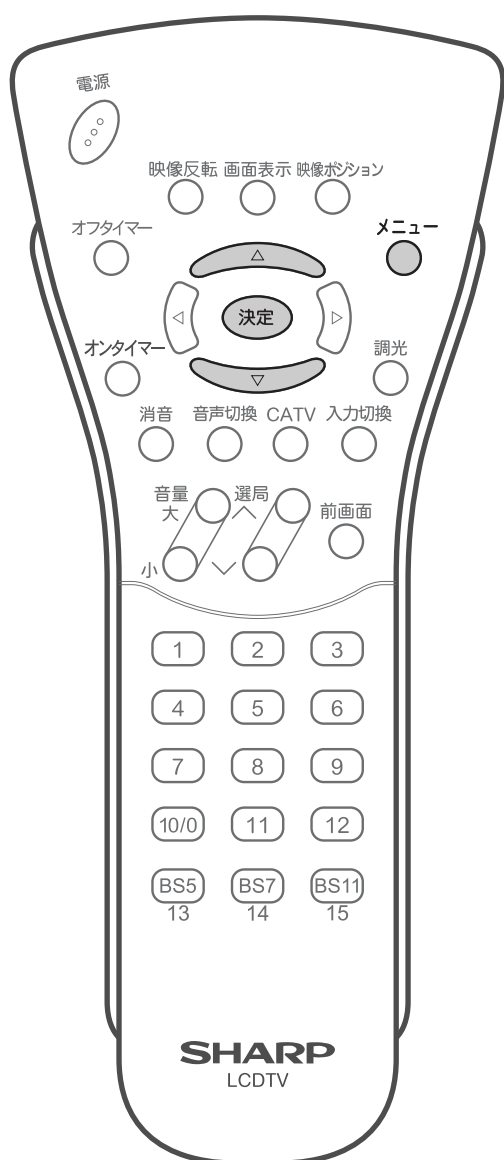
■ Battery Charge Setting

The "CHARGING MODE" is set to "ON" when shipped from the factory. The battery pack will deteriorate if it is continued to be charged after having been fully charged. It is recommended to set the "CHARGING MODE" to "OFF" when the battery is not used frequently.

Remote Control

Changing the Battery Charge Setting

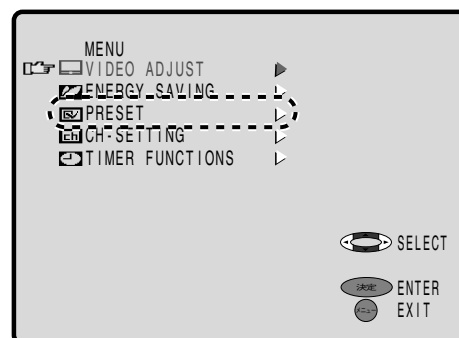
1 **Press メニュー ○ on the remote control to display the menu screen.**

2 **Use △ ▽ to select "PRESET" and then press 決定.**

3 **Select "CHARGING MODE" with △ ▽ and then press 決定.**

4 **Set the "CHARGING MODE" to either "ON" or "OFF" with ◁ ▷ and then press 決定.**

Settings for Video and Audio Transmission and Reception (Communication Mode)

■ When shipped from the factory, the "CH SELECT" of the "COMMUNICATION MODE" is set to "AUTO", and the "DISTANCE" is set to "NEAR". However, when reception is poor due to the presence of an interference source in close proximity, change the settings for "CH SELECT" or "DISTANCE" to ensure normal reception.

Remote Control

1 **Connect the antenna to the Smart Link transmitter.**

2 **Install the Smart Link transmitter and TV receiver next to each other.**

3 **Turn on the power of both the Smart Link transmitter and TV receiver.**

4 **Press メニュー ◯ on the remote control to display the menu screen.**

5 **Select "PRESET" with △ ▽ and then press 決定.**

English

Settings for Video and Audio Transmission and Reception (Communication Mode) (Continued)

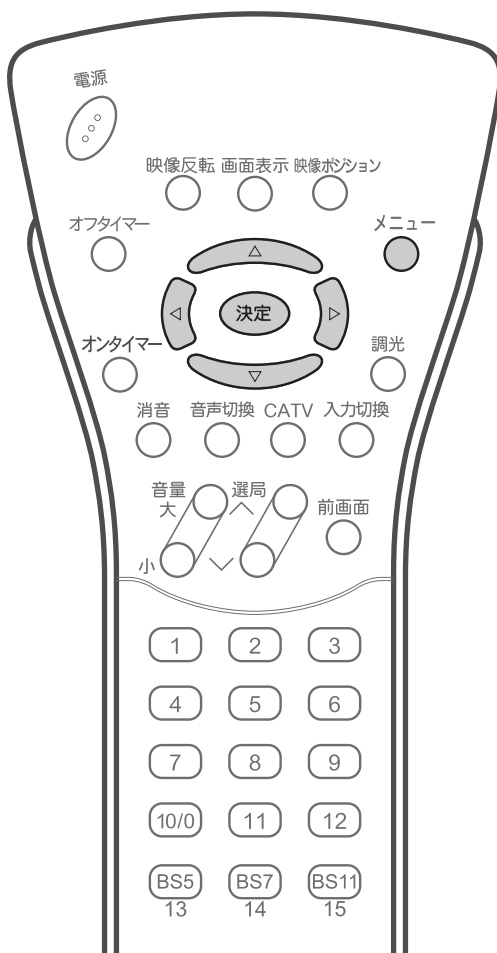
■ Description of Wireless Setting

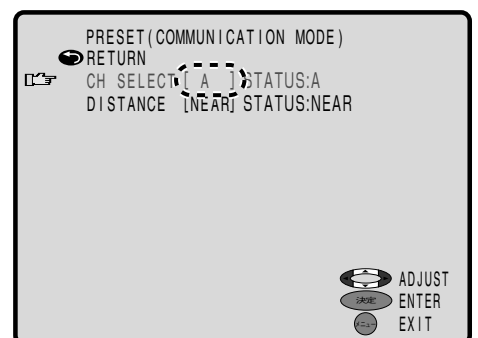
- CH SELECT:
  Five settings can be selected for the communication channel consisting of Auto, A, B, C and D. When set to "AUTO", available channels that can be transmitted are set automatically. It is recommended to normally set the communication channel to "AUTO".

AUTO ⟷ A ⟷ B ⟷ C ⟷ D

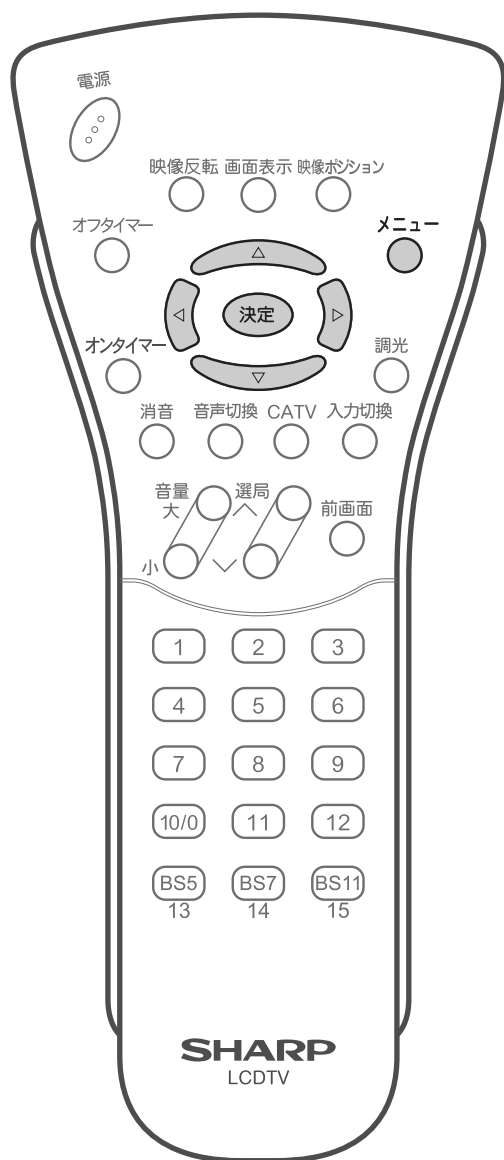
- Communication Distance:
  Select the distance that yields the best reception.

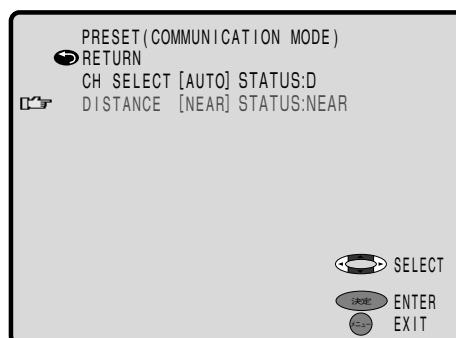
Setting	FAR ⟷ MID ⟷ NEAR
Picture quality	LOW ⟷ HIGH
Transmission capacity	HIGH ⟷ LOW

Remote Control

6 **Select "COMMUNICATION MODE" with**

7 **Select "CH SELECT" with △ ▽ and then press 決定.**

8 **Select "AUTO" with ◁ ▷ and then press 決定.**

The available settings change in the order shown below each time ◁ ▷ are pressed.

Remote Control

"ADJUSTING CHANNEL SETTING." is displayed on the screen and the communication channel is set automatically.

9 Select "DISTANCE" with △ ▽ and then press (決定).

10 Select FAR ↔ MID ↔ NEAR with ◁ ▷ and then press (決定).

"ADJUSTING DISTANCE SETTING." is displayed.

11 Press メニュー ○ to cancel the screen display.

- If reception has become poor after changing the locations of the transmitter and TV receiver, the problem may be able to be corrected by resetting the communication channel and communication distance.

English

● 製品についてのお問い合わせは・・			
お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**
	西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）			

● 修理のご相談は・・	103ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番

TINS-A688WJZZ⚠
03D.M/K

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。